MICROLINE Pro 9800PS ユーザーズマニュアル

ジョブ管理ガイド

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MICROLINE Pro 9800PS-X
MICROLINE Pro 9800PS-S
MICROLINE Pro 9800PS-E

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
　プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

マニュアルの構成

本製品のユーザーズマニュアルは、次のような8部構成になっています。目的に応じてお読みください。

プリンタ機能編
プリンタの使い方や持っている機能、消耗品の交換方法、紙づまり等のトラブルの対処方法、オプション類の取り付け方が載っています。

セットアップ編− Windows をお使いの方−
Windowsのコンピュータから印刷できるようにするまでの手順が載っています。
プリンタの設置が終わったら、お読みください。

セットアップ編− Macintosh、UNIX、Linux をお使いの方−
Macintosh、UNIX、Linuxのコンピュータから印刷できるようにするまでの手順が載っています。
プリンタの設置が終わったら、お読みください。

応用編
色々な用紙に印刷したい時、便利な機能を使って印刷したい時、添付のユーティリティを使って快適な印刷環境にしたい時、カラーを調整したい時などにお読みください。

設定管理ガイド
MLPro9800PS がサポートするプラットフォームやネットワーク環境別に、MLPro9800PSの基本的な設定方法と管理方法を説明します。また、クライアントやネットワーク上の他のワークステーションにPostScript 印刷サービスを提供するためにUNIX、WindowsNT/2000、Novell サーバを設定する方法についても説明します。

PS 印刷ガイド
リモートワークステーションからネットワークを介してMLPro9800PSに印刷ジョブを送信する方法、プリントオプション、MLPro9800PS が提供するフォントについて説明します。

カラーガイド
キャリブレーションおよびColorWise ProToolsに関する情報を提供します。

ジョブ管理ガイド（本書）
MLPro9800PSが提供する Command WorkStation/Command WorkStation LE、その他のユーティリティの機能、およびジョブ管理の方法を説明します。本書は印刷ジョブフローの監視/管理やトラブルシューティングを行うシステム管理者/オペレータ、および同レベルのアクセス特権を持つユーザを対象に書かれています。

本書の表記

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE Pro 9800PS-X → MLPro9800PS-X
- MICROLINE Pro 9800PS-S → MLPro9800PS-S
- MICROLINE Pro 9800PS-E → MLPro9800PS-E
- MLPro9800PS-X、MLPro9800PS-S、MLPro9800PS-Eの総称 → MLPro9800PS
- Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0日本語版 → WindowsNT4.0
- Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0の総称→Windows

Patents: 4,716,978, 4,828,056, 4,917,488, 4,941,038, 5,109,241, 5,170,182, 5,212,546, 5,260,878, 5,276,490, 5,278,599, 5,335,040, 5,343,311, 5,398,107, 5,424,754, 5,442,429, 5,459,560, 5,467,446, 5,506,946, 5,517,334, 5,537,516, 5,543,940, 5,553,200, 5,563,689, 5,565,960, 5,583,623, 5,596,416, 5,615,314, 5,619,624, 5,625,712, 5,640,228, 5,666,436, 5,745,657, 5,760,913, 5,799,232, 5,818,645, 5,835,788, 5,859,711, 5,867,179, 5,940,186, 5,959,867, 5,970,174, 5,982,937, 5,995,724, 6,002,795, 6,025,922, 6,035,103, 6,041,200, 6,065,041, 6,112,665, 6,116,707, 6,122,407, 6,134,018, 6,141,120, 6,166,821, 6,173,286, 6,185,335, 6,201,614, 6,215,562, 6,219,155, 6,219,659, 6,222,641, 6,224,048, 6,225,974, 6,226,419, 6,238,105, 6,239,895, 6,256,108, 6,269,190, 6,271,937, 6,278,901, 6,279,009, 6,289,122, 6,292,270, 6,299,063, 6,310,697, 6,321,133, 6,327,047, 6,327,050, 6,327,052, 6,330,071, 6,330,363, 6,331,899, 6,340,975, 6,341,017, 6,341,018, 6,341,307, 6,347,256, 6,348,978, 6,356,359, 6,366,918, 6,369,895, 6,381,036, 6,400,443, 6,429,949, 6,449,393, 6,476,927, 6,490,696, 6,501,565, 6,519,053, 6,539,323, 6,543,871, 6,546,364, 6,549,294, 6,549,300, 6,550,991, 6,552,815, 6,559,958, 6,572,293, 6,590,676, 6,606,165, 6,633,396, 6,636,326, 6,643,317, 6,647,149, 6,657,741, 6,662,199, 6,678,068, RE33,973, RE36,947, D341,131, D406,117, D416,550, D417,864, D419,185, D426,206, D439,851, D444,793.

商標

Bestcolor、ColorWise、Command WorkStation、EDOX、EFI、Fiery、Fiery ロゴ、Fiery Driven、 Rip-While-Print、Spot-Onは、米国特許商標庁および/またはその他諸国におけるElectronics for Imaging, Inc.の登録商標です。

AutoCal、AutoGray、Best、Bestロゴ、Changing the Way the World Prints、ColorCal、Device IQ、DocBuilder、DocBuilder Pro、DocStream、EFI ロゴ、EFICOLOR、EFI Color Profiler、EFI Production System、EFI ScanBuilder、Everywhere You Go、Fiery Driven ロゴ、Fiery X2、Fiery X2e、Fiery X2-W、Fiery X3e、FieryX4、Fiery ZX、Fiery Z4、Fiery Z5、Fiery Z9、Fiery Z16、Fiery Z18、Fiery Document WorkStation、Fiery Downloader、Fiery Driver、Fiery FreeForm、Fiery Link、Fiery Prints、Fiery Print Calibrator、Fiery Production System、Fiery Scan、Fiery ScanBuilder、Fiery Spark、Fiery Spooler、Fiery WebInstaller、Fiery WebScan、Fiery WebSpooler、Fiery WebStatus、Fiery WebTools、Intelligent Device managementロゴ、Memory Multiplier、NetWise、PrintMe、PrintMeロゴ、PrintMe Enterprise、PrintMe Networks、RIPChips、ScanBuilder、Splash、Splashロゴ、Unimobile、Unimobileロゴ、Velocity、Velocity Balance、Velocity Build、Velocity Design、Velocity Estimate、Velocity Exchange、Velocity OneFlow、Velocity OneFlowロゴ、Velocity Scan、VisualCalは、 Electronics for Imaging, Inc.の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Illustrator、PostScript、Adobe Photoshop、Adobe PageMaker は Adobe Systems Incorporated の商標であり、一部管轄地域では登録されています。Apple、Apple ロゴ、AppleShare、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Macintosh は Apple Computer, Inc. の登録商標です。Microsoft、MS、MS-DOS、Windows は米国およびその他諸国における Microsoft の登録商標です。その他の用語や製品名は各社の商標や登録商標である場合があり、本書により承諾されています。

法律上の注意

ソフトウェアまたはユーザマニュアルに表示されるPANTONE®カラーは、Pantone, Inc(以下Pantone社)が定義するカラーと一致しないことがあります。正確なカラーを確認するには、最新のPANTONE カラー出版物を参照してください。PANTONE®およびその他Pantone社の商標はPantone社の所有物です。©Pantone, Inc.,2003

Pantone社は、Electronics for Imaging, Inc.の製品またはソフトウェアと併用する場合のみElectronics for Imaging, Inc.に認可するカラーデータおよび/またはソフトウェアの著作権所有者です。Electronics for Imaging, Inc.の製品またはソフトウェアを配付する場合を除いて、PANTONE カラーデータおよび/またはソフトウェアを他のディスクまたはメモリにコピーすることは禁止されています。

本製品には、Apache Software Foundation(http://www.apache.org/) により開発されたソフトウェアが組み込まれています。

限定権利条項(米国においてのみ適用)

防衛機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は 252.227.7013 の技術データとコンピュータソフトウェアの条文の補助条項(c)(1)(ii) に規定した限定内容に従うものとします。

民間機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は 52.227-19 の商業コンピュータソフトウェア限定権利の条文の補助条項(a) から(d) に規定した限定内容、および本ソフトウェアに関する Electronics for Imaging, Inc.の基準商業契約に規定した限定内容に従うものとします。文書に記載されていない権利は、合衆国の著作権法にもとづいて留保します。

使用許諾契約

重要。お客様へのお願い

プリンタの付属のCD-ROM には株式会社沖データが提供するプログラム（以下、OKI ソフトウェアという）とイー・エフ・アイ株式会社が提供するプログラム（以下、EFI ソフトウェアという）が含まれています。
パッケージを開封する前に下記ソフトウエア使用許諾契約書を必ずお読みください。
お客様がこのパッケージを開封された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約の条項を承諾いただけない場合は、未開封のまま速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

株式会社沖データ ソフトウェア使用許諾契約

使用許諾契約
プリンタに付属のCD-ROMに含まれているプログラムおよびドキュメンテーションは株式会社沖データ（以下、沖データという）が提供するものです。プログラムおよびドキュメンテーション（以下、総称してOKIソフトウェアという）をお使いになる前に、以下の項目をお読み下さい。

プログラムをインストールした時点で、お客様は、沖データとの間で本契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. 使用範囲
   お客様は、OKIソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、OKIソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的としてOKIソフトウェアを一部複製することができます。

2. 財産権および義務
   （1）OKIソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。OKIソフトウェアの構成、編成、コードは沖データの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。OKIソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
   （2）第1条に定めた複製を除いて、OKIソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
   （3）お客様はOKIソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
   （4）お客様には本契約で認められた権利を除き、OKIソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
   （1）お客様へのOKIソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
   （2）お客様は、OKIソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
   （3）お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様はOKIソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、OKIソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
   （1）沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
      ・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
      ・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
      ・第三者の権利を侵害していないこと。
      ・特定の目的に適合していること。
   （2）本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
   沖データ及び沖データのライセンサーは、OKIソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、適用法で認められる限り、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、OKIソフトウェアまたはOKIソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法及び輸出管理規制
   OKIソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。本契約は国際物品売買契約に関する国連条約には準拠しないものとし、その適用は明示的に排除されます。

もし、本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。
OKIソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずにOKIソフトウェアやOKIソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

7. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対するOKIソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

イー・エフ・アイ株式会社 ソフトウェア使用許諾契約

ソフトウェア使用許諾契約

本ソフトウェアをご使用になる前に必ず以下のソフトウェア使用許諾契約(以下、本使用許諾契約)をお読みください。EFIソフトウェア(以下、本ソフトウェア)を使用されるお客様は、法人/個人に依らず本使用許諾契約に同意する必要があります。本使用許諾契約は、EFIソフトウェアに関するお客様とElectronics for Imaging, Inc.(以下、EFI)との間の法的合意事項となります。本使用許諾契約に同意する場合、「同意する」をクリックしてください。同意しない場合、「同意しない」をクリックし、ソフトウェアのインストール、複製、使用をしないでください。

Windows Me/98用PostScript(R)プリンタドライバ、Windows NT4.0用 PostScript(R)プリンタドライバ、Windows 2000用PostScript(R)プリンタドライバ、Windows XP用 PostScript(R)プリンタドライバ、Job Monitor、Command WorkStation 4、ColorWise Pro Tools、Fiery Downloader、Fiery Printer Delete Utility、HotFolder、Fiery Spooler、CWS LE、WebTools、ICC profiles、PPD for OS 9 and X、Fiery Job Notes Plug InはEFIが提供するものです。

「同意する」ボタンをクリックし、または本ソフトウェアをインストール、複製、あるいは使用することにより、お客様は本使用許諾契約に従うべき義務を負うことになります。本使用許諾契約に従いたくない場合、「同意する」をクリックしないでください。また、本ソフトウェアをインストール、複製、あるいは使用しないでください。この場合、お客様は、お買い上げ日より30日以内にレシート等支払い証明を添付してお買上げ販売店に未使用の本ソフトウェアとその全同梱物を返却して、全額払戻しを受けることができます。

ライセンス
EFIは、お客様に、お買上げいただいた本ソフトウェアの使用について、本使用許諾契約の条項のみに従い、EFI製品説明書に明記されたとおりに、かつEFI製品説明書に明記された製品(以下、本製品)のみにつき、限定的、非独占的なライセンスを与えます。
本使用許諾契約における「本ソフトウェア」とは、EFIソフトウェアおよびEFIソフトウェアに関する一切の文書、ダウンロードしたもの、オンライン上のコンテンツ、バグフィックスプログラム、パッチ、リリース、リリースの注意事項を記載した文書、アップデートプログラム、アップグレードプログラム、テクニカルサポート提供物、およびその他の情報を意味します。本使用許諾契約の条項は、お客様によるこれらアイテムの一切の使用に適用があり、効力を及ぼします。ただし、アップデート、リリースまたはアップグレード時に、EFIは書面による追加契約事項を与えることがあります。
本ソフトウェアはライセンス供与されるものであり、販売されるものではありません。お客様は、EFI製品説明書に記載された使用目的でのみ、本ソフトウェアを使用できるものとします。お客様は、本ソフトウェアのレンタル、リース、サブライセンス、貸出し、またはその他の方法でソフトウェアを配付することはできません。また、本ソフトウェアを時分割サービス、サービス機関、または類似の形態で使用することはできません。
お客様は、本使用許諾契約にて許容される目的のためにバックアップまたはアーカイブ・コピーを1部作成することができますが、それ以外に本ソフトウェアまたはその一部について、いかなる複製も作成することはできません。ただし、いかなる場合であっても、本製品のコントローラボードまたはハードウェアの任意部分に含まれるソフトウェアについては、いかなる複製を作成することもできません。お客様は、本ソフトウェアのいかなる部分についても、ローカライズ、逆アセンブル、デコンパイル、解読、リバースエンジニアリング、ソースコード解読、改変、派生製品の作成、その他いかなる変更も、しないことに同意するものとします。

知的財産権
お客様は、本ソフトウェア、全てのEFI製品、およびその複製物、変更物、派生物についての、あらゆる知的財産権を含む全ての権利、所有権および利益は、EFIとその供給元のみが保有することを認識し、これに同意するものとします。本使用許諾契約で明示された限定的ライセンスを除いて、いかなる権利もライセンスも与えられません。お客様は、いかなる特許権、著作権、営業秘密、商標(登録、未登録を問わず)、またはその他の知的財産権も与えられません。お客様は、いかなるEFIの商標や商号またはそれらと類似したもしくは混乱を生じさせるようなあらゆるマーク、URL、インターネットドメイン名またはシンボルを、お客様ご自身、その関係会社または製品の商号として採用し、登録し、または登録を試みないことに同意するものとします。また、EFIやその供給元の商標権を損なうような、その他のいかなる行為をもしないことに同意するものとします。

守秘義務

本ソフトウェアは、EFI専有の秘密情報であり、お客様は他に配布・開示することはできません。ただし、次の場合に限り、本使用許諾契約上のお客様の一切の権利を他人または他の法人に譲渡することができます。(1)その譲渡が、適用ある全ての輸出関連法規ー米国輸出管理法を含む米国の法律および規則を含みますーにより許され、(2)お客様が、複製物、アップデート、アップグレード、媒体、印刷文書、および本使用許諾契約を含めた本ソフトウェアの全てを第三者に譲渡する場合で、(3)譲渡の際、お客様がバックアップ、アーカイブを含む本ソフトウェアの一切の複製物を保持せず、(4)譲渡先の第三者が本使用許諾契約の全条項に同意する場合。

ライセンスの終了

本ソフトウェアを許可なしで使用、複製、開示した場合、あるいは本使用許諾契約について何らかの不履行があった場合、本ライセンスは自動的に終了し、EFIは他の法律上の救済手段も利用可能となります。ライセンス終了の場合、お客様は本ソフトウェアまたはその構成部分の複製物の全てを破棄しなければなりません。その場合でも、本ソフトウェアに関する守秘義務、保証の免責、責任限定、救済手段、損害、準拠法、裁判管轄権、裁判地、およびEFIの知的財産権に関する本使用許諾契約の全ての条項は、ライセンスの終了後も効力を失いません。

限定保証および免責

EFIは、本ソフトウェアがEFI製品説明書の記載どおりに使用される限り、お客様が受領されてから90日間は、本ソフトウェアが実質的にEFI製品説明書の記載どおりに動作することを保証します。EFIは、本ソフトウェアがお客様の特定の要求に適合すること、本ソフトウェアが停止せず、常に安定して動作を継続し、耐停止でエラーが無いことまたソフトウェアの欠陥は全て修正されることについて、何らの表明も保証もしません。また、EFIは、本ソフトウェア以外の本製品もしくはサービス、または第三者製の製品(ハードウェアまたはソフトウェア)もしくはサービスについて、明示的にも黙示的にも、その性能または信頼性を保証するものではありません。なお、EFIが容認する第三者製の製品以外の製品をインストールした場合、本保証は無効となります。EFIが認める場合を除き、本ソフトウェアまたはEFI製品を使用、改変、および/または修復した場合、本保証は無効となります。さらに、事故、悪用、誤使用、異常使用、ウイルス、ワーム、その他類似の外的要因により本ソフトウェアに問題が起こった場合も、本限定保証は無効になります。

適用される法により許容される最大の範囲で、上記の明示的限定保証(「限定保証」)を除き、EFIは本ソフトウェア、本製品、および/またはいかなるサービスーそれが明示的であれ黙示的であれ、法令に基づくものであれ、本使用許諾契約上のいかなる条項に基づくものであれまたはお客様とのコミュニケーションに基づくものであれーについても、表明または保証をせず、かつお客様はそれを受けることができません。EFIは特に、安全性、商品性、特定目的に対する適合性および第三者の権利侵害がないことを含む全ての黙示的保証、表明および条件から免責されます。ソフトウェアおよび/または製品が停止しないこと、常に安定して動作を継続すること、耐停止でエラーがないことについては、いかなる表明も保証もありません。適用される法により許容される最大の範囲で、一切のソフトウェア、本製品、サービスおよび/または適用ある保証に関するお客様の唯一かつ排他的な救済手段、かつEFIおよびその供給元の責任の全ては、EFIの選択による(1)限定保証に適合しないソフトウェアの修理もしくは交換、または(2)限定保証に適合しないソフトウェアの代金(もし支払われていれば)の返還です。本項に規定された場合を除いて、EFIおよびその供給元は、代金払戻し、返品、交換、または同等の機能を提供するソフトウェアの提供は一切行いません。

責任の限定

適用される法により許容される最大の範囲で、お客様による本ソフトウェア、本製品、サービス、および/またはこの使用許諾契約に関するEFIまたはその供給元に対する一切の請求は、それがどのような提訴内容である場合でも(契約責任、不法行為責任、法定責任またはそれ以外のいずれであるかを問わず)、お客様が当該EFIソフトウェアに対して支払った対価を超えないことに同意するものとします。お客様はこの金額が、本使用許諾契約の目的に適うものであることに同意し、またこの補償額は、EFIおよびEFIの供給元による不法行為または過失によって生じた損失や損害の公正かつ合理的な見積額であることに同意するものとします。適用される法により許容される最大限の範囲で、代替ソフトウェア、代替製品、代替サービスの調達にかかる費用、利益の逸失またはデータの損失、第三者からの請求、その他特別な、間接的、依存的、結果的、懲罰的または付随的損害については、それが本ソフトウェア、本製品、サービスおよび/または本使用許諾契約によって引き起こされたものであっても、EFIおよびその供給元は一切責任を負いません。この責任限定は、たとえEFIおよびその供給元が、そのような損害の可能性を知らされていた場合であっても適用されます。お客様は、本ソフトウェアの価格がこのリスク配分を反映したものであることに同意するものとします。お客様は、上記の責任限定および免責事項が本使用許諾契約において最も重要な条項であり、これら2つの条項にお客様が同意しない限り、EFIは本ソフトウェアの使用許諾を行わないことを認識した上で同意したものとします。

米国の州や司法管轄区域の中には、本使用許諾契約に定める責任の除外および/または限定の一部または全部を許さないところもあるため、上記の責任除外・限定は、お客様に適用がないかもしれません。

デラウェア法人である Adobe Systems Incorporated(以下、Adobe社)(住所：345 Park Avenue, San Jose, California 95110-2704)は、本使用許諾契約が本ソフトウェア、フォントプログラム、書体、商標などお客様の使用に関する条項を含む限りにおいて、本使用許諾契約における第三者たる受益者です。以上の条項はAdobe社の利益のために明示的に設けられたものであり、EFIに加えAdobe社がこれを行使することができます。Adobe社は、本項に記載されたいかなるAdobe社製ソフトウェアおよび技術に関しても、お客様に対して一切の責任を負わないものとします。

輸出制限

本ソフトウェアおよびEFI製品には、米国輸出管理法を含む米国における輸出関連の法律および規則が適用されます。本使用許諾契約で付与されるライセンスは、お客様が、米国における輸出関連法規を含む適用ある全ての輸出関連法規に従うことを前提としています。お客様は、これらの法規に違反する形で、本ソフトウェアおよびEFI製品のいかなる一部も、使用、開示、配布、譲渡、輸出、再輸出しないことに同意するものとします。

政府による使用
アメリカ合衆国政府による本ソフトウェアの使用、複製、開示は、FAR 12.212またはDFARS 227.7202-3 -227.7202-4に定める規制に服し、かつ米国連邦法で要求される範囲において、FAR 52.227-14、Restricted Rights Notice(June 1987) Alternate III(g)(3)(June 1987)またはFAR 52.227-19(June 1987)に定める最小限の限定権利(minimum restricted rights)に服します。技術データは、本使用許諾契約に従って提供される技術データの範囲内で、FAR 12.211およびDFARS 227.7102-2によって保護され、またアメリカ合衆国政府により明示的にに要求される範囲で、DFARS 252.227.7015(November 1995)およびDFARS 252.227-7037(September 1999)に定める限定権利に服します。上述の規定が修正または他の法規により上書きされる場合、その後の同等の規定が適用されるものとします。契約者名はElectronics for Imaging, Inc.です。

準拠法および管轄権
本使用許諾契約の当事者の権利および義務は、あらゆる意味において排他的に、カリフォルニア州法に準拠するものとします。従って、カリフォルニア州住民間でカリフォルニア州内において成立する契約に対する法律が適用されます。国際物品売買契約に関する国連条約およびその他同様の条約は本使用許諾契約には適用されないものとします。本ソフトウェア、本製品、サービス、および/または本使用許諾契約に関連する全ての紛争については、お客様は、カリフォルニア州サンマテオ郡における州裁判所および北カリフォルニア連邦裁判所のみを所轄裁判所とすることに同意するものとします。

一般条項
本使用許諾契約はお客様と Electronics for Imaging, Inc.との完全合意　を表したものであり、本ソフトウェア、本製品、サービス、本使用許諾契約が規定するその他の事項に関する他のやり取りや広告に優先するものです。本使用許諾契約の一部の条項が無効でも、それらの条項は法的強制力を有するのに必要な範囲で修正されたとみなされ、また、それ以外の部分は完全な効力を有するものとします。

ご不明な点がありましたら、EFIのWebサイト(www.efi.com)を参照ください。
Electronics for Imaging, Inc.
303 Velocity Way
Foster City, CA 94404
USA

イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾に関する付記

イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾で言及している「EFIソフトウェア」には、EFI社製品に含まれているオープンソースソフトウェアは含まれておらず、また、イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾は、オープンソースソフトウェアには適用されません。製品に含まれるオープンソースソフトウェアの使用は、イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾とは別に提供され、プリンタソフトウェアCDのOpenSrcフォルダ内のReadme.txtに記載のオープンソースソフトウェア使用許諾に準拠しなければなりません。本製品を使用することは、プリンタソフトウェアCDのOpenSrcフォルダ内のReadme.txtに記載のオープンソースソフトウェア使用許諾に示される条件を受諾したことになります。
オープンソースソフトウェア使用許諾の条件を受諾できない場合、購入日から30日以内以内に領収証と共に製品を購入された販売店にお持ちください。購入時にお支払いになった代金を全額返金致します。

以上

※Adobe Reader の使用について
Adobe Readerは沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

※商標について
Adobe、Adobe ReaderおよびPostScriptは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
Windows、Windows NT は米国内及び各国で登録されたMicrosoft Corporationの登録商標です。
Macintoshは米国Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
ColorWise、Command WorkStation、EFI、Fieryは、米国特許商標庁および/またはその 他諸国におけるElectronics for Imaging, Inc.の登録商標です。
Fiery Downloader、Fiery Spoolerは、Electronics for Imaging, Inc.の商標です。
その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

目次

はじめに

本書は、印刷ジョブフローの監視/管理やトラブルシューティングを行う、MLPro9800PSサーバのシステム管理者、オペレータおよび同レベルのアクセス特権を持つユーザを対象に書かれています。本書では、Command WorkStationおよびCommand WorkStation LE、Fiery Spoolerなどのユーティリティを使用してジョブ管理を行う方法について説明します。

MLPro9800PS-Eで本書に記載された機能を利用するには、オプションのハードディスクが必要です。

本書について

本書は以下の章から構成されています。

- 第1章 — ジョブ管理の基礎知識、オペレータ管理による印刷環境の設定方法、およびMLPro9800PSを使用した一般的なジョブフローを説明します。
- 第2章 — Command WorkStationのユーザインターフェイス、サーバ情報ページの印刷、環境設定、フォント管理などのCommand WorkStationの基本機能について説明します。
- 第3章 — Command WorkStationを使用したジョブ監視/管理方法、ジョブの待機/RIP処理/印刷/キャンセル方法、および印刷済みジョブの管理/アーカイブ方法を説明します。
- 第4章 — Command WorkStation LEのユーザインターフェイスと基本機能、Command WorkStation LEを使用したジョブ監視/管理方法を説明します。
- 第5章 — Command WorkStationの「プレビュー」ウィンドウを使用したジョブプレビュー/編集/マージ方法を説明します。
- 第6章 — DocBuilder Pro(オプション)の概要および基本機能を紹介します。
- 第7章 — カスタムテンプレート作成などのDocBuilder Proが提供する高度な面付け機能について説明します。
- 第8章 — Fiery Spoolerを使用したジョブ監視/管理方法を紹介します。
- 第9章 — 面付けの用語および概念について説明します。
- 第10章 — DocBuilder Proが提供する面付け用テンプレートについて説明します。
- 第11章 — Command WorkStation/Command WorkStation LE、Fiery Spooler、またはMLPro9800PSのLCDに表示されるエラーメッセージについて説明します。トラブルシューティング情報についても説明します。

用語

本書で一般的に使用される用語をここで説明します。

- **PostScript(PS)** — ページ記述言語として設計されたコンピュータ言語です。
- **ジョブ** — 印刷しようとしているファイルです。書類上のグラフィック/テキストなどの情報、および用紙の種類/カラーの表現など、書類を印刷するために設定されているプリントオプションの情報が、コマンドやコメントとして記述されています。
- **スプール** — ジョブをMLPro9800PSのハードディスクに書き出す過程を意味します。RIP処理/印刷前にジョブはMLPro9800PSのハードディスクにスプール(保存)されます。
- **RIP** — ラスターイメージ処理(Raster Image Processing)の略語です。ラスターイメージ処理によりページ上のイメージに変換されます。RIP はラスターイメージプロセッサ(Raster Image Processor)の略語でもあります。 この場合は、ラスター処理を施すコンピュータプロセッサを意味します。
- **処理** — 本書では、「処理」はラスターイメージ処理を意味し、この用語を「RIP」と同義で使用します。
- **印刷 / プリント** — MLPro9800PSでページを描画することを意味します。

本書で使用する表記方法について

- 画面表示のサーバ名は「AERO_デバイス名」と表記します。
- MLPro9800PS「設定」とはMLPro9800PSの操作パネル(管理者メニュー)およびCommand WorkStation上での設定を意味します。
- サブフォルダの表記方法

  Windows

  たとえば、「Folder 1」フォルダ内の「Folder 2」フォルダ内の「Application」フォルダ内にある「Setup.exe」アイコンをダブルクリックする場合、

  「¥Folder 1¥Folder2¥Application」フォルダ内の 「Setup.exe」アイコンをダブルクリックします。

  と表記します。

  MacOS

  たとえば、「フォルダ1」フォルダ内の「フォルダ2」フォルダ内の「フォルダ3」フォルダを開く場合、

  「 フォルダ1: フォルダ2:フォルダ3 」フォルダを開きます。

  と表記します。

1 ジョブ管理

本章では、オペレータが管理する印刷環境を前提として、ジョブ管理の基本概念を説明し、ジョブ管理ユーティリティの概要を紹介します。

ジョブ環境

MLPro9800PSには、印刷、ジョブ管理、MLPro9800PS「設定」に対して複数の管理レベルがあります。管理レベルを設定することによって、環境に適したシステムを構成します。

ユーザレベル

- システム管理者
  キューの使用可/不可を設定する等MLPro9800PSシステムの全ての機能にアクセスできます。システム管理者のパスワードが必要です。
- オペレータ
  システム管理者が設定した範囲内でMLPro9800PSの印刷をコントロールします。オペレータのパスワードが必要です。
- 一般ユーザ
  通常のユーザです。ジョブの操作や設定の変更はできません。システムの設定によっては、オペレータが印刷指示するまで、印刷できないこともあります。パスワードは不要です。
  一般ユーザはゲストと表わされることもあります。

詳細は、「設定管理ガイド」をご覧ください。

ジョブ管理レベル

使用環境によって、必要とされるジョブ管理レベルは異なります。以下は、使用環境の例です。

- 印刷所など、印刷の頻度が比較的高い環境では、オペレータがジョブフローや印刷を完全にコントロールする必要があります。一般ユーザから送られた印刷ジョブは、オペレータが次の工程に移すまで、ハードディスクにスプールされます。オペレータは、ジョブプリントオプションの書き換え、優先順位付けなどの機能を使用します。
- 一般オフィスやSOHOなど、印刷の頻度が比較的低い環境では、通常各一般ユーザが、すべての印刷ジョブ、およびMLPro9800PSの機能をコントロールします。この場合、オペレータは介入しません。ユーザはワークステーションから、使用可能なキューに任意に印刷し、ジョブ管理ユーティリティを使用してジョブをコントロールします。

前記以外の使用環境に合わせたジョブ管理レベルの設定も可能ですが、ジョブ管理ユーティリティはオペレータが管理する印刷環境に最適です。

オペレータが管理する印刷環境の設定

ジョブ管理ユーティリティを有効に利用するには、オペレータ/システム管理者が次の設定を行い、適切な印刷環境を整備する必要があります。

パスワード設定 — システム管理者は、オペレータ/システム管理者用に個別のパスワードを設定します。パスワード設定に関する詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。

待機キュー — システム管理者は待機キューを使用可能にして、直接接続および印刷キューを使用不可に設定します（『設定管理ガイド』参照）。

オペレータとユーザのコミュニケーション — ジョブ注釈メモを活用します。（20ページ参照）

ジョブフロー

オペレータが印刷を管理するシステムの場合は、一般ユーザはMLPro9800PSの待機キューにジョブを送る必要があります。オペレータは、Command WorkStation、Fiery Spoolerなどのジョブ管理ユーティリティを使用して待機ジョブのRIP処理/印刷 をいつ行うかを決定します。

オペレータは、ワークフローに介入して、ジョブのRIP処理/印刷を中止したり、ジョブを待機状態に戻したり、ユーザが設定したプリントオプション設定を書き換えたりすることができます。また、オペレータは、印刷前にジョブの編集/マージを行い、ジョブ内容を変更することもできます。

スプール/処理/印刷

スプールーユーザがジョブを送信、またはインポートすると、そのジョブはMLPro9800PSのハードディスクにスプールされます。スプールされたジョブは、オペレータが操作するまで、MLPro9800PSのハードディスクにホールド(待機)されます。

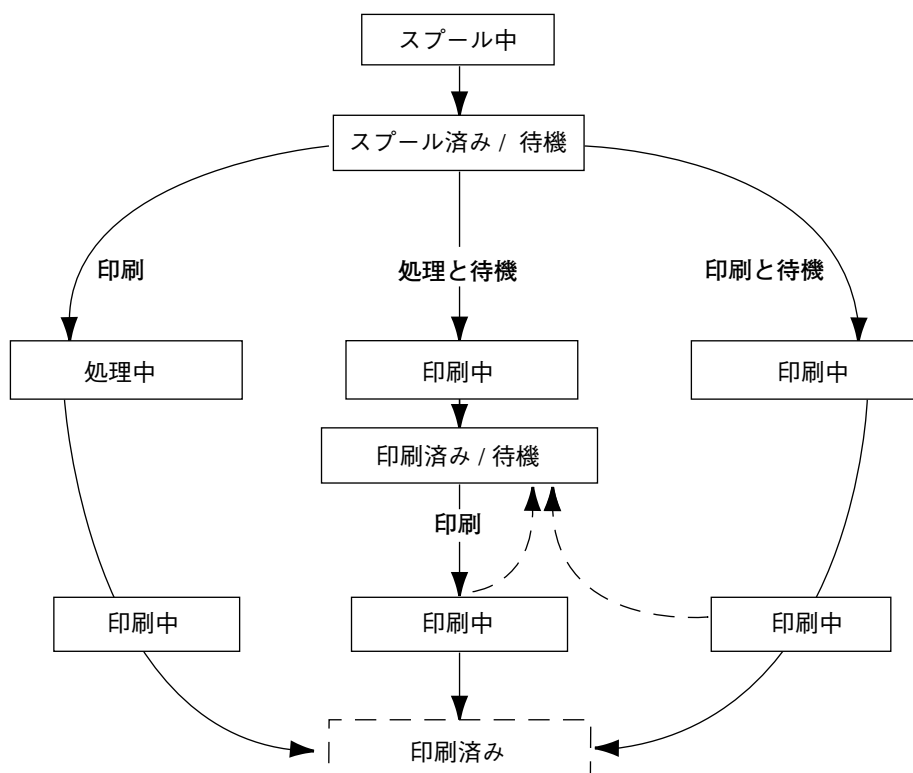
処理 ーオペレータの操作により、MLPro9800PSはジョブのRIP処理を行います。RIP処理では、ページ記述言語が解析され、ラスターイメージ(ラスターデータ)に変換されます。このラスターイメージには、プリントエンジンで描画される各ドットごとのカラーデータ情報が入っています。このカラーデータにより、プリンタはトナーをページのどの位置に使用するかを決めます。

印刷 ーオペレータが「処理と待機」/「RIPと待機」を指定しない限り、RIP処理後、ジョブは印刷されます。

印刷後、オリジナルのジョブファイル(PostScript, PCL)はMLPro9800PSのハードディスクに保存されますが、ラスターイメージは削除されます。オペレータが、ラスターイメージを保存する指示を送ることによって、ラスターイメージをオリジナルファイルと共に保存することができます。
ラスターイメージをハードディスクに保存すると、次のような利点があります。

- RIP済みのため高速印刷が可能
- ラスターデータファイルは、オリジナル書類の情報が保存されているため、ラスターファイルでの編集、再RIP処理なしの再印刷が可能

ジョブフローの概念

オペレータは、前述のジョブフローのどの段階でも、ジョブを操作することができます。下図では、Command WorkStationのジョブ状況ヘルパーおよび「アクティブジョブ」ウィンドウに表示されるジョブ状況フラッグを四角枠内に、Command WorkStation/Command WorkStation LE、Fiery Spoolerで使用できるコマンドを太字で表示しています。

上図のコマンドは次のように作用します。

- 印刷 ― このコマンドを指定すると、ジョブはただちに処理 / 印刷されます。
- 印刷と待機 ― このコマンドを指定すると、ジョブはただちに処理/ 印刷されます。印刷後、オリジナルのジョブファイルとラスターデータは処理済み/待機の状態で「アクティブジョブ」ウィンドウに残ります。
- 処理と待機 ― このコマンドを指定すると、ジョブはRIP処理され、次の指示があるまで、処理済み/待機の状態でMLPro9800PS上にホールド(待機)されます。処理済み/待機ジョブを印刷するには、「印刷」コマンドを指定する必要があります。印刷後、オリジナルのジョブファイルとラスターデータは処理済み/待機の状態で「アクティブジョブ」に残ります。

ユーザとのコミュニケーション

オペレータは、印刷ジョブを送信するユーザが適切なプリントオプションを設定できるように、MLPro9800PSに関する情報をユーザに伝えておく必要があります。また、オペレータは、ユーザからジョブの印刷条件に関する情報を得る必要があります。

ユーザが必要な情報

オペレータは、必要に応じて次の情報をユーザに知らせる必要があります。

サーバおよびプリントデバイス情報

- ネットワーク上のプリントデバイス名とプリントデバイスを共有するサーバ名
- MLPro9800PSのIPアドレスまたは DNS名
  ユーザがFiery WebToolsにアクセスするときに使用します。
- Fiery WebToolsの「WebLink」機能で設定されるリンク先で得られる情報(Fiery WebToolsではインターネット、イントラネットを経由して、MLPro9800PSをリモート管理します。)
- プリンタのデフォルトおよび他の設定情報(設定情報ページ使用)
- 内蔵フォント一覧
  ユーザの使用するアプリケーションが印刷時にフォントを自動的にダウンロードするのか?
  ダウンロードしない場合、ユーザはMLPro9800PSにフォントをダウンロードできるのか、フォントを書類に含める必要があるのか、またはユーザがダウンロード用にフォントをオペレータに供給する必要があるのか?など
- 印刷時の色味を調整する出力プロファイルのデフォルトターゲット値および色味の最新測定日
- カスタムシミュレーションに関する情報
  どのカスタムシミュレーションセットが利用可能か?また、カスタムシミュレーションセットはどのターゲットに基づいているか?など

MLPro9800PSにこれらのカスタムシミュレーションセットがロードされていない場合でも、「CMYKシミュレーションプロファイル」オプションの選択項目としてこれらが表示されるため、ロードされていないシミュレーションセットを選択しないようにユーザに通知する必要があります。

- プリンタにインストールできる機能
- 利用可能な用紙の種類、用紙がサポートされていない場合の代替案、標準的な用紙トレイと用紙の種類の設定ならびに組み合わせ

印刷情報

- ジョブがMLPro9800PSに一時的に待機ジョブとして保存、削除されるまでの期間
- クライアントコンピュータでプリンタを設定する方法
- PPD ファイル、PostScript プリンタドライバ、カラー参照ファイル、追加情報の入手方法
- プリントオプション推奨設定
- 競合する設定および一般的な PostScript エラー
- FreeForm機能(差し込み印刷用設定)でのマスターおよびバリアブルデータの使用方法
- 一般的な出力プロファイルの特徴
- 「ジョブ注釈メモ」欄の記入条件

オペレータが必要な情報

オペレータは、「オペレータがジョブを印刷するために、必要とする情報」をユーザに伝えておく必要があります。

ユーザが指定するプリントオプションの指定内容が、ジョブの印刷条件を示すジョブチケット情報としてオペレータに伝られます。また、「ジョブ注釈メモ」欄を使用して、特殊な印刷条件や会計情報を伝えることもできます。

ジョブチケット情報

オペレータは、ジョブチケット情報を表示し、ユーザが指定したプリントオプション設定を確認することができます。また必要に応じて、そのプリントオプション設定を変更することも可能です。ユーザ指定のプリントオプション設定を表示するには、Command WorkStationから「プロパティ」コマンド（59ページ）、Fiery Spoolerから「プリント設定の書き換え」コマンド（158ページ）を選択します。

ジョブ注釈メモ欄

ジョブ注釈メモ欄はジョブログに表示されますので、下記のような会計情報の入力に適しています。

- 利用者名、電話番号 / 内線番号
- 課金情報

ジョブ管理ユーティリティの種類

ジョブ管理ユーティリティは、MLPro9800PS上のジョブを管理し、ジョブフローを監視するオペレータ用に設計されています。これらのユーティリティは以下のジョブ管理機能を提供します。

- MLPro9800PSの使用状況の監視、およびジョブフローのコントロール
- ユーザ指定のプリントオプション設定の表示/書き換え
- ジョブファイルの編集/マージ
- ジョブログを使用した印刷状況の確認

Command WorkStation(Windows)

Command WorkStationは最も多くの機能を備えたジョブ管理ユーティリティです。上記のジョブ管理機能に加えて、ユーザインターフェイスのカスタマイズ、複数のMLPro9800PSの同時監視/管理など多様な機能を提供します。MLPro9800PSにネットワーク接続しているWindowsコンピュータにインストールして使用します。

Command WorkStationの詳細については、「第2章： Command WorkStationの紹介」、「第3章： 印刷ジョブの監視および管理」を参照してください。

Command WorkStation LE(Mac OS X)

Command WorkStation LE(Light Edition)はMac OS X対応コンピュータ専用のジョブ管理ユーティリティです。単一のMLPro9800PSにのみ接続することができます。

Command WorkStation LEの詳細については、「第4章： Command WorkStation LEの紹介」を参照してください。

Fiery Spooler(Macintosh)

Fiery Spoolerは、Command WorkStationと同様のジョブ管理機能を提供します。Fiery Spoolerは、MLPro9800PSにネットワーク接続しているMac OS 9.x対応コンピュータにインストールして使用します。

Fiery Spoolerの詳細については、「第8章： Fiery Spooler」を参照してください。

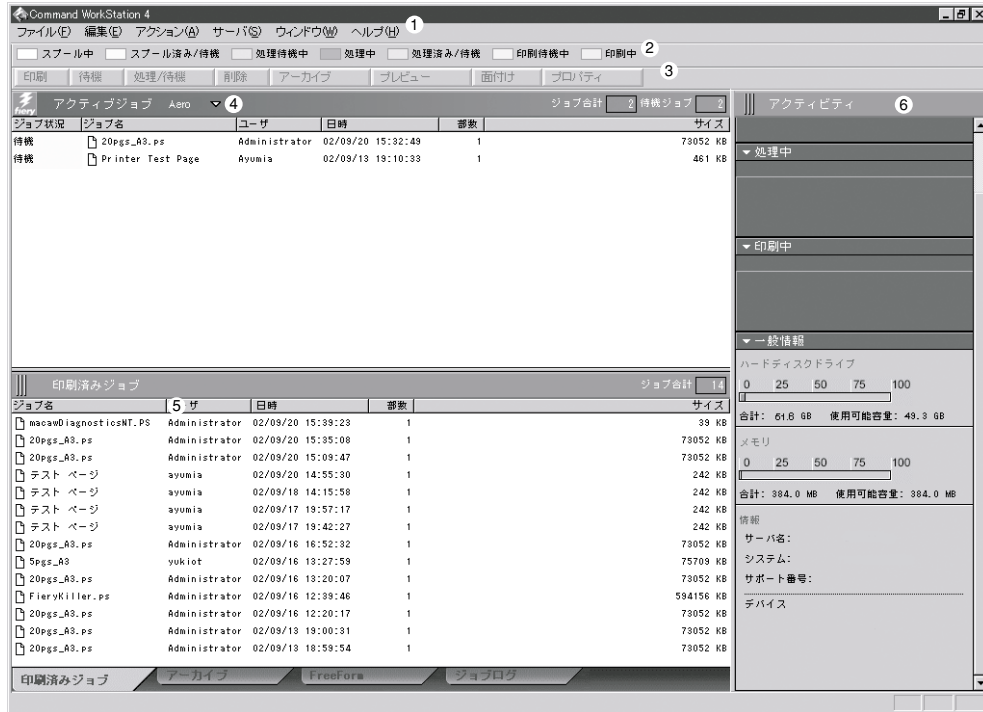
2 Command WorkStation（Windows）

本章ではCommand WorkStationについて説明します。Command WorkStationを操作するには、オペレータとしてCommand WorkStationを操作します。

Command Work Stationでは、ジョブ送信、待機、システム情報ページ印刷、環境設定、トレイ選択、トレイ管理機能を利用することができます。Command WorkStationを使用するにはプリンタユーティリティCD-ROMからインストールしてください。

Command WorkStation（Windows）

Command WorkStationは、複数サーバ上の印刷ジョブを監視/管理するためのユーティリティです。

次図はCommand WorkStationのデフォルトインタフェースです。

① メニューバー（35ページ参照）
② ジョブ状況ヘルパー（30ページ参照）
③ アクションボタン（31ページ参照）
④ アクティブジョブウィンドウ（25ページ参照）
⑤ ジョブウィンドウ（26ページ参照）
⑥ アクティビティモニタ（28ページ参照）

アクティブジョブウィンドウ

「アクティブジョブ」ウィンドウは、MLPro9800PSの待機中/処理中/印刷中ジョブ状況およびジョブチケット情報(プリントオプション設定、印刷条件、課金に関する情報)を表示します。ウィンドウのタイトルバーは、監視中のサーバ名、表示されている全ジョブの合計および待機ジョブの合計を表示します。

「アクティブジョブ」ウィンドウでは、ジョブ管理コマンドを指定して、ウィンドウ内の処理/印刷待ちのジョブを待機させたり、待機ジョブを処理 /印刷したり、処理中 /印刷中のジョブをキャンセルすることができます。

「アクティブジョブ」に表示されるジョブ状況フラッグに関する詳細は、30ページを参照してください。

「アクティブジョブ」ウィンドウでは、次の操作を行います。

- MLPro9800PS上のジョブの監視および管理
- 複数のMLPro9800PS上のジョブの監視
- ウィンドウコラムに表示されるジョブチケット情報のカスタマイズ

ジョブウィンドウ

印刷済みジョブウィンドウは、アクティブジョブ以外のジョブに関する情報を表示します。

このウィンドウには、「印刷済みジョブ」、「アーカイブ」、「FreeForm」、「ジョブログ」パネルがあります。ウィンドウの下部のタブをクリックするとパネルが切り替わります。ジョブウィンドウのタイトルバーは、選択されているパネル名とパネル内に表示されているジョブの合計を表示します。

ジョブウィンドウの各パネルは、「アクティブジョブ」のサーバ選択メニューで選択されているサーバ上のジョブを表示します。

ジョブウィンドウの各パネルでは、次の操作を行います。

- MLPro9800PS上のジョブの監視および管理(53ページ参照)
- 複数のMLPro9800PS上のジョブの監視(61ページ参照)
- パネルコラムに表示されるジョブチケット情報のカスタマイズ(55ページ参照)

印刷済みジョブパネル

「印刷済みジョブ」パネル(下図参照)は、選択したMLPro9800PSから印刷されたすべてのジョブの一覧を表示します。印刷済みジョブは、パネル内で日付けの新しいものから順に上から表示され、制限数に達するまで保存されます(制限数は、システム管理者がMLPro9800PS「設定」で指定します)。制限数を超えたジョブが印刷されると、一番日付けの古いジョブから削除されます。

メモ 「処理と待機」を選択すると、RIP処理したジョブもこのパネル内に保存されます。

アーカイブパネル

「アーカイブ」パネルは、選択したサーバからアーカイブされたすべてのジョブの一覧を表示します。

「アーカイブ」パネルに関する詳細は、67ページを参照してください。

FreeFormパネル

「FreeForm」パネルは、選択したサーバ上のすべてのバリアブルデータ印刷用マスターファイルの一覧を表示します。

FreeFormジョブおよび「FreeForm」パネルに関する詳細は、100ページを参照してください。

ジョブログパネル

「ジョブログ」パネルは、選択したサーバから印刷されたすべてのジョブの一覧を表示します。

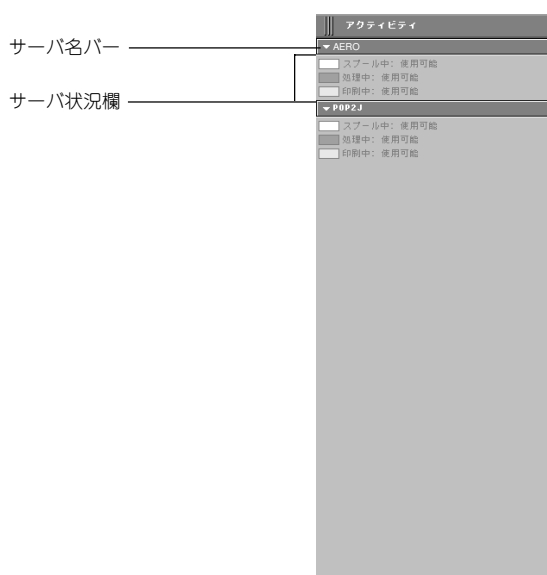
メモ　ゲストとしてログインしている場合、ジョブログパネルにジョブの一覧は表示されません。

「ジョブログ」パネルに関する詳細は、69ページを参照してください。

アクティビティモニタ

「アクティビティ」モニタは、ジョブのアクティビティ(スプール中/処理中/印刷中)を表示します。待機ジョブは表示されません。

全サーバビュー

「アクティブジョブ」ウィンドウのサーバ選択メニューで「全サーバ」が選択されている場合、「アクティビティ」モニタはCommand WorkStationから接続しているすべてのサーバのアクティビティを表示します。

モニタ内には次の情報が表示されます。

- サーバ名 — プリンタ名がサーバ名バーに表示されます。サーバ名バーをクリックすると、サーバ状況欄を開閉することができます。
- プリンタの状況 — サーバ名バーをクリックすると、状況欄が開いて、状況項目(「スプール中」/「処理中」/「印刷中」)が表示されます。サーバでジョブのスプール/処理/印刷が行われると、対応する状況項目の横にジョブ名が表示されます。サーバが複数のプリントデバイスに接続されている場合、ジョブ名の下にデバイス名も表示されます。サーバで作業が行われていないときは、状況項目の横に「使用可能」と表示されます。
- エラー状況 — プリンタでエラーが発生するとサーバ名バーが赤色になり、バーを展開するとエラーの詳細が表示されます。

単一サーバビュー

「アクティブジョブ」ウィンドウのサーバ選択メニューで、特定の単一のMLPro9800PSが選択されている場合、「アクティビティ」モニタは、ジョブアクティビティのアニメーションなどのより詳細な情報を表示します。

単一サーバビューでは、選択した特定サーバのジョブアクティビティが表示されます。待機中/処理待機中/印刷待機中ジョブは表示されません。

単一サーバビューでは3つの状況欄および1つの情報欄が表示されます。バーをクリックすると、各状況/情報欄を開閉することができます。

- スプール状況 — サーバのハードディスクにスプールされているジョブのファイル名を表示します。
- 処理状況 — RIP処理中のジョブのファイル名、ページ番号、処理状況(バイト数)、ページのサムネイルを表示します。
- 印刷状況 — 印刷中のジョブ名、ページ番号、部数を表示します。
- 一般情報 — 全ハードディスク容量および使用可能容量、全メモリ容量および使用可能容量を表示します。また、サーバ名、システムソフトウェアバージョン、テクニカルサポート番号、デバイス名も表示します。

メモ 「環境設定」で「アニメーションを使用」を選択した場合、各状況欄でアニメーションが表示されます(47ページ参照)。

ジョブ状況ヘルパー

ジョブ状況ヘルパーは、「アクティブジョブ」ウィンドウおよび「アクティビティ」モニタで使用するジョブ状況フラッグの色を定義します。

スプール中　スプール済み/待機　処理待機中　処理中　処理済み/待機　印刷待機中　印刷中

状況フラッグ名	色	ジョブ状況
スプール中	白	サーバハードディスクにジョブファイルがコピーされています。
スプール済み/待機	薄黄	ジョブはサーバハードディスクにコピーされ、待機中です。
処理待機中	薄青	ジョブは、RIP 処理されるまで待機しています。順番がくると、RIP処理されます。
処理中	青	ジョブはRIP処理中です。
処理済み/待機	黄	ジョブはRIP 処理され、待機中です。
印刷待機中	薄緑	ジョブは印刷されるまで待機しています。順番がくると、印刷されます。
印刷中	緑	ジョブは印刷中です。

メモ　「印刷の一時停止」コマンドにより中断されたジョブのフラッグは赤色になり、「アクティブジョブ」ウィンドウの「ジョブ状況」コラムに「印刷が一時停止しました」と表示されます。

ジョブフローとジョブ状況に関する詳細は、17ページを参照してください。

アクションボタン

アクションボタンは、ジョブ管理を行う場合に頻繁に使用するコマンドを表示します。これらのコマンドはメニューバー/右クリックメニューからも選択できますが、アクションボタンを使用すると、簡単にアクセス/実行することができます。各コマンドに関する詳細は、35ページを参照してください。

アクションボタンコマンドを実行するには：

❶ 「アクティブジョブ」ウィンドウまたはジョブウィンドウでジョブを選択します。

❷ アクションボタンをクリックします。
選択ジョブに使用できないコマンドは薄く表示され、実行できません。

プレビューウィンドウ

「プレビュー」ウィンドウは、ジョブのサムネイルプレビューを表示します。このウィンドウでは、ジョブページの削除やマージなどを編集します。

「プレビュー」ウィンドウを使用したジョブ編集の詳細は、「第5章： ジョブのプレビューと編集」を参照してください。

単数または複数サーバの監視

「アクティブジョブ」ウィンドウ、ジョブウィンドウ、「アクティビティ」モニタに単数または複数のサーバ情報を表示します。

監視するサーバを選択するには：

❶ 「アクティブジョブ」ウィンドウタイトルバーのサーバ選択メニューの矢印をクリックします。

ポップアップメニューが表示され、接続しているすべてのサーバ名が表示されます。

❷ 一台のサーバを表示するには、そのサーバをメニューから選択します。すべてのサーバを表示するには、［全サーバ］ を選択します。

Command WorkStationのカスタマイズ

Command WorkStationでは、モジュールの表示/非表示の切り替え、並べ替え、ドッキングを行うことにより、ユーザーインターフェイスレイアウトをカスタマイズします。たとえば、2つのウィンドウを表示したり、横に並べて配置したり、MLPro9800PSの使用環境に合わせてレイアウトを変更することができます。また、手動ではなく、定型スタイルを選択して、レイアウトを変更することもできます。

レイアウトスタイルの使用

Command WorkStationは、3種類の定型レイアウトスタイルと3種類のカスタマイズ用レイアウトスタイルに変更できます。

レイアウトスタイルを指定して表示するには：

- [ウィンドウ]-[レイアウト]を選択し、サブメニューからレイアウトスタイルを選択します。

  レイアウトは3種の定型スタイル(デフォルト、スタイル1、スタイル2)および3種のカスタムスタイルから選択します。各定型スタイルに関する詳細は、38ページを参照してください。

  カスタムスタイルは自由に変更することができます。詳細は、次項を参照してください。

ウィンドウの表示/非表示/並べ替え

「ウィンドウ」メニューでウィンドウの表示/非表示を切り替えます。また、ウィンドウを別の場所にドラッグして、特定のウィンドウの横にドッキングすることもできます。変更したレイアウトは、カスタムスタイルとして保存します。

メニューバーおよび「アクティブジョブ」ウィンドウを非表示にしたり、移動することはできません。これらのウィンドウは、常に表示されています。

ウィンドウを表示/非表示にするには：

- ウィンドウを「ウィンドウ」メニューから選択します。
  ウィンドウが表示されている時は、「ウィンドウ」メニュー内のモジュール名の横にチェックマークが表示されます。

ウィンドウを移動するには：

- ウィンドウのグリップ（タイトルバー左端の三本線）をドラッグして、別の場所まで移動します。
  ドッキングされていないウィンドウは、他のウィンドウの上にフロートしている状態になり、ウィンドウフレームが表示されます。

ジョブウィンドウがドッキングされているときは、上端をドラッグして上下方向にサイズを変更することができます。

ウィンドウのドッキングを解除するには：

- ウィンドウのグリップ（タイトルバー左端の三本線）をダブルクリックします。
  ドッキングされていないウィンドウは、他のウィンドウの上にフロートしている状態になり、ウィンドウフレームが表示されます。グリップを再度ダブルクリックするとドッキングされます。

レイアウトを保存するには：

❶ ［ウィンドウ］-［レイアウトの保存］を選択します。

❷ 使用するスタイル（カスタム 1、カスタム 2、カスタム 3) を選択します。
スタイル名は、変更することができます。

❸ ［OK］をクリックします。

2
Command WorkStation (Windows)

コマンドの使用

Command WorkStationには、さまざまな機能を使用するためのコマンドがあります。これらのコマンドは、メニューバー、アクションボタン、右クリックなど異なる方法でアクセスして選択することができます。

メニューバーは、Command WorkStationの全コマンドへのアクセスを提供します。アクションボタンは、ジョブ管理に頻繁に使用するコマンドをボタンで表示しています(31ページ参照)。右クリックで表示されるメニューは、選択したジョブに適用できるコマンドを表示します。

メニューバー

メニューバーには6つのコマンドメニューがあります。状況により使用できないコマンドは薄く表示され選択できないようになっています。

ファイル(F)　編集(E)　アクション(A)　サーバ(S)　ウィンドウ(W)　ヘルプ(H)

メニューバーは、常にCommand WorkStation画面上に表示されます。メニューバーを非表示にしたり、移動することはできません。

メニュー	コマンド	サブメニューコマンド	説明
ファイル	インポート	ジョブ	ネットワーク上のデバイスからジョブをMLPro9800PSへインポートします。
		アーカイブ済みジョブ	アーカイブされているジョブをMLPro9800PSへインポートします。
	エクスポート	アクティブジョブウィンドウ	「アクティブジョブ」ウィンドウ内のジョブリストをタブ区切りのテキストファイルとしてエクスポートします。
		印刷済みジョブウィンドウ	「印刷済みジョブ」ウィンドウ内のジョブリストをタブ区切りのテキストファイルとしてエクスポートします。
	印刷	ジョブログ	ジョブログをローカルプリンタに印刷します。
		アクティブウィンドウ	アクティブジョブウィンドウ内のジョブリストをローカルプリンタに印刷します。
	終了		Command WorkStationを終了します。
編集	検索		項目を指定してMLPro9800PS上のジョブを検索します。
	環境設定		Command WorkStation使用環境の設定/変更を行います。
アクション	印刷		選択したジョブ(複数可)を印刷します。
	削除		選択したジョブ(複数可)を削除します。 スプール中、処理中、印刷待機中ジョブの削除はできません。

メニュー	コマンド	サブメニューコマンド	説明
アクション	複製		選択したジョブ(複数可)を複製します。
	名前変更		選択したジョブの名前を変更します。
	待機		選択したジョブ(複数可)を待機させます。
	処理と待機		選択したジョブ(複数可)をRIP処理し、待機させます。
	印刷と待機		選択したジョブ(複数可)のコピーを作成し、印刷します。印刷後も、元のジョブはそのまま「アクティブジョブ」ウィンドウに待機状態で残ります。
	ラスターデータ除去		選択したジョブ(複数可)のラスターデータを削除します。オリジナルジョブデータは残ります。
	プロパティ		選択したジョブ(複数可)のプリントオプション設定を表示/書き換えることができます。(PostScriptデータのみ)
	プレビュー		選択したラスターデータジョブを「プレビュー」ウィンドウに表示します。
	アーカイブ		選択したジョブ(複数可)をアーカイブします。
	送信先		選択したジョブ(複数可)のPostScriptデータを接続している他のサーバに送信します。
	処理の取消し		選択した処理中(青色ジョブ状況フラッグ)ジョブのRIP処理をキャンセルします。このコマンドは「処理中」状況フラッグが表示されているジョブを選択した時に使用することができます。
	印刷の取消し		選択した印刷中(緑色ジョブ状況フラッグ)ジョブの印刷をキャンセルします。このコマンドは「印刷中」状況フラッグが表示されているジョブを選択した時に使用することができます。
	面付け		選択したジョブを「面付け」ウィンドウに表示します。(この機能はDocBuilder PROがインストールされ、ドングルが取り付けられている場合のみ利用できます。)
	用紙種類の混合		ページの範囲を指定して、用紙の種類を選択することができます。
サーバ	ログイン/ログアウト		「ログインサーバ」画面内の選択サーバにログイン/ログアウトします。また、サーバの追加/削除を行うこともできます。
	設定		MLPro9800PS「設定」画面を表示します(『設定管理ガイド』参照)。 このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。
	カラー管理		Fiery ColorWise ProToolsを起動します(『カラーガイド』参照)。 このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。

メニュー	コマンド	サブメニューコマンド	説明
サーバ	フォント管理		MLPro9800PSへの欧文フォントのダウンロード、またMLPro9800PSからのフォントの削除が可能です。 このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。
	トレイ調整		ページ上の印刷位置を調整して、トレイ内の用紙位置のズレを修正します。 このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。
	印刷グループ		印刷グループおよびパスワードの作成/変更を行います(『設定管理ガイド』参照)。 このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。
	ジョブの並べ替え		印刷待ちジョブの優先順位を変更します。
	サーバの再起動		システムソフトウェアを再起動せずに、MLPro9800PSを再起動します。 再起動後は、再度ログインが必要です。 このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。
	サーバのリブート		MLPro9800PSシステムソフトウェアを終了してから再起動します。 リブート後は、再度ログインが必要です。 このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。
	ジョブログ	エクスポート	ジョブログをタブ区切りのテキストとしてエクスポートします。
		エクスポートして消去	ジョブログをタブ区切りのテキストとしてエクスポートし、その後MLPro9800PSのハードディスクからジョブログを消去します。
	サーバの初期化		次のジョブまたはファイルを選択して削除します。 • 待機ジョブ • アクティブジョブ • 印刷済みジョブ • アーカイブ済みジョブ－サーバ内 • アーカイブ済みジョブ－ネットワーク上 • FreeFormマスター • ジョブログ このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。

メニュー	コマンド	サブメニュー コマンド	説明
サーバ	ページの印刷		MLPro9800PSに関する以下のページを印刷することができます。 • PSテストページ • 設定情報 • ジョブログ • カラー表 • PSフォントリスト • PCLフォントリスト • デモページ • メールログ • アーカイブログ • キュー このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。 MLPro9800PS-Eですべてのページを印刷するにはオプションのハードディスクが必要です。
	印刷の一時停止		MLPro9800PSからの印刷を一時停止します。
	印刷の再開		「印刷の一時停止」を解除し、MLPro9800PSからの印刷を再開します。
ウィンドウ	レイアウト	デフォルト	以下のCommand WorkStationモジュールを表示します。 • メニューバー • ジョブ状況ヘルパー • アクションボタン • 「アクティブジョブ」ウィンドウ • ジョブウィンドウ • 「アクティビティ」モニタ
		スタイル1	以下のCommand WorkStationモジュールを表示します。 • メニューバー • ジョブ状況ヘルパー • アクションボタン • 「アクティブジョブ」ウィンドウ
		スタイル2	以下のCommand WorkStationモジュールを表示します。 • メニューバー • ジョブ状況ヘルパー • アクションボタン • 「アクティブジョブ」ウィンドウ • 「アクティビティ」モニタ
		カスタム1～3	「レイアウトの保存」コマンドで保存したカスタムレイアウトを表示します。
	レイアウトの保存		Command WorkStationの現在のレイアウトをカスタムレイアウトとして保存できます。カスタムレイアウトは3種類まで保存でき、「ウィンドウ：レイアウト」のサブメニューに表示されます。

メニュー	コマンド	サブメニューコマンド	説明
ウィンドウ	ジョブウィンドウ		ジョブウィンドウを表示/非表示します。このコマンド名の左にチェックマークが表示されると、ジョブウィンドウが表示されます。
	アクティビティモニタ		「アクティビティ」モニタを表示/非表示します。このコマンド名の左にチェックマークが表示されると、「アクティビティ」モニタが表示されます。
	アクションボタン		アクションボタンを表示/非表示します。このコマンド名の左にチェックマークが表示されると、アクションボタンが表示されます。
	ジョブ状況ヘルパー		ジョブ状況ヘルパーを表示/非表示します。このコマンド名の左にチェックマークが表示されると、ジョブ状況ヘルパーが表示されます。
	プレビュー<ジョブ名>		「プレビュー」画面を最前面で表示させます。「アクション」メニューの「プレビュー」コマンドを実行してプレビュー画面を開くと表示されます。
	プレビュー操作		「プレビュー」画面を最前面で表示させ、画面の開閉、サイズ変更、表示場所の移動などの操作を有効にします。
ヘルプ	Command WorkStation 4.2について		Command WorkStation 情報を表示します。

右クリック項目の使用

「アクティブジョブ」ウィンドウまたはジョブウィンドウでジョブ(複数可)を選択して、右クリックするとメニューが表示されます。このメニューには、選択ジョブに適用できる項目が表示されます。

次の手順で右クリックコマンドを使用します。

右クリックコマンドを使用してジョブ処理を指定するには：

1. **ジョブリスト内の単一ジョブの処理を指定するには、そのジョブを選択し、ジョブ名の上で右クリックします。**

   複数のジョブを同時に処理するには、最初のジョブを選択してから、ShiftキーまたはCtrlキーを押しながら隣接したジョブを選択するか、またはCtrl キーを押しながら隣接しないジョブを選択し、選択したジョブのジョブ名にカーソルを当てたまま、右クリックします。

2. **項目を選択して、マウスボタンを離します。**

起動とログイン/ログアウト

Command WorkStationを使用するには、 Command WorkStationを起動し、MLPro9800PSにログインします。

起動

初めてCommand WorkStationを起動するときには、プリンタへの接続の設定を行います。

Command WorkStationを起動するには：

❶ 「設定情報」を印刷しておきます。(45ページ)

❷ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[Fiery]-[Command WorkStation 4] を選択します。
「使用可能サーバ」画面が表示されます。ローカルサブネット内で見つかった全てのプリンタが一覧表示されます。
プリンタが表示される場合は ❻ に進みます。

❸ プリンタが表示されない場合、[手動] タブを選択して、DNS名またはIPアドレスを入力して検索します。

❹ IPアドレスの範囲、またはIPアドレスとサブネットマスクを組み合わせて検索するには、[自動検索] タブを選択し、[詳細] をクリックします。

❺ [検索] をクリックします。

❻ 使用するプリンタを選択して、[追加] をクリックします。
「ログインサーバ」画面に、選択したプリンタが表示されます。

ログイン

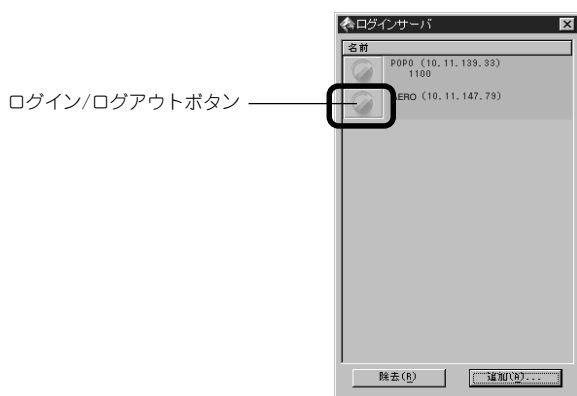
MLPro9800PSに接続するには、「ログインサーバ」ウィンドウ内のリストからMLPro9800PSを選択し、ログインします。複数のMLPro9800PSに同時接続する場合は、続けて別のMLPro9800PSにもログインします。
MLPro9800PS一台あたりに必要なパソコンのメモリは平均4MBです。したがって、同時に接続できるMLPro9800PS台数は、Command WorkStationを使用するコンピュータのメモリ容量によって異なります。たとえば、メモリ容量が128MBでCommand WorkStationを使用する場合、約25台のMLPro9800PSに同時接続することができます。

ログインするには：

❶ ［サーバ］-［ログイン/ログアウト］を選択します。

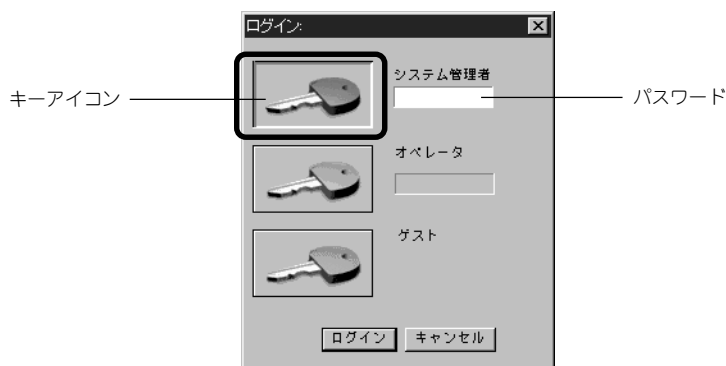
「ログインサーバ」画面が表示されます。

画面内に、以前に接続したことのあるMLPro9800PSのリストが表示されます。リスト内の各行に、ログインボタン、サーバ名、IPアドレス、接続されているプリンタ名が表示されます。

❷ ログイン/ログアウトボタンをクリックします。

リストに表示されないサーバにはログインできません。Command WorkStationから一度も接続していないサーバのログインボタンは、白色で表示されます。

以前に接続したサーバのログインボタンは、前回のログインレベルの色で表示されます。

- 紫 — システム管理者
- オレンジ — オペレータ
- 青 — ゲスト

❸ アクセスレベル（システム管理者 / オペレータ / ゲスト）に対応するキーアイコンを選択し、パスワードを入力します。

ゲストとしてログインする場合、パスワードは不要です。

アクセスレベルによって、使用できる Command WorkStation の機能は異なります（次項参照）。

❹ ［ログイン］をクリックします。

MLPro9800PS に接続します。

Command WorkStation では、複数のプリンタに同時に接続することができます。必要に応じてこの手順を繰り返してください。

アクセスレベル

MLPro9800PSは「システム管理者」、「オペレータ」、「ゲスト」の3種類のログインレベルを提供しており、Command WorkStationからいずれかのレベルでログインします。

工場出荷時の設定では、ログインパスワードは設定されていません。したがって、誰でもパスワードなしでシステム管理者としてログインし、Command WorkStationの全機能を使用することができます。

ログインレベルごとにパスワードを設定して使用できる機能を制限することにより、印刷環境のセキュリティを強化します。パスワードの設定は、MLPro9800PS「設定」で行います（『設定管理ガイド』参照）。

ゲストレベルにはパスワードがありません。

システム管理者およびオペレータ用パスワードの両方を設定した場合、アクセスレベルは次表のようになります。

アクセスレベル	アクセス特権	必要パスワード
システム管理者	Command WorkStationとMLPro9800PS操作パネルの全機能にアクセス可能。システム管理者が使用できる機能の詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。	システム管理者用パスワード
オペレータ	MLPro9800PS「設定」、カラー管理、フォント管理、サーバのリブート、初期化、印刷の一時停止、印刷の再開、トレイ調整、印刷グループ、ジョブの並べ替え以外のCommand WorkStationの機能にアクセス可能。	オペレータ用パスワード
ゲスト	ジョブ状況の表示が可能。 ジョブ操作およびMLPro9800PS「設定」の変更は不可。	パスワード不要

一人のユーザが複数サーバに異なるレベルでログインしている場合、各サーバのログインレベルに応じて使用できる機能は異なります。

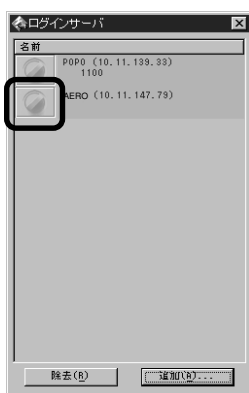
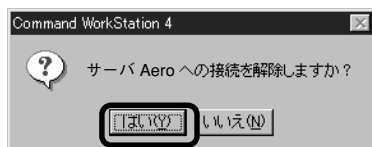
ログアウト

ログアウトすると、MLPro9800PSとCommand WorkStationの接続が解除されます。

ログアウトするには：

❶ ［サーバ］-［ログイン/ログアウト］を選択します。

「ログインサーバ」画面が表示されます。

❷ MLPro9800PS のログイン/ログアウトボタンをクリックします。

❸ ［はい］をクリックして、サーバからログアウトします。

MLPro9800PS との接続が解除されます。

サーバの除去

使用しないサーバは、「ログインサーバ」画面から除去します。

サーバを除去するには：

❶ ［サーバ］-［ログイン/ログアウト］を選択します。

「ログインサーバ」画面が表示されます。

❷ サーバリストからサーバ名を選択し、［除去］をクリックします。

［除去］は、サーバが接続されている時には選択できません。

Command WorkStation使用開始準備

Command WorkStationの使用開始にあたって、必要な設定および作業を説明します。

情報ページの印刷

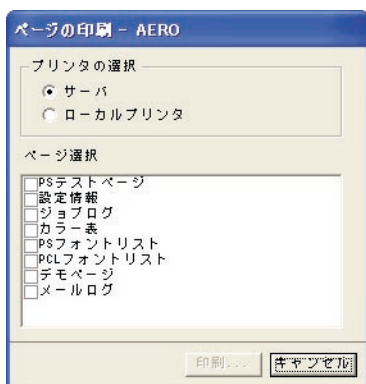
[サーバ]-[ページの印刷]コマンドにより特殊ページを印刷して、MLPro9800PSの情報を確認することができます。情報ページは、MLPro9800PSの設定やトラブルシューティングに必要な情報を提供します。

- 情報ページを印刷するにはシステム管理者としてMLPro9800PSにログインする必要があります。
- MLPro9800PS-Eですべての情報ページを印刷するにはオプションのハードディスクが必要です。

次の手順で情報ページを印刷します。

情報ページを印刷するには：

❶「アクティブジョブ」ウィンドウで、MLPro9800PS を選択します。

❷［サーバ］メニューで［ページの印刷］を選択します。

❸「プリンタの選択」でページの印刷先を指定します。

- サーバ ー ページはMLPro9800PSに印刷されます。
- ローカルプリンタ ー ページはネットワーク上の任意のプリンタに印刷されます。

❹「ページ選択」でページを選択します。

- PSテストページ ー MLPro9800PSに問題がある場合は、カラーやグレイスケールの出力状態をこのページで検討します。サーバ名、プリンタの種類、カラー設定、キャリブレーション情報、印刷日時が印字されます。
- 設定情報 ー MLPro9800PSとデバイスの設定情報を確認します。MLPro9800PSのハードウェアとソフトウェアに関する一般情報、MLPro9800PS「設定」内容すべて、キャリブレーション情報、およびMLPro9800PSのイーサネットアドレス が印字されます。
- ジョブログ ーMLPro9800PSでRIPまたは印刷された ジョブのログが、新しいものから順に55件印刷されます。ジョブログに表示される項目およびジョブログファイルのエクスポート方法に関しては、69ページを参照してください。

- **カラー表** ― MLPro9800PSで使用可能な RGB、CMY、PANTONE カラーの見本が印刷されます。
- **PSフォントリスト** ― MLPro9800PSハードディスクドライブに格納されているすべてのPostScript用フォント名の一覧が印刷されます。
- **PCLフォントリスト**― MLPro9800PSハードディスクドライブに格納されているすべてのPCL用フォント名の一覧が印刷されます。
- **メールログ** ― MLPro9800PSのEメールサービス(印刷)使用状況、アドレス帳の登録通知、サービスの通信状況を印刷します。最新の55件のログが印刷されます。ネットワーク管理者向けの情報として有用です。

メモ　メールログを印刷するには、MLPro9800PS「設定」の「ネットワーク設定：サービス設定：Eメール設定」にて「Eメールサービスを使用する」を「はい」に設定しておいてください。

- **アーカイブログ** ― ユーザ指定のローカルプリンタに印刷されます。「アーカイブ」タブパネル内のジョブリストが印刷されます。
- **キュー** ― ユーザ指定のローカルプリンタに印刷されます。「アクティブジョブ」ウィンドウ内のジョブリストが印刷されます。

❺ ［印刷］をクリックします。

❸で［サーバ］を選択した場合、「プリンタ設定」画面の「部数」に印刷部数を入力し、［OK］をクリックします。ページは MLPro9800PS に印刷されます。

❸で［ローカルプリンタ］を選択した場合には、「印刷」画面でプリントデバイスを指定し、「部数」で印刷部数を入力して、［OK］をクリックします。指定プリントデバイスに印刷されます。

メモ　ジョブログ上では、「ページの印刷」コマンドで印刷された情報ページの利用者名は「システム管理者」ではなく「オペレータ」として表示されます。

Command WorkStation環境設定

Command WorkStation環境設定では、「アクティビティ」モニタのアニメーション使用、一時パス、テンプレートパスなどの設定を行います。

環境設定を行うには：

- ［編集］-［環境設定］を選択します。
  「環境設定」画面が表示されます。

「環境設定」画面では次の項目を指定することができます。

- アニメーション使用 －「アクティビティ」モニタの単一サーバビューでアニメーションを表示するかどうかを選択します(29ページ参照)。
- 自動ログイン － この項目を選択すると、Command WorkStationはプリンタごとに前回のログインレベルを記憶します。再びログインする時に、ログインレベルとパスワードが自動的に選択されます。
- ポップアップメニューを使用 － 使用するメニューのヘルプを表示します。
- 一時パス － Command WorkStation上でユーザが編集、変更する印刷ジョブを一時的に格納するフォルダを指定します。「参照」をクリックしてフォルダを指定すると、パスの変更を行うことができます。
- 単位 －「プロパティ」画面および「面付け」ウィンドウで使用する数値の単位（ポイント、インチ、ミリメートル）を指定します。
- 面付け：テンプレートパスー 面付けに使用するテンプレートファイルのパスを指定します。「参照」をクリックしてフォルダを指定すると、パスの変更を行うことができます。
- 検索：テンプレートパスー検索に使用するテンプレートファイルのパスを指定します。「参照」をクリックしてフォルダを指定すると、パスの変更を行うことができます。
- ジョブログ：保存件数（500-99999） － ジョブログの保存件数を指定します。
- ジョブログ：エクスポート時のファイルの種類 － ジョブログのエクスポート時のファイル形式を「カンマ区切り」または「タブ区切り」から選択します。

トレイ調整

「トレイ調整」機能を使用すると、ページ上のテキスト/画像の印刷位置を調整し、トレイ内の用紙のズレを修正することができます。両面印刷を行う場合には、テキスト/画像を両面とも同じ位置に印刷するよう調整することができます。

操作パネルの「トレイ調整」コマンドからも、同様の位置調整ができます（37ページ参照）。

- トレイ調整を行うにはシステム管理者としてサーバにログインする必要があります。
- 印刷時に[用紙トレイ]オプションバーの「用紙トレイ」プリントオプションで「自動選択」を選択している場合には、トレイ調整は有効にはなりません。

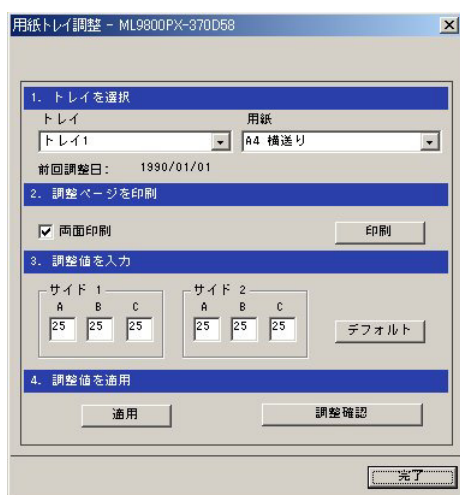
メモ

操作パネル/ Command WorkStationで設定した調整値をトレイに適用するには、ジョブ印刷時に[用紙トレイ]オプションバーの「トレイ調整」プリントオプションで「使用する」を選択し、かつ「用紙トレイ」プリントオプションで調整したトレイを選択する必要があります（『PS印刷ガイド』参照）。

次の手順でトレイを調整します。

用紙トレイ調整を行うには：

❶ 「アクティブジョブ」ウィンドウで、サーバを選択します。

❷ ［サーバ］-［トレイ調整］を選択します。

❸ 「1. トレイを選択」の「トレイ」でトレイを選択します。

❹ 「用紙サイズ」で、❸で選択したトレイに入っている用紙サイズを選択します。

注

トレイ調整値は、トレイ/用紙の組合せにより異なります。たとえば、「トレイ1」/「A4」用の用紙トレイ調整値は、「トレイ1」/「レター」の組み合わせ用には無効です。各トレイ/用紙の組み合わせに対し、トレイ調整を行う必要があります。

❺ 「2. 調整ページを印刷」で、両面印刷を行う場合は「両面印刷」横のボックスにチェックマークを付け、［印刷］ボタンを押します。

注

調整ページは必ず印刷してください。

❻ 排紙された調整ページ上の手順に従います。

まず用紙を横に半分に折った後で用紙を広げ、次に縦に半分に折った後で用紙を広げます。それから用紙上の各目盛りと折り目が交差している部分の数値を用紙のA / B / C横のボックスに書き入れます。

❼「3. 調整値を入力」で、「サイド1」のA / B / C欄に、用紙の各目盛り（A、B、C）と折り目の交差部分の値を入力します。

注 AとCに異なる値を入力すると、画像が回転するためジャギー（ギザギザ状態）が目立つことがあります。その場合は、AとCに同じ値を入力してください。

❽ 両面印刷用に用紙トレイ調整を行う場合は、「サイド2」のA / B / Cに、調整用ページ裏面の各目盛り（A、B、C）の数値を入力します。

注 「サイド1」と同様、AとCに異なる値を入力すると、画像が回転するためジャギー（ギザギザ状態）が目立つことがあります。その場合は、AとCに同じ値を入力してください。

❾「4. 調整値を適用」で［適用］を押します。

❿ 用紙トレイ調整値を除去する場合は、対象トレイを選択し「3. 調整値を入力」で［デフォルト］をクリックします。

⓫［完了］をクリックし、「用紙トレイ調整」を閉じます。

注 印刷時には、［用紙トレイ］オプションバーの「トレイ調整」プリントオプションで「使用する」を選択し、かつ「用紙トレイ」プリントオプションで調整したトレイを選択して印刷します。

内蔵フォントの管理

「フォント管理」コマンドを使用すると、MLPro9800PSに欧文フォントをダウンロード/削除します（ただし、MLPro9800PS提供のプリンタフォントはロックされているので削除することはできません）。ネットワーク上のユーザもFiery Downloaderを使用してMLPro9800PSに欧文フォントをダウンロード、追加することができます（『PS印刷ガイド』参照）。和文フォントのダウンロードや動作環境については、フォントメーカにお問い合わせください。

注 「フォント管理」コマンドを使用するには、システム管理者としてサーバにログインする必要があります。

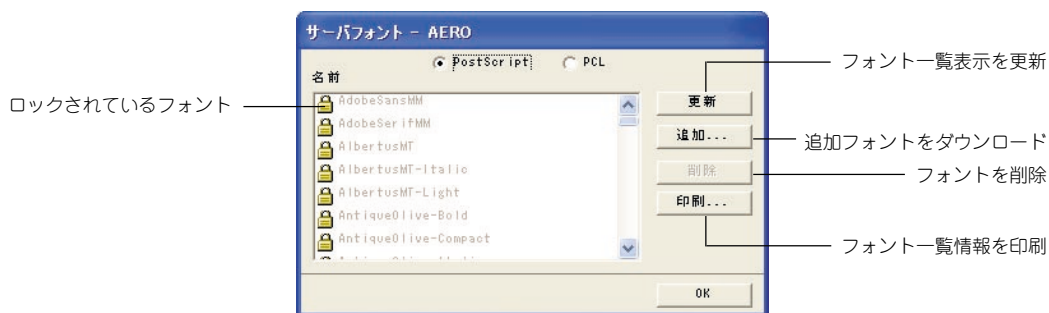
フォントをダウンロードする場合は、MLPro9800PS「設定」で直接接続を使用可能にしておく必要があります（『設定管理ガイド』参照）。

注 TrueTypeフォントや和文フォントなどのコンポジットフォントはダウンロードできません。Windows で TrueType フォントを使用する場合、プリンタドライバのフォント代替表で設定し、Adobe Type 1 フォントと置換して印刷します。

MLPro9800PSに内蔵されているフォントの一覧を印刷するには、［ファイル］-［ページの印刷］を選択します(38ページ参照)。

フォントを管理するには：

❶ 「アクティブジョブ」ウィンドウのサーバ選択メニューで、MLPro9800PS が選択されていることを確認します。

❷ ［サーバ］-［フォント管理］を選択します。

❸ ［PostScript］、または［PCL］を選択します。MLPro9800PS に追加フォントをダウンロードする場合は、［追加］をクリックし、次項を参照してフォントをダウンロードします。

❹ フォントを削除する場合は、一覧からフォント名を選択して、［削除］をクリックします。

複数のフォントを選択する場合は、ShiftキーまたはCtrlキーを押しながらフォントを選択してください。

注 MLPro9800PS提供のプリンタフォントはロックされています。これらのフォントはロックアイコンと共に表示され、削除することはできません。

❺ フォント一覧の表示内容を更新する場合は、［更新］をクリックします。

❻ フォント一覧情報を印刷する場合は、［印刷］をクリックしてから、「印刷」画面で印刷に使用するプリントデバイスを指定し、［OK］をクリックします。

フォントをダウンロードするには：

❶ ［サーバ］-［フォント管理］を選択します。

❷ ［追加］をクリックします。

この画面は、［ファイル］-［インポート］-［ジョブ］からもアクセス可能です。

❸ 「ファイルの場所」で場所を指定します。

❹ フォントを選択し、［追加］をクリックします。

隣接したフォントファイルを選択する場合はShiftキー、隣接していないフォントファイルを選択する場合はCtrlキーを押しながら、フォントファイルをクリックします。

「インポートするファイル」からファイルを除去する場合は、ファイルを選択して［除去］をクリックします。

❺ ［インポート］をクリックします。

インポートを取り消すには、［キャンセル］をクリックします。

印刷グループの設定

MLPro9800PSに管理者としてログインした場合、パスワード保護機能を利用した印刷グループを設定できます。ジョブに印刷グループを指定することにより、その印刷グループのパスワードを知っているユーザだけがこのジョブを印刷することができます。

印刷グループを作成しておけば、プリンタドライバまたはCommand WorkStation/Command WorkStation LEのプロパティ画面からジョブに印刷グループを割り当てることができます。

印刷グループを設定するには：

❶ 「サーバ」メニューから［印刷グループ］を選択します。

注 「印刷グループ」は管理者としてログインしたときのみ利用可能です。

❷ ［作成］をクリックします。

❸ グループ名とパスワード情報を入力し、［追加］をクリックしてから、［OK］をクリックします。

❹ 既存の印刷グループを変更する場合は、印刷グループを選択して［変更］をクリックします。

❺ 印刷グループを削除するには、印刷グループを選択して［除去］をクリックします。

❻ ［OK］をクリックして、印刷グループ設定を保存します。

3 印刷ジョブの監視および管理

本章では、オペレータの使用を想定したCommand WorkStationでのジョブフロー監視/管理方法を説明します。待機ジョブにRIP処理や印刷などのコマンドを実行することができるようになり、また、FreeForm印刷条件、用紙設定、仕上げなどのプリントオプション設定ができるようになります。ジョブを印刷した後は、そのジョブをアーカイブしたり、ジョブログで印刷結果を確認します。

アクセスレベルに関する詳細は、43ページを参照してください。ジョブフローおよびジョブ管理に関する詳細は、「第1章：ジョブ管理」を参照してください。また、Command WorkStationユーザインターフェイスに関する詳細は、「第2章： Command WorkStationの紹介」を参照してください。

ジョブの監視

「アクティブジョブ」ウィンドウおよび「印刷済みジョブ」タブパネルを観察することにより、MLPro9800PS上のジョブのフローを把握します。

「アクティブジョブ」ウィンドウは、ジョブ状況フラッグおよびジョブチケット情報を表示します。ジョブ状況フラッグにより、ジョブの処理状況を確認することができます。また、ジョブチケット情報コラムをカスタマイズしてジョブリストをソートすることができます。

印刷の完了したジョブは、「アクティブジョブ」ウィンドウから「印刷済みジョブ」タブパネルに移動します。「印刷済みタブ」パネルには、印刷時にエラーが発生したジョブも表示されます。エラーが発生したジョブは赤色で表示され、その行をクリックするとエラーレポートが表示されます。

ジョブのソート

「アクティブジョブ」ウィンドウおよびジョブウィンドウで、ジョブチケット情報コラムヘッダをクリックすると、ジョブリストをソートすることができます。

ジョブをソートするには：

- 「アクティブジョブ」ウィンドウまたはジョブウィンドウのいずれかのタブパネルで、ソートに使用するジョブチケットコラムヘッダをクリックます。

ジョブ状況	ジョブ名	ユーザ	日時	部数	サイズ

たとえば、ジョブの状況でソートする場合、「ジョブ状況」コラムヘッダをクリックします。ウィンドウ内のジョブリストがジョブ状況によってソートされます。

ソート順序を逆にするには、もう一度コラムヘッダをクリックします。

ジョブチケット情報のカスタマイズ

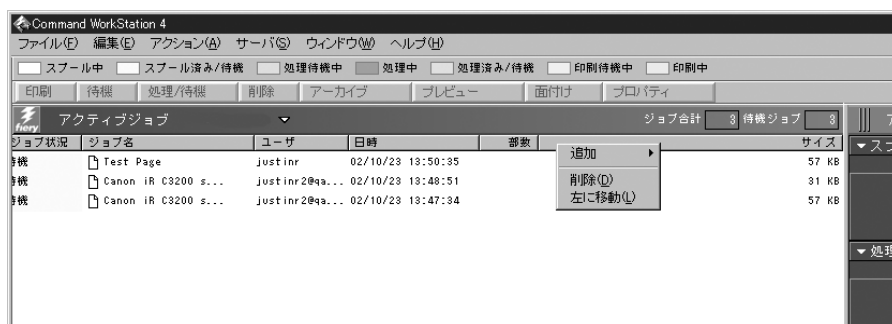
「アクティブジョブ」ウィンドウおよびジョブウィンドウの各タブパネルで、コラム幅を変更したり、コラムヘッダを移動/追加/削除して、ジョブチケット情報の表示をカスタマイズします。

作業環境に合わせて、ジョブチケット情報の表示をカスタマイズします。たとえば、複数のサーバを監視する場合、「Fiery」および「デバイス」コラムを追加表示すると、ジョブを監視しやすくなります。

メモ　「日時」コラムは、Command WorkStationが起動するWindowsの「日付と時刻」設定に基づいています。

ジョブチケット情報の表示をカスタマイズするには：

❶ ジョブチケットコラムヘッダを右クリックします。

メニューが表示されます。

❷ 使用するコマンドを選択します。

追加 — サブメニューに表示されるヘッダ項目を追加します。サブメニューには、表示されていない項目が表示されます。

削除 — 選択コラムを削除します。

左へ移動 / 右へ移動 — 選択コラムを左または右に移動します。

❸ コラム幅を調節します。

コラムヘッダの境界線をクリックして、左または右にドラッグします。

ジョブの管理

このセクションでは、Command WorkStationを使用したジョブ管理について説明します。

ジョブの選択

「アクティブジョブ」ウィンドウまたはジョブウィンドウでジョブ（複数可）を選択すると、「アクション」メニューからジョブ管理コマンドを使用することができます。

ジョブを選択するには：

- 「アクティブジョブウィンドウ」またはジョブウィンドウのいずれかのタブパネルでジョブをクリックして選択します。

  隣接するジョブを選択するには、ShiftキーまたはCtrlキーを押しながらジョブをクリックします。
  隣接しないジョブを選択するには、Ctrlキーを押しながらジョブをクリックします。

同じウィンドウ内またはタブパネル内のみで、複数のジョブを選択します。

ジョブのインポート

「インポート」コマンドを使用して、ジョブをインポートします。ネットワーク上のファイル、またはアーカイブ済みジョブをインポートすることができます。

アーカイブに関する詳細は、67ページを参照してください。

ジョブをインポートするには：

1. ［ファイル］-［インポート］を選択し、サブメニューから［ジョブ］または［アーカイブ済みジョブ］を選択します。

   「インポートするファイルの選択」画面が表示されます。

❷ ［ファイルの場所］でフォルダを指定します。

❸ インポートするファイル（複数可）を選択し、［追加］をクリックします。

❹ ［ロジカルプリンタ］でキューを選択します。

システム管理者がMLPro9800PS「設定」で使用可能に設定しているキューのみが表示されます（『設定管理ガイド』参照）。

「待機キュー」を選択した場合、ジョブがインポートされ、MLPro9800PSにスプールされて待機となります。

「印刷キュー」を選択した場合、ジョブがインポートされ、MLPro9800PSにスプールされて印刷されます。

「直接接続」を選択した場合、ジョブはインポートされたあと、MLPro9800PSにスプールされずに印刷されます。この場合、ジョブは「アクティブジョブ」ウィンドウおよび「印刷済みジョブ」タブパネルに表示されません。

❺ ［インポート］をクリックします。

ジョブがインポートされます。

ジョブ管理コマンドの使用

オペレータは「アクション」メニューから次のコマンドを使用し、「アクティブジョブ」ウィンドウおよびジョブウィンドウ各タブパネルのジョブを操作します。

選択項目	選択結果	ラスターデータ状況
印刷	ジョブを印刷します。ラスターデータがない場合は、まずRIP処理を行います。	印刷が完了するまで、一時的にRAMに保存されます。
削除	ジョブ（複数可）を削除します。	削除されます。
複製	スプール/印刷エリアの選択したジョブ（複数可）を複製します。 メモ　オリジナル印刷ジョブと異なるプリント設定や行き先を指定する場合に選択します（複製とは、ジョブのオリジナルに同名のリファレンス を作成することを意味します）。	ラスターデータは複製できません。
名前変更	（ラスターデータの有無にかかわらず）ファイルのジョブ名を変更します。	新しいジョブ名に関連付けられます。
待機	処理待機中ジョブおよび印刷済みジョブをスプール済み/待機ジョブとして待機させます。	影響ありません。

選択項目	選択結果	ラスターデータ状況
処理と待機	ジョブをRIP処理し、待機させます。ジョブ印刷後もラスターデータファイルは「アクティブジョブ」ウィンドウに残ります。	「アクティブジョブ」ウィンドウから削除されるまでMLPro9800PSのハードディスクに保存されます。
印刷と待機	ジョブを印刷します。ラスターデータがない場合は、まずRIP処理を行います。ジョブ印刷後もラスターデータファイルは「アクティブジョブ」ウィンドウに残ります。	「アクティブジョブ」ウィンドウから削除されるまでMLPro9800PSのハードディスクに保存されます。
ラスターデータ除去	ラスターデータを含むジョブからラスターデータを削除します。オリジナルジョブデータはMLPro9800PSのハードディスクに残ります。	削除されます。
プロパティ	選択したジョブ(複数可)のプリント設定の表示 / 書き換えを行うことができます。	再RIPが必要なプリント設定を変更した場合は、削除されたあと、再び作成されます。
プレビュー	選択したジョブのプレビューが表示されます。	「プレビュー」ウィンドウに表示されます。
アーカイブ	選択した待機ジョブ(複数可)をMLPro9800PSのハードディスク、ローカルCommand WorkStationハードディスク、またはネットワーク上デバイスにアーカイブし、「アーカイブ」ウィンドウにジョブアイコンを移します。	ラスターデータのアーカイブが指定された場合は、ジョブと共にアーカイブされます。
送信先	選択ジョブ(複数可)のジョブデータを他の接続済みMLPro9800PSに転送します。	ラスターデータは転送先には転送されません。
処理の取消し	ジョブの処理を取り消します。処理中のジョブのみに適用でき、処理待機中ジョブには適用できません。	キャンセルされたジョブはジョブログに表示されます。
印刷の取消し	ジョブの印刷を取り消します。印刷中のジョブのみに適用でき、印刷待機中のジョブには適用されません。	キャンセルされたジョブはジョブログに表示されます。
面付け	面付けウィンドウに選択されたPostScriptジョブを表示します(「第5章： ジョブのプレビューと編集」参照)。	内容は変わりません。
用紙種類の混合	ページの範囲を指定して、用紙の種類を選択することができます	

選択したジョブによって、使用できるコマンドは異なります。

これらのコマンドは「アクション」メニューからだけでなく、アクションボタン、右クリックからも選択することができます。

プリントオプション設定の表示と書き換え

オペレータは「アクティブジョブ」ウィンドウおよび「印刷済みジョブ」タブパネルのジョブ（複数可）からプリントオプション項目を書き換えることができます。「FreeForm」、および「アーカイブ」タブパネルでは、プリントオプションの設定の表示のみできます。

注 本機能は、PostScriptデータに対してのみ有効です。

「プロパティ」画面には、ジョブ注釈メモも表示されます。

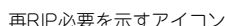
プリントオプション設定の表示/書き換えを行うには：

❶ 「アクティブジョブ」ウィンドウまたは「印刷済みジョブ」タブパネルからジョブ（複数可）を選択します。

「FreeForm」または「アーカイブ」タブパネルのジョブを選択した場合、プリントオプションの設定の表示のみ行うことができます。

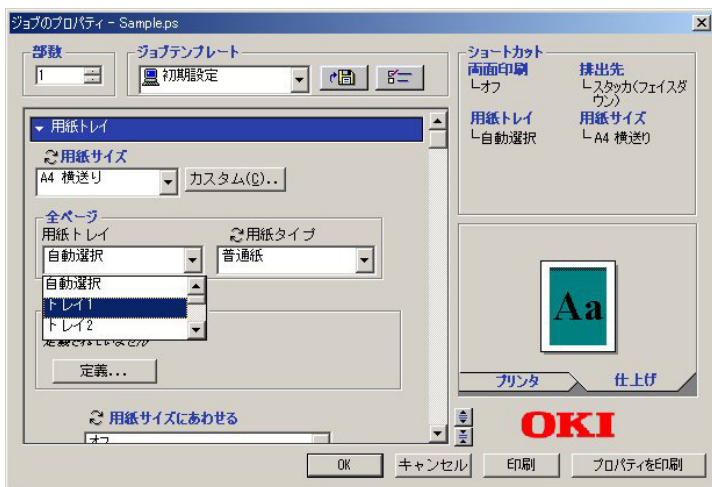
❷ ［アクション］-［プロパティ］を選択します。

「ジョブのプロパティ」画面が表示されます。

この画面は、リモートユーザがプリントドライバで設定したPostScriptプリントオプション設定を表示します。

注 再RIPアイコンが表示されてるプリントオプションは、書き換え後にRIP処理を必要とします。

- ジョブ注釈メモは、課金情報などを記入するための項目で、オペレータは内容を変更することはできません。ジョブ印刷後、ジョブ注釈メモの内容はジョブログに記載されます。

注 プリンタドライバで選択できるプリントオプションの中には、「ジョブのプロパティ」画面に表示されないものがあります。プリントオプションの詳細は、『PS印刷ガイド』を参照してください。

❸ 「ジョブのプロパティ」画面で設定を変更します。

複数のジョブのプリントオプションを個別に書き換えるには、プリントオプションの項目を右クリックして、表示されるドロップダウンメニューから項目を選択します。

メモ　オリジナル設定のままのジョブを保存する場合は、設定を書き換える前に「アクション：複製」でジョブの複製を作成してください。

❹ プリントオプション設定を印刷するには、［ウィンドウの印刷］をクリックします。

❺ ［OK］をクリックして、プリントオプション設定を適用します。

複数サーバの管理

Command WorkStationから複数のMLPro9800PSに同時接続し、集中管理を行うことができます。

接続できる台数は、Command WorkStationを起動しているコンピュータのメモリ容量によって変化します。

たとえば、一台のサーバにジョブが集中している場合、ジョブを[アクション]-[送信先]コマンドで別のサーバに送信すると、負荷分散を行うことができます。

サーバ間でジョブを送信するには：

❶ 「アクティブジョブ」ウィンドウで、待機ジョブを選択します。

❷ [アクション] - [送信先] を選択し、サブメニューからジョブを送信するサーバを選択します。

画面が表示されます。

❸ [はい] を選択して、ジョブを送信します。

ラスターデータつきのジョブを送信しても、ラスターデータは送信先には転送されず、PostScriptデータのみが転送されます。送信前に「プレビュー」ウィンドウの機能を用いて、RIP処理済みのジョブをマージ、編集した場合、その結果はラスターデータに保持されるため、送信先のPostScriptジョブにはマージ、編集結果は反映されません。転送先のサーバでもマージ、編集結果を反映させる場合には、ラスターデータをアーカイブしてください。

ジョブの取り消し

「処理の取消し」/「印刷の取消し」コマンドでジョブの処理/印刷を取り消すことができます。このコマンドは、処理中 / 印刷中のジョブに適用できますが、処理待機中 / 印刷待機中ジョブには適用できません。

- 処理中ジョブの取消し
  「アクティブジョブ」ウィンドウでジョブのRIP処理が行われているときに、[アクション]-[処理の取消し]を選択します。
  キャンセルされたジョブはジョブログに表示されます。
- 印刷中ジョブの取消し
  「アクティブジョブ」ウィンドウでジョブの印刷処理が行われているときに、[アクション]-[印刷の取消し]を選択します。
  キャンセルされたジョブはジョブログに表示されます。

ジョブが取り消されても部分的に印刷されたり、色落ちのあるページや空白のページが出力されることがあります。

- 操作パネルからの取り消し
MLPro9800PSの操作パネルに処理中 / 印刷中のジョブ名が表示されているときに、一番上の行選択ボタンを押します。MLPro9800PSの操作パネルに関する詳細は、『プリンタ機能編』を参照してください。

- MLPro9800PS上の全ジョブの一時停止
「アクティブジョブ」ウィンドウのサーバ選択メニューでMLPro9800PSを選択し、[サーバ]-[印刷の一時停止]を選択します。印刷を再開するには、[サーバ]-[印刷の再開]を選択します。

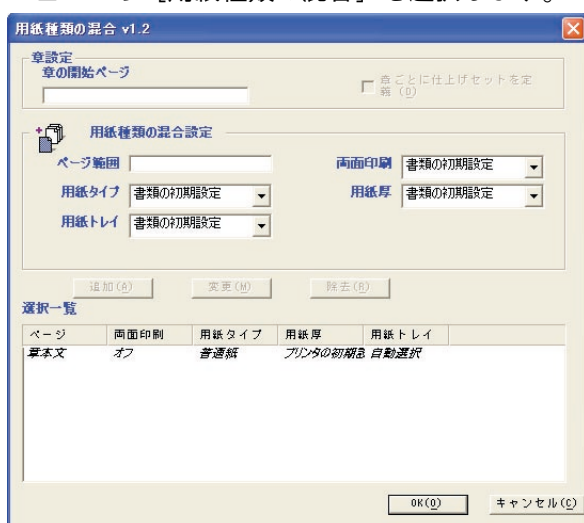
用紙種類の混合設定

用紙種類の混合設定を行うことにより、1つの印刷ジョブに複数の異なる用紙を指定して印刷できます。たとえば、表紙と本文を別の用紙に印刷したり、ページ範囲を指定して、それぞれ異なる用紙に印刷することもできます。また、両面ジョブには各章の開始ページを指定できます。

このオプションはWindows対応ドライバを使用して指定できますが、MacOS対応コンピュータから送信したジョブに対して用紙種類の混合を設定する場合は、Command WorkStationからプリントオプションを書き換えてください。

本機能は、PostScriptデータに対してのみ有効です。

用紙種類の混合設定を行うには：

❶ アクティブジョブウィンドウ内のスプール済み / 待機ジョブを選択し、「アクション」メニューから［用紙種類の混合］を選択します。

❷「ページ範囲」に、特定種類の用紙を指定するページ番号またはページ範囲を入力します。

ページ番号とページ範囲はカンマで区切ることで複数入力できます（例：3, 9-14, 18）。ページ番号の前に「^」記号を入力すると、そのページの前に空白ページが挿入されます（例：2, ^7, 9-16）。

❸ 指定したページ範囲に対して適用する［両面印刷］オプションを選択します。

❹ 同様に［用紙タイプ］オプションを選択します。

❺ 指定用紙が入っているトレイを「用紙トレイ」メニューから選択します。

❻［追加］をクリックして、選択内容を「選択一覧」に追加します。一覧から除去する場合は、［除去］をクリックします。

必要に応じてこの作業を繰り返します。「選択一覧」に該当しないページは、プリントオプションの「用紙トレイ」で指定されたトレイから印刷されます。

❼「章の開始ページ」に、章が始まるページ番号を入力します。

各章の開始ページをカンマで区切って複数入力できます（例：4, 7, 16）。この機能は、章の開始ページを右ページから印刷し、奇数ページで終る章に空白ページを挿入します。

注　最初のページを指定する必要はありません。

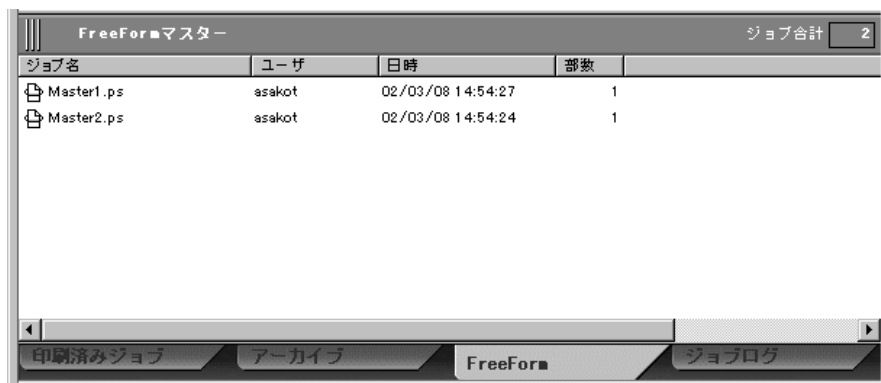
❽［OK］をクリックすると「ジョブのプロパティ」画面が表示されます。

❾［OK］をクリックして変更内容を適用し、画面を閉じます。

FreeFormバリアブルデータの印刷

FreeForm機能を使用すると、バリアブルデータを含むジョブ(広告ダイレクトメールなど)の印刷を効率的に行うことができます。マスターデータファイルをRIP処理してMLPro9800PSに保存することにより、複数のバリアブルデータファイルと組み合せて印刷することができます。

RIP処理されMLPro9800PSに保存されたマスタージョブは、ジョブウィンドウの「FreeForm」タブパネルに表示されます。

本機能は、PostScriptデータに対してのみ有効です。

MLPro9800PSは「100」番までのマスターファイルを保存できますが、プリンタドライバでは「1」〜「15」番までのマスター番号しか選択できません。したがって、「16」〜「100」までのマスター番号を利用するには、リモートユーザがプリントドライバにて指定したマスター番号をオペレータがCommand WorkStation上で書き換える必要があります。

FreeFormジョブのプリントオプションを書き換える場合、マスター、バリアブルファイル共に同じ設定でなければならないオプションがあることに注意してください。また、バリアブルデータファイルのプリントオプションの中には、マスターファイルのプリントオプションを上書きするものがあります。

FreeFormジョブに関する詳細は、『PS印刷ガイド』を参照してください。

FreeFormマスターファイルの作成/監視

ユーザはジョブ送信時に、プリンタドライバの「マスター作成」プリントオプションでFreeFormマスターファイルに「1」〜「15」の番号を指定します。 ただし、ユーザの指定マスター番号がすでに使用されている場合、既存のマスターファイルを上書きしてしまう危険性があります。

既存マスターファイルの上書きを防ぐには、オペレータがCommand WorkStationの「プロパティ」画面で「1」〜「15」のマスター番号を「16」〜「100」に書き換える必要があります。

「FreeForm」タブパネル内のジョブには、以下の「アクション」メニューコマンドを使用します(35ページ参照)。

- 削除
- プロパティ
- プレビュー

FreeFormマスターファイルを作成するには：

1. 「アクティブジョブ」ウィンドウで、マスターデータを所有する待機ジョブを選択します。
2. ［アクション］-［プロパティ］を選択します。
3. 「FreeForm」タブをクリックし、「マスター作成」オプションでFreeFormマスター番号を指定します。
4. ［OK］をクリックします。
5. ［アクション］-［処理と待機］を選択します。
   マスター書類を印刷して内容を確認する場合は、［アクション］-［印刷と待機］を選択します。
   RIP処理が完了すると、マスター書類が「FreeForm」タブパネルに表示されます。

FreeFormマスターファイルを削除するには：

1. 「FreeForm」タブパネルで、マスターファイルを選択します。
2. ［アクション］-［削除］を選択します。

FreeFormマスターファイルを使用したバリアブル印刷

FreeFormマスターファイルとバリアブルデータファイルを組み合わせて印刷するには、ユーザはバリアブルデータファイル送信時にプリンタドライバの「マスター使用」オプションでマスター番号を指定する必要があります。ただし、プリンタドライバでは「1」～「15」の番号までしか指定できないので、オペレータは必要に応じて「ジョブのプロパティ」画面で「16」～「100」のマスター番号に書き換える必要があります。

「マスター使用」プリントオプションを書き換えるには：

1. 「アクティブジョブ」ウィンドウで、バリアブルデータを所有する待機ジョブを選択します。
2. ［アクション］-［プロパティ］を選択します。
3. 「FreeForm」タブをクリックし、「マスター使用」オプションをクリックします。
4. FreeFormマスター番号を指定します。
5. ［OK］をクリックします。
6. 「アクション」メニューからジョブの移動先（印刷、処理と待機、または印刷と待機）を選択します。

   メモ　バリアブルデータジョブは、「処理と待機」コマンドを指定して、印刷前にプレビューで内容を確認することをおすすめします。

FreeFormの活用

少数のユーザがFreeForm印刷を利用する環境では、特定のFreeFormマスター番号を各ユーザに割り当てることをおすすめします。この場合、ユーザが各々のマスター番号管理の責任を負うことになり、ユーザ自身がプリンタドライバの「マスター作成」プリントオプションを使用して新しいマスター番号を指定するか、または既存の番号を上書きするかを選択することができます。ユーザはまたオペレータにMLPro9800PSで使用可能な専用割当て番号(「16」以上の番号)への変更を依頼することもできます。

多数のユーザがFreeForm印刷を利用する環境では、オペレータがユーザに「マスター作成」プリントオプションを使用せずにジョブを待機キューに送るよう指示することをおすすめします。この場合、オペレータがジョブごとにどのFreeFormマスター番号を割り当てるかをコントロールすることができます。

ユーザからのオペレータへのマスター番号指定/書き換え依頼は、「ジョブ注釈メモ」を使用することをおすすめします。この場合、オペレータはユーザと「ジョブ注釈メモ」の書き込み方法について決めておく必要があります(20ページ参照)。

アーカイブジョブ

ジョブ(PostScriptデータ、PCLデータ)およびラスターデータジョブをMLPro9800PSのハードディスク、Command WorkStationが起動しているコンピュータのハードディスク、ネットワーク上のデバイスにアーカイブすることができます。アーカイブされたジョブは、ジョブウィンドウの「アーカイブ」タブパネルに表示されます。
「アーカイブ」タブパネルでは、次のコマンドを使用します(35, 36ページ参照)。

- 印刷
- 削除
- 複製
- 名前変更
- 待機
- 処理と待機
- 印刷と待機
- ラスターデータ除去
- プロパティ
- プレビュー

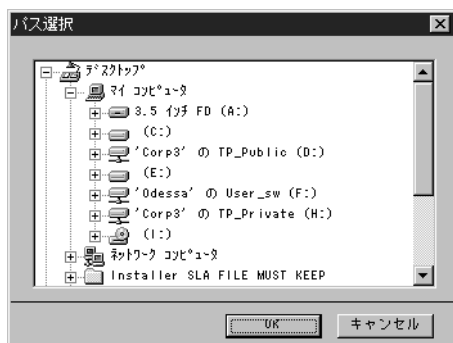
ジョブをアーカイブするには：

❶ 「アクティブジョブ」ウィンドウで、待機ジョブを選択します。

❷ [アクション] - [アーカイブ] を選択します。

「アーカイブオプション」ウィンドウが表示されます。

❸ 新しいアーカイブ先を追加するには、[追加] をクリックします。

「パス選択」ウィンドウが表示されます。

❹ 追加するドライブ/フォルダを選択して、[OK] をクリックします。

新しいアーカイブ先が追加されます。

❺ 「アーカイブオプション」画面で、必要に応じて [ラスターのアーカイブ] を選択します。

ラスターデータジョブが選択されていて、アーカイブ先が「サーバ内」の場合は、常にこのオプションが選択された状態になります。ラスターデータジョブ以外の場合、このオプションは選択できません。

ラスターデータはサイズが大きいため、アーカイブにかなり時間がかかる場合があります。時間とディスク容量を節約するにはジョブデータのみをアーカイブします。

❻ 「ディレクトリ」でアーカイブ先のドライブ/フォルダを選択して、[OK] をクリックします。

アーカイブされたジョブが「アーカイブ」タブパネルに表示されます。

ジョブログの使用方法

ジョブウィンドウの「ジョブログ」タブパネルには、印刷されたジョブがすべて表示されます(消去したジョブは表示されません)。

「ジョブログ」タブパネルでは、「アクティブジョブ」ウィンドウと同様にコラム幅の変更、ならびにコラムヘッダの移動、追加、削除をしてジョブチケット情報の表示をカスタマイズすることができます(35ページ参照)。また、最新の55件のジョブの印刷履歴を確認するためにジョブログを印刷したり、ジョブログをテキストファイルとして別途保存(エクスポート)することができます(次項参照)。

MLPro9800PS「設定」で、システム管理者は55件ごとのジョブログの自動印刷、自動印刷と消去を設定することができます。また、ジョブログの印刷用紙サイズも指定することができます。詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。

ジョブログを印刷するには：

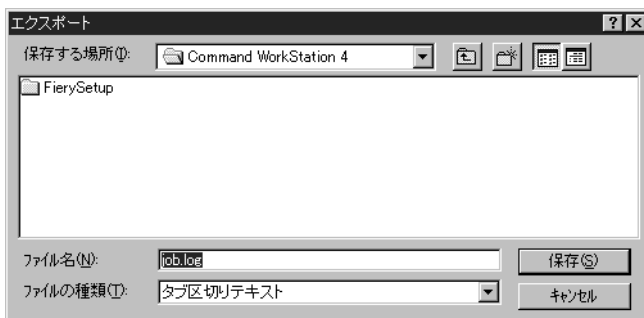
❶ ［ファイル］-［印刷］-［ジョブログ］を選択します。

❷ プリンタを選択して、［OK］をクリックします。

ジョブログをエクスポートするには：

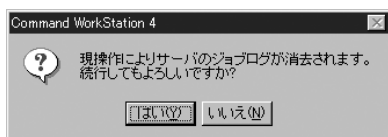
❶ ジョブウィンドウで［ジョブログ］タブをクリックして、「ジョブログ」タブパネルを表示します。

❷ パネル内をクリックして、「ジョブログ」タブパネルをアクティブにします。

❸ ［ファイル］-［エクスポート］-［ウィンドウ］を選択します。

❹ 保存先を選択し、必要に応じてファイル名を変更して［保存］をクリックします。

ジョブログがタブ区切りのテキストファイルとしてエクスポートされます。このファイルは、ワードプロセッシング、表計算、データベースなどのアプリケーションで開くことができます。

ジョブログを消去するには：

- [サーバ]-[初期化]-[ジョブログ]を選択します。

このコマンドを使用するには、システム管理者レベルでログインする必要があります。

ジョブの検索

「検索」コマンドを使用すると、MLPro9800PSまたは接続しているすべてのサーバ上でジョブを検索することができます。検索には、ジョブ名やユーザ名などの一般項目とファイルサイズやプリントオプションなどの詳細項目を指定します。検索項目設定を保存すると、再度同じ条件で検索を行うこともできます。

ジョブの検索を行うには：

❶ ［編集］-［検索］を選択します。

「検索」画面が表示されます。

❷ 「検索サーバ」メニューからAeroまたは「全サーバ」を選択します。

❸ 検索エリアを選択します。

「アクティビティジョブ」、「印刷済みジョブ」、「アーカイブ済みジョブ」、「ジョブログ」、「FreeFormマスター」から選択します。

❹ ［一般］タブをクリックして、検索項目を指定します。

- ジョブ名 ― ジョブのファイル名を入力します。
- ユーザ名 ― ジョブの送信ユーザ名を入力します。
- ジョブ注釈メモ― ジョブ注釈メモに記載されているテキストを入力します。
- ボリューム ― ドライブボリュームを指定します。この項目は、検索エリアで「アーカイブ済みジョブ」を指定している場合のみ入力します。
- 作成日 ―「すべて」または「範囲指定」を選択します。「すべて」を選択した場合、ジョブファイル作成日は指定できません。「範囲指定」を選択した場合、「開始」/「終了」でジョブファイル作成日を指定します。

メモ　指定項目をクリアするには、「新検索」をクリックします。

❺ ［検索］をクリックします。

検索が完了すると「検索結果」ウィンドウが表示されます。

「検索結果」ウィンドウは、「アクティブジョブ」ウィンドウなどと同様にカスタマイズすることができます(単一サーバ/全サーバビューに変えたり、ジョブチケット情報の表示をカスタマイズするなど)。

ジョブの詳細検索を行うには：

❶ ［編集］-［検索］を選択します。

❷ 「検索サーバ」メニューから Aero または「全サーバ」を選択します。

❸ 検索エリア（複数可）を選択します。

「アクティビティジョブ」、「印刷済みジョブ」、「アーカイブ済みジョブ」、「ジョブログ」、「FreeForm マスター」から選択します。

❹ ［詳細］タブをクリックして、検索項目を指定します。

［詳細］タブで指定できる検索項目は、ファイルサイズおよびプリントオプションです。

❺ サイズで検索するには「サイズ」メニューから項目を選択し、サイズ（KB）をフィールドに入力します。

❻ プリントオプションで検索するには、プリントオプションを選択し、ドロップダウンメニューから項目を指定します。

複数のプリントオプションを指定した場合、Command WorkStationはすべての指定オプションを含むジョブを検索します。

メモ　指定項目をクリアするには、「新検索」をクリックします。

❼ ［検索］をクリックします。

検索が完了すると「検索結果」ウィンドウが表示されます。

「検索結果」ウィンドウは、「アクティブジョブ」ウィンドウなどと同様にカスタマイズすることができます。たとえば、単一サーバ/全サーバビューに変えたり、ジョブチケット情報の表示をカスタマイズします。

検索テンプレートを保存するには：

❶ 「検索」画面で、前項を参照して項目を指定します。

❷ 「クエリー」で［別名保存］をクリックします。

「クエリー別名保存」画面が表示されます。

❸ 検索テンプレート名を入力して、［OK］をクリックします。

検索テンプレートを保存すると、「クエリー」メニューにテンプレート名が表示されます。メニューから削除するには、テンプレート名をメニューから選択し、「削除」をクリックします。

テンプレートは、「環境設定」画面で指定したフォルダに保存されます(47 ページ参照)。

検索テンプレートを使用するには：

❶ 「検索」画面の「クエリー」メニューからテンプレートを選択します。

「検索」画面で自動的に項目が指定されます。

❷ ［検索］をクリックします。

4 Command WorkStation LE(Mac OS X)

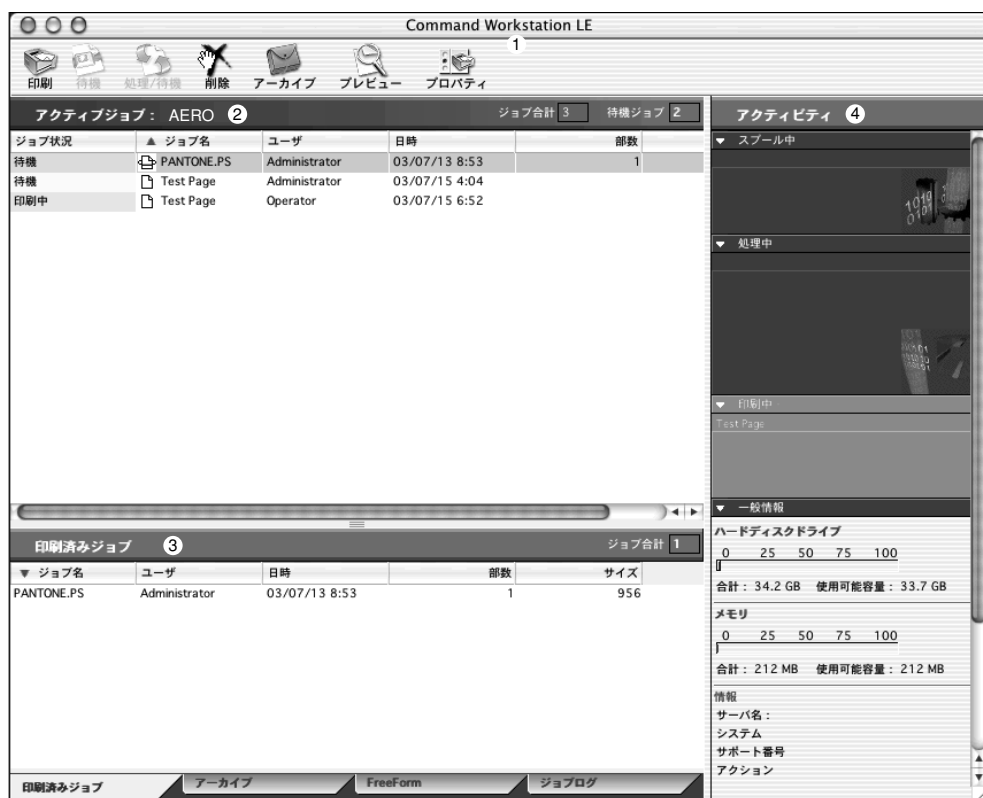
本書ではMac OS Xで動作するCommand WorkStation LEについて説明します。Command WorkStation LEを操作するには、オペレータとしてCommand WorkStation LEを操作します。

Command WorkStationLEでは、システム情報ページの印刷、環境設定、フォント管理、ジョブフロー管理、プリントオプション設定変更機能を利用することができます。Command WorkStationLEを使用するにはプリンタユーティリティCD-ROMからインストールしてください。

Command WorkStation LEではDocBuilder Pro(オプション)はサポートされていません。面付け作業はWindows対応のCommand WorkStationで行ってください。

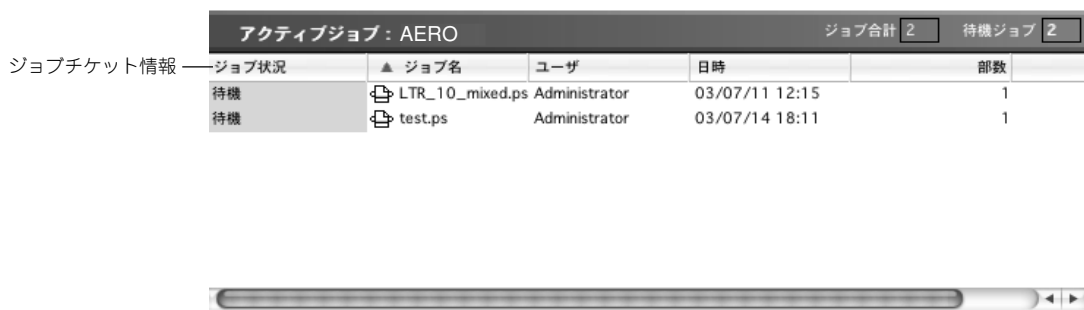
Command WorkStation LE(Mac OS X)

Command WorkStation LEは、単一サーバ上の印刷ジョブを監視/管理するユーティリティです。

次図はCommand WorkStation LEのデフォルトインタフェースです。

① アクションボタン(80ページ参照)
② アクティブジョブウィンドウ(77ページ参照)
③ ジョブウィンドウ(77ページ参照)
④ アクティビティモニタ(79ページ参照)

アクティブジョブウィンドウ

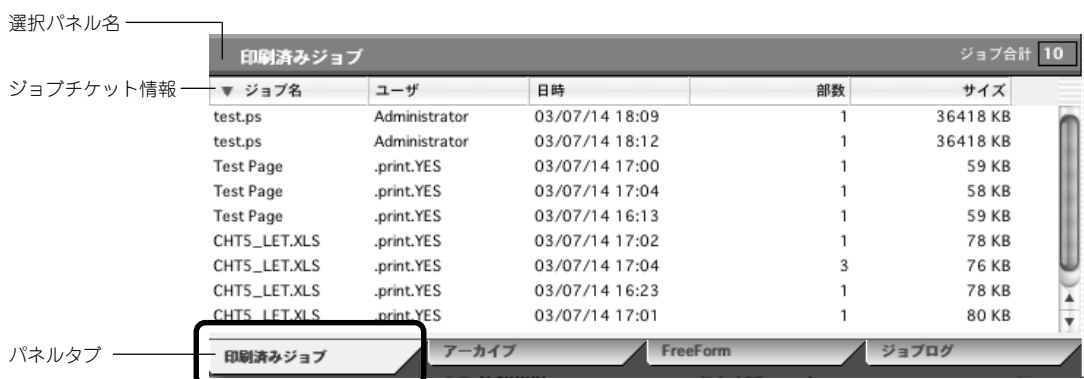
「アクティブジョブ」ウィンドウは、MLPro9800PS上の待機中/処理中/印刷中ジョブ状況およびジョブチケット情報(プリントオプション設定、印刷条件、課金に関する情報)を表示します。ウィンドウのタイトルバーは、監視中のサーバ名、表示されている全ジョブの合計および待機ジョブの合計を表示します。

「アクティブジョブ」ウィンドウでは、ジョブ管理コマンドを指定して、ウィンドウ内の処理/印刷待ちのジョブを待機させたり、待機ジョブを処理 /印刷したり、処理中 /印刷中のジョブをキャンセルすることができます。

「ジョブ状況」にアクティブジョブの状態が示されます。

「アクティブジョブ」ウィンドウでは、次の操作を行います。

- MLPro9800PS上のジョブの監視および管理(93ページ参照)
- ウィンドウコラムに表示されるジョブチケット情報のカスタマイズ(94ページ参照)

ジョブウィンドウ

ジョブウィンドウは、アクティブジョブ以外のジョブに関する情報を表示します。

このウィンドウには、「印刷済みジョブ」、「アーカイブ」、「FreeForm」、「ジョブログ」パネルがあります。ウィンドウの下部のタブをクリックするとパネルが切り替わります。ジョブウィンドウのタイトルバーは、選択されているパネル名とパネル内に表示されているジョブの合計を表示します。

ジョブウィンドウの各パネルでは、次の操作を行います。

- MLPro9800PS上のジョブの監視および管理(93ページ参照)
- パネルコラムに表示されるジョブチケット情報のカスタマイズ(94ページ参照)

印刷済みジョブパネル

「印刷済みジョブ」パネル(前図参照)は、サーバから印刷されたすべてのジョブの一覧を表示します。印刷済みジョブは、パネル内で日付けの新しいものから順に上から表示され、制限数に達するまで保存されます(制限数は、システム管理者がMLPro9800PS「設定」で指定します)。制限数を超えたジョブが印刷されると、一番日付けの古いジョブから削除されます。

メモ 「処理と待機」を選択することで、RIP処理したジョブもこのパネル内に保存されます。

アーカイブパネル

「アーカイブ」パネルは、アーカイブされたすべてのジョブの一覧を表示します。

「アーカイブ」パネルに関する詳細は、103ページを参照してください。

FreeFormパネル

「FreeForm」パネルは、選択したサーバ上のすべてのバリアブルデータ印刷用マスターファイルの一覧を表示します。

FreeFormジョブおよび「FreeForm」パネルに関する詳細は、100ページを参照してください。

ジョブログパネル

「ジョブログ」パネルは、選択したサーバから印刷されたすべてのジョブの一覧を表示します。

メモ ゲストとしてログインしている場合、ジョブログパネルにジョブの一覧は表示されません。

「ジョブログ」パネルに関する詳細は、104ページを参照してください。

アクティビティモニタ

「アクティビティ」モニタは、ジョブのアクティビティ（スプール中/処理中/印刷中）を表示します。

待機中/処理待機中/印刷待機中ジョブは表示されません。

「アクティビティ」モニタには、3つの状況欄および1つの情報欄が表示されます。バーをクリックすると、各状況/情報欄を開閉することができます。

- スプール状況 — サーバのハードディスクにスプールされているジョブのファイル名を表示します。
- 処理状況 — RIP処理中のジョブのファイル名、ページ番号、処理状況（バイト数）、ページのサムネイルを表示します。
- 印刷状況 — 印刷中のジョブ名、ページ番号、部数を表示します。
- 一般情報 — 全ハードディスク容量および使用可能容量、全メモリ容量および使用可能容量を表示します。また、サーバ名、システムソフトウェアバージョン、テクニカルサポート番号、デバイス名も表示します。

メモ 「環境設定」で「アニメーションを使用」を選択した場合、各状況欄でアニメーションが表示されます(91ページ参照)。

アクションボタン

アクションボタンは、ジョブ管理を行う場合に頻繁に使用するコマンドを表示します。これらのコマンドはメニューバー/Control+クリック(Controlキーを押しながらクリックする)からも選択できますが、アクションボタンを使用すると、簡単にアクセス/実行することができます。各コマンドに関する詳細は、82ページを参照してください。

アクションボタンコマンドを実行するには：

1. 「アクティブジョブ」ウィンドウまたはジョブウィンドウでジョブを選択します。
2. アクションボタンをクリックします。
   選択ジョブに使用できないコマンドは薄く表示され、実行できません。

プレビューウィンドウ

「プレビュー」ウィンドウは、ジョブのサムネイルプレビューを表示します。このウィンドウでは、ジョブページの削除やマージなどを編集します。

「プレビュー」ウィンドウを使用したジョブ編集の詳細は、「第5章： ジョブのプレビューと編集」を参照してください。

Command WorkStation LEのカスタマイズ

Command WorkStation LEでは、モジュールの表示/非表示の切り替えを行うことにより、ユーザインタフェイスレイアウトをカスタマイズします。

ウィンドウの表示/非表示/並べ替え

「ウィンドウ」メニューでウィンドウの表示/非表示を切り替えます。

メニューバーおよび「アクティブジョブ」ウィンドウを非表示にはできません。

ウィンドウを表示/非表示にするには：

- ウィンドウを「ウィンドウ」メニューから選択します。
  ウィンドウが表示されている時は、「ウィンドウ」メニュー内のウィンドウ名の横にチェックマークが表示されます。

コマンドの使用

Command WorkStation LEには、さまざまな機能を使用するためのコマンドがあります。これらのコマンドは、メニューバー、アクションボタン、Control+クリック(Controlボタンを押しながらクリック)など異なる方法でアクセスして選択することができます。

メニューバーは、Command WorkStation LEの全コマンドへのアクセスを提供します。アクションボタンは、ジョブ管理に頻繁に使用するコマンドをボタンで表示しています(80ページ参照)。Control + クリックで表示されるメニューは、選択したジョブに適用できるコマンドを表示します。

メニューバー

メニューバーには6つのコマンドメニューがあります。状況により使用できないコマンドは薄く表示され選択できないようになっています。

メニューバーは、常にCommand WorkStation LE画面上に表示されます。メニューバーを非表示にしたり、移動することはできません。

メニュー	コマンド	サブメニューコマンド	説明
CWS LE	"LE"について		Command WorkStation LEのバージョン情報を表示します。
	環境設定		Command WorkStation LEの環境設定を変更します。
	サービス		Command WorkStation LEでは、このメニューは使用できません。
	CWS LEを隠す		Command WorkStation LEアプリケーションウィンドウを最小化します。Command WorkStation LEはバックグラウンドで実行します。
	ほかを隠す		Command WorkStation LE以外のアプリケーションウィンドウを最小化します。Command WorkStation LE以外のアプリケーションはバックグラウンドで実行します。
	すべてを表示		実行中の全アプリケーションウィンドウを元のサイズに戻し、前面に配置します。
	CWS LEを終了		Command WorkStation LEを終了します。
ファイル	インポート	ジョブ	ネットワーク上のデバイスからジョブをMLPro9800PSへインポートします。
		アーカイブ済みジョブ	アーカイブされているジョブをMLPro9800PSへインポートします。

メニュー	コマンド	サブメニューコマンド	説明
ファイル	エクスポート	ジョブ一覧	「アクティブジョブ」ウィンドウ内のジョブリストをタブ区切りのテキストファイルとしてエクスポートします。
		ジョブログ	「ジョブログ」ウィンドウ内のジョブリストをタブ区切りのテキストファイルとしてエクスポートします。
	閉じる		Command WorkStation LEを終了します。
編集	検索		項目を指定してMLPro9800PS上のジョブを検索します。
	元に戻す、切り取り、コピー、貼り付け、消去		選択項目に対して所定の操作を実行します。詳細は、MacOSのヘルプを参照してください。
アクション	印刷		選択したジョブ(複数可)を印刷します。
	削除		選択したジョブ(複数可)を削除します。 スプール中、処理中、印刷待機中ジョブの削除はできません。
	複製		選択したジョブ(複数可)を複製します。
	名前の変更		選択したジョブの名前を変更します。
	待機		選択したジョブ(複数可)を待機させます。
	処理/待機		選択したジョブ(複数可)をRIP処理し、待機させます。
	印刷と待機		選択したジョブ(複数可)のコピーを作成し、印刷します。印刷後も、元のジョブはそのまま「アクティブジョブ」ウィンドウに待機状態で残ります。
	ラスターデータ除去		選択したジョブ(複数可)のラスターデータを削除します。オリジナルPostScriptデータは残ります。
	プロパティ		選択したジョブ(複数可)のプリントオプション設定を表示/書き換えることができます。
	プレビュー		選択したラスターデータジョブを「プレビュー」ウィンドウに表示します。
	アーカイブ		選択したジョブ(複数可)をアーカイブします。
	処理の取消し		選択した処理中(青色ジョブ状況フラッグ)ジョブのRIP処理をキャンセルします。このコマンドは「処理中」状況フラッグが表示されているジョブを選択した時に使用することができます。
	印刷の取消し		選択した印刷中(緑色ジョブ状況フラッグ)ジョブの印刷をキャンセルします。このコマンドは「印刷中」状況フラッグが表示されているジョブを選択した時に使用することができます。

メニュー	コマンド	サブメニュー コマンド	説明
サーバ	ログイン/ ログアウト		「ログインサーバ」画面内の選択サーバにログイン/ログアウトします。また、サーバの追加/削除を行うこともできます。
	フォント管理		MLPro9800PSへの欧文フォントのダウンロード、またMLPro9800PSからのフォントの削除が可能です。 このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。
	サーバの 再起動		システムソフトウェアを再起動せずにMLPro9800PSを再起動します。 再起動後は、再度ログインが必要です。 このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。
	サーバの リブート		MLPro9800PSシステムソフトウェアを終了してから再起動します。 リブート後は、再度ログインが必要です。 このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。
	ジョブログの 消去		MLPro9800PSのジョブログを消去します。 このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。
	サーバの 初期化		MLPro9800PS上のすべてのジョブ、フォント、キャリブレーション測定値を削除します。 このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。
	ページの印刷		MLPro9800PSに関する以下のページを印刷することができます。 • PSテストページ • 設定情報 • ジョブログ • カラー表 • PSフォントリスト • Eメールログ このコマンドを使用するには、システム管理者としてログインする必要があります。
	印刷の 一時停止		MLPro9800PSからの印刷を一時停止します。
	印刷の再開		「印刷の一時停止」を解除し、MLPro9800PSからの印刷を再開します。

メニュー	コマンド	サブメニュー コマンド	説明
ウィンドウ	ジョブ ウィンドウ		ジョブウィンドウを表示/非表示します。このコマンド名の左にチェックマークが表示されると、ジョブウィンドウが表示されます。
	アクティビティモニタ		「アクティビティ」モニタを表示/非表示します。このコマンド名の左にチェックマークが表示されると、「アクティビティ」モニタが表示されます。
	タイル プレビュー ウィンドウ		「プレビュー」ウィンドウを並べて表示します。
	カスケード プレビュー ウィンドウ		「プレビュー」ウィンドウを重ねて表示します。

Control+クリックの使用

「アクティブジョブ」ウィンドウまたはジョブウィンドウでジョブを選択して、Controlキーを押しながらクリックするとメニューが表示されます。このメニューには、選択ジョブに適用できるコマンドが表示されます。

次の手順でControl+クリックを使用します。

Control+クリックを使用してジョブ処理を指定するには：

❶ ジョブリスト内の単一ジョブの処理を指定するには、そのジョブを選択し、Control キーを押しながら、ジョブ名の上でクリックします。

❷ 項目を選択して、マウスボタンを離します。

起動とログイン/ログアウト

Command WorkStation LEを使用するには、Command WorkStation LEを起動し、MLPro9800PSにログインします。

起動

Mac OS X対応コンピュータでCommand WorkStation LEを起動します。

Command WorkStation LEを起動するには：

- Command WorkStation LEを起動するには、 Mac OS X起動ディスクの[アプリケーション]-[Fiery]-[CWS LE]を表示させ、「CWS LE」アイコンをダブルクリックします。

  Command WorkStation LEをインストール後初めて起動する場合、「ログインサーバ」リストには何も表示されません。

接続

初めてCommand WorkStation LEを起動するときには、プリンタへの接続を設定する必要があります。

Command WorkStationの接続の設定を行うには：

❶ Command WorkStation LE を起動します。
「使用可能サーバ」画面が表示されます。ローカルサブネット内で見つかった全てのプリンタが一覧表示されます。
プリンタが表示される場合は❺に進みます。

❷ プリンタが表示されない場合、［手動］タブ選択して、DNS 名または IP アドレスを入力して検索します。

❸ IPアドレスの範囲、またはIPアドレスとサブネットマスクを組み合わせて検索するには、［自動検索］タブを選択し、［詳細検索］をクリックします。

❹ ［検索］をクリックします。
使用できるプリンタ全てが「使用可能サーバ」に一覧表示されます。

❺ 使用するプリンタを選択して、［追加］をクリックします。
「ログインサーバリスト」画面に、選択したプリンタが表示されます。

ログイン

MLPro9800PSに接続するには、「サーバー覧」ウィンドウ内のリストからMLPro9800PSを選択し、ログインします。

Command WorkStation LEでは、一度にログインできるサーバは1つだけです。

ログインするには：

❶ ［サーバ］-［ログイン/ログアウト］を選択します。

「サーバー覧」画面が表示されます。

画面内に、以前に接続したことのあるプリンタのリストが表示されます。リスト内の各行に、ログインボタン、プリンタ名、IP アドレス、接続されているプリンタ名が表示されます。

ここでサーバを追加/除去することもできます。新しいプリンタを追加するには、『設定管理ガイド』を参照して接続を設定してください。

❷ キーアイコンまたは［ログイン］ボタンをクリックします。

「ログイン」画面が表示されます。

❸ アクセスレベル（システム管理者 / オペレータ / ゲスト）に対応するボタンを選択し、パスワードを入力します。

アクセスレベルに応じてキーアイコンの色が変化します。ゲストとしてログインする場合、パスワードは不要です。

アクセスレベルによって、使用できるCommand WorkStation LEの機能は異なります（次項参照）。

❹ ［ログイン］をクリックします。

MLPro9800PS に接続します。

アクセスレベル

MLPro9800PSは「システム管理者」、「オペレータ」、「ゲスト」の3種類のログインレベルを提供しており、Command WorkStation LEからいずれかのレベルでログインします。

工場出荷時の設定では、ログインパスワードは設定されていません。したがって、誰でもパスワードなしでシステム管理者としてログインし、Command WorkStation LEの全機能を使用することができます。

ログインレベルごとにパスワードを設定して使用できる機能を制限することにより、印刷環境のセキュリティを強化します。パスワードの設定は、MLPro9800PS「設定」で行います（『設定管理ガイド』参照）。

ゲストレベルにはパスワードがありません。

システム管理者およびオペレータ用パスワードの両方を設定した場合、アクセスレベルは次表のようになります。

アクセスレベル	アクセス特権	必要パスワード
システム管理者	Command WorkStation LEとMLPro9800PS操作パネルの全機能にアクセス可能。システム管理者が使用できる機能の詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。	システム管理者用パスワード
オペレータ	フォント管理、プリンタのリブート、初期化、印刷の一時停止、印刷の再開以外のCommand WorkStation LEの機能にアクセス可能。	オペレータ用パスワード
ゲスト	ジョブ状況の表示が可能。ジョブ操作およびMLPro9800PS「設定」の変更は不可。	パスワード不要

ログアウト

ログアウトするには、「サーバー覧」からMLPro9800PSを選択してログアウトします。

ログアウトするには：

❶ ［サーバ］-［ログイン/ログアウト］を選択します。

「サーバー覧」画面が表示されます。

❷ ログアウトボタンをクリックします。

プリンタの除去

使用しないプリンタは、「ログインサーバ」画面から除去します。

プリンタを除去するには：

❶ ［サーバ］-［ログイン/ログアウト］を選択します。

「サーバー覧」画面が表示されます。

❷ リストからプリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

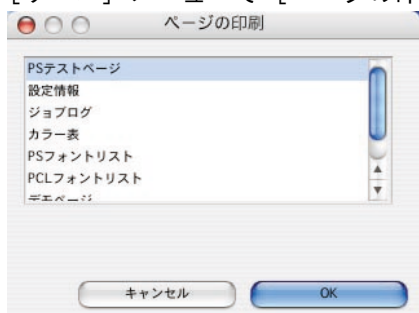
情報ページの印刷

[サーバ]メニューの[ページの印刷]コマンドにより特殊ページを印刷して、MLPro9800PSの情報を確認することができます。情報ページは、プリンタの設定やトラブルシューティングに必要な情報を提供します。

- 情報ページを印刷するにはシステム管理者としてMLPro9800PSにログインする必要があります。
- MLPro9800PS-Eですべての情報ページを印刷するにはオプションのハードディスクが必要です。

次の手順で情報ページを印刷します。

情報ページを印刷するには：

❶ ［サーバ］メニューで［ページの印刷］を選択します。

❷ 「ページ選択」でページを選択します。

- **PSテストページ** ー MLPro9800PSに問題がある場合は、カラーやグレイスケールの出力状態をこのページで検討します。プリンタ名、プリンタの種類、カラー設定、キャリブレーション情報、印刷日時が印字されます。
- **設定情報** ー 構成ページでMLPro9800PSとデバイスの設定情報を確認します。MLPro9800PSのハードウェアとソフトウェアに関する一般情報、MLPro9800PS「設定」内容すべて、キャリブレーション情報、およびMLPro9800PSのイーサネットアドレス が印字されます。
- **ジョブログ** ー MLPro9800PSでRIPまたは印刷された ジョブのログが、新しいものから順に55 件印刷されます。ジョブログに表示される項目およびジョブログファイルのエクスポート方法に関しては、104ページを参照してください。
- **カラー表** ー MLPro9800PSで使用可能な RGB、CMY、PANTONE カラーの見本が印刷されます。
- **PSフォントリスト** ー MLPro9800PSハードディスクドライブに格納されているすべてのPostScriptフォント名の一覧が印刷されます。
- **メールログ** ー MLPro9800PSのEメールサービス(印刷、情報通知)使用状況、アドレス帳の登録通知、サービスの通信状況を印刷します。最新の55件のログが印刷されます。ネットワーク管理者向けの情報として有用です。
- **PCLフォントリスト** ー MLPro9800PSハードディスクドライブに格納されているすべてのPCLフォント名の一覧が印刷されます。
- **デモページ** ー デモページを印刷します。印刷デモを行う場合などに使用します。

メモ　Eメールログを印刷するには、MLPro9800PS「設定」の[ネットワーク設定]-[サービス設定]-[Eメール設定]にて「Eメールサービスを使用する」を「はい」に設定しておいてください。

❸ ［OK］をクリックします。

選択したページは、ログインしている MLPro9800PS に印刷されます。

メモ　ジョブログ上では、「ページの印刷」コマンドで印刷された情報ページの利用者名は「システム管理者」ではなく「オペレータ」として表示されます。

Command WorkStation LE環境設定

Command WorkStation LE環境設定では、「アクティビティ」モニタのアニメーション使用、単位、およびインポートオプションダイアログの表示/非表示を設定します。

Command WorkStation LE環境設定を行うには：

- 「CWS LE」メニューから「環境設定」を選択します。

「環境設定」画面が表示されます。

「環境設定」画面では次の項目を指定することができます。

- インポートオプションダイアログを表示ーこの項目を選択すると、Command WorkStation LEを使用してインポートするジョブに対して、送信先のキュー（待機または印刷）を指定することができるようになります。
- 単位ージョブプロパティ画面で入力する数値の単位を設定します。
- アニメーション表示ー「アクティビティ」モニタのサーバビューでアニメーションを表示するかどうかを選択します。

内蔵フォントの管理

「フォント管理」コマンドを使用すると、MLPro9800PSに欧文フォントをダウンロード/削除します(ただし、MLPro9800PSのプリンタフォントはロックされているので削除することはできません)。ネットワーク上のユーザもFiery Downloaderを使用してMLPro9800PSに欧文フォントをダウンロード、追加することができます(『PS印刷ガイド』参照)。和文フォントダウンロードや動作環境についてはフォントメーカにお問い合わせください。

注 「フォント管理」コマンドを使用するには、システム管理者としてサーバにログインする必要があります。

Command WorkStation LEからはフォントの一覧を表示することのみ可能です。Command WorkStation LEを使用してフォントをMLPro9800PSにダウンロードすることはできません。Fiery DownloaderまたはCommand WorkStationを使用してください。

MLPro9800PSに内蔵されているフォントの一覧を印刷するには、[サーバー]-[ページの印刷]を選択します(90ページ参照)。

フォント一覧を表示するには：

❶ ［サーバ］-［フォント管理］を選択します。

「フォント一覧」画面が表示されます。

❷ フォント一覧の内容を確認します。

❸ フォント一覧情報を印刷する場合は、［一覧印刷］をクリックします。

ジョブの監視

「アクティブジョブ」ウィンドウおよび「印刷済みジョブ」タブパネルを観察することにより、MLPro9800PS上のジョブのフローを把握します。

「アクティブジョブ」ウィンドウは、ジョブ状況フラッグおよびジョブチケット情報を表示します。ジョブ状況フラッグにより、ジョブの処理状況を確認することができます。また、ジョブチケット情報コラムをカスタマイズすることにより、表示されているジョブリストをソートすることができます。

印刷の完了したジョブは、「アクティブジョブ」ウィンドウから「印刷済みジョブ」タブパネルに移動します。「印刷済みタブ」パネルには、印刷時にエラーが発生したジョブも表示されます。エラーが発生したジョブは赤色で表示され、その行をクリックするとエラーレポートが表示されます。

ジョブのソート

「アクティブジョブ」ウィンドウおよびジョブウィンドウで、ジョブチケット情報コラムヘッダをクリックすると、ジョブリストをソートすることができます。

ジョブをソートするには：

- 「アクティブジョブ」ウィンドウまたはジョブウィンドウのいずれかのタブパネルで、ソートに使用するジョブチケットコラムヘッダをクリックます。

たとえば、ジョブの状況でソートする場合、「ジョブ状況」コラムヘッダをクリックします。ウィンドウ内のジョブリストがジョブ状況によってソートされます。

ソート順序を逆にするには、もう一度コラムヘッダをクリックします。

ジョブチケット情報のカスタマイズ

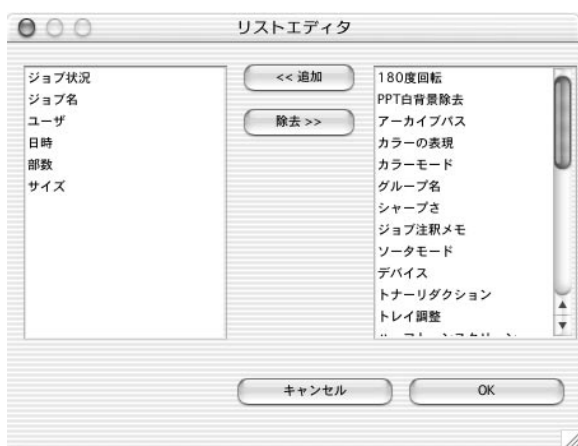
「アクティブジョブ」ウィンドウおよびジョブウィンドウの各タブパネルで、コラム幅を変更したり、コラムヘッダを移動/追加/削除して、ジョブチケット情報の表示をカスタマイズします。

作業環境に合わせて、ジョブチケット情報の表示をカスタマイズします。たとえば、複数のサーバを監視する場合、「Fiery」および「デバイス」コラムを追加表示すると、ジョブを監視しやすくなります。

ジョブチケット情報の表示をカスタマイズするには：

❶ Control キーを押しながらジョブチケットコラムヘッダをクリックします。

❷ 表示されるメニューから［表示コラム編集］を選択します。

「リストエディタ」画面が表示されます。

❸ 「リストエディタ」画面で表示したいジョブチケットコラムを選択します。

追加 — サブメニューに表示されるヘッダ項目を追加します。サブメニューには、表示されていない項目が表示されます。

除去 — 選択コラムを削除します。

❹ ［OK］をクリックして変更を適用します。

❺ コラムの配置を調整します。

コラムヘッダをクリックして、左または右にドラッグします。

❻ コラム幅を調節します。

コラムヘッダの境界線をクリックして、左または右にドラッグします。

ジョブの管理

このセクションでは、Command WorkStation LEを使用したジョブ管理について説明します。

ジョブのインポート

「インポート」コマンドを使用して、ジョブをインポートします。ネットワーク上のファイル、またはアーカイブ済みジョブをインポートすることができます。

アーカイブに関する詳細は、103ページを参照してください。

ジョブをインポートするには：

❶ ［ファイル］-［インポート］を選択し、サブメニューから「ジョブ」または「アーカイブ済みジョブ」を選択します。

❷ インポートするジョブファイルを選択して、［開く］をクリックします。

❸ 「インポートオプション」画面が表示された場合は、ジョブ送信先のキューを選択して［OK］をクリックします。

「このダイアログを常に表示」をオン / オフにすることで、「インポートオプション」画面を表示するかどうかを選択できます。Command WorkStation LE「環境設定」画面で指定することもできます（91 ページ参照）。

システム管理者が MLPro9800PS「設定」で使用可能に設定しているキューのみが表示されます（『設定管理ガイド』参照）。

「待機キュー」を選択した場合、ジョブがインポートされ、MLPro9800PS にスプールされて待機となります。

「印刷キュー」を選択した場合、ジョブがインポートされ、MLPro9800PS にスプールされて印刷されます。

「直接接続」を選択した場合、ジョブはインポートされたあと、MLPro9800PS にスプールされずに印刷されます。この場合、ジョブは「アクティブジョブ」ウィンドウおよび「印刷済みジョブ」タブパネルに表示されません。

ジョブ管理コマンドの使用

オペレータは「アクション」メニューから次のコマンドを使用し、「アクティブジョブ」ウィンドウおよびジョブウィンドウ各タブパネルのジョブを操作します。

選択項目	選択結果	ラスターデータ状況
印刷	ジョブを印刷します。ラスターデータがない場合は、まずRIP処理を行います。	印刷が完了するまで、一時的にRAMに保存されます。
削除	ジョブ（複数可）を削除します。	削除されます。
複製	スプール / 印刷エリアの選択したPostScriptデータジョブ（複数可）を複製します。 メモ　オリジナル印刷ジョブと異なるプリント設定や行き先を指定する場合に選択します（複製とは、ジョブのオリジナルに同名のリファレンス を作成することを意味します）。	ラスターデータは複製できません。
名前の変更	（ラスターデータの有無にかかわらず）ファイルのジョブ名を変更します。	新しいジョブ名に関連付けられます。
待機	処理待機中ジョブおよび印刷済みジョブをスプール済み/待機ジョブとして待機させます。	影響ありません。
処理/待機	ジョブをRIP処理 し、待機させます。ジョブ印刷後もラスターデータファイルは「アクティブジョブ」ウィンドウに残ります。	「アクティブジョブ」ウィンドウから削除されるまでMLPro9800PSのハードディスクに保存されます。

選択項目	選択結果	ラスターデータ状況
印刷と待機	ジョブを印刷します。ラスターデータがない場合は、まず RIP 処理を行います。 ジョブ印刷後もラスターデータファイルは「アクティブジョブ」ウィンドウに残ります。	「アクティブジョブ」ウィンドウから削除されるまでMLPro9800PSのハードディスクに保存されます。
ラスターデータ除去	ラスターデータを含むジョブからラスターデータを削除します。オリジナルPostScriptデータはMLPro9800PSのハードディスクに残ります。	削除されます。
プレビュー	選択したジョブのプレビューが表示されます。	「プレビュー」ウィンドウに表示されます。
プロパティ	選択したジョブ(複数可)のプリント設定の表示 / 書き換えを行うことができます。	再RIPが必要なプリント設定を変更した場合は、削除されたあと、再び作成されます。
アーカイブ	選択した待機ジョブ(複数可)をMLPro9800PSのハードディスク、Command WorkStationが起動しているコンピュータのハードディスク、またはネットワーク上デバイスにアーカイブし、「アーカイブ」ウィンドウにジョブアイコンを移します。	ラスターデータのアーカイブが指定された場合は、ジョブと共にアーカイブされます。
処理の取消し	ジョブの処理を取り消します。処理中のジョブのみに適用でき、処理待機中ジョブには適用できません。	キャンセルされたジョブはジョブログに表示されます。
印刷の取消し	ジョブの印刷を取り消します。印刷中のジョブのみに適用でき、印刷待機中のジョブには適用されません。	キャンセルされたジョブはジョブログに表示されます。

選択したジョブによって、使用できるコマンドは異なります。

これらのコマンドは「アクション」メニューからだけでなく、アクションボタン、Control+クリックからも選択することができます。

プリントオプション設定の表示と書き換え

オペレータは「アクティブジョブ」ウィンドウおよび「印刷済みジョブ」タブパネルのジョブ(複数可)からオプション設定項目を書き換えることができます。「FreeForm」、および「アーカイブ」タブパネルでは、プリントオプションの設定の表示のみできます。

「プロパティ」画面には、ジョブ注釈メモも表示されます。

プリントオプション設定の表示/書き換えを行うには：

❶ 「アクティブジョブ」ウィンドウまたは「印刷済みジョブ」タブパネルからジョブ（複数可）を選択します。

「FreeForm」または「アーカイブ」タブパネルのジョブを選択した場合、プリントオプションの設定の表示のみ行うことができます。

❷ [アクション] - [プロパティ] を選択します。

「ジョブのプロパティ」画面が表示されます。

この画面は、リモートユーザがプリントドライバで設定したPostScriptプリントオプション設定を表示します。

注 再RIPアイコン が表示されてるプリントオプションは、書き換え後にRIP処理を必要とします。

- 指示欄は、ユーザがオペレータに印刷条件を伝えるための項目で、オペレータは内容を変更することができます。ジョブ印刷後、指示欄の内容は消去されます。
- ジョブ注釈メモは、課金情報などを記入するための項目で、オペレータは内容を変更することはできません。ジョブ印刷後、ジョブ注釈メモの内容はジョブログに記載されます。

注 プリンタドライバで選択できるプリントオプションの中には、「ジョブのプロパティ」画面に表示されないものがあります。プリントオプションの詳細は、『PS印刷ガイド』を参照してください。

❸ プリントオプションを書き換えるには、プリントオプション名をクリックし、表示されるドロップダウンメニューから項目を選択します。

複数のジョブのプリントオプションを個別に書き換えるには、プリントオプションの項目をクリックして、表示されるドロップダウンメニューから項目を選択します。

メモ　オリジナル設定のままのジョブを保存する場合は、設定を書き換える前に「アクション：複製」でジョブの複製を作成してください。

❹ ［OK］をクリックして、プリントオプション設定を適用します。

ジョブの取り消し

「処理の取消し」/「印刷の取消し」コマンドでジョブの処理/印刷を取り消すことができます。このコマンドは、処理中 / 印刷中のジョブに適用できますが、処理待機中 / 印刷待機中ジョブには適用できません。

- 処理中ジョブの取消し
  「アクティブジョブ」ウィンドウでジョブのRIP処理が行われているときに、「アクション：処理の取消し」を選択します。
  キャンセルされたジョブはジョブログに表示されます。
- 印刷中ジョブの取消し
  「アクティブジョブ」ウィンドウでジョブの印刷処理が行われているときに、「アクション：印刷の取消し」を選択します。
  キャンセルされたジョブはジョブログに表示されます。

ジョブが取り消されても部分的に印刷されたり、色落ちのあるページや空白のページが出力されることがあります。

- 操作パネルからの取り消し
  MLPro9800PS操作パネルに処理中 / 印刷中のジョブ名が表示されているときに、一番上の行選択ボタンを押します。MLPro9800PSの操作パネルに関する詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。
- MLPro9800PS上の全ジョブの一時停止
  「アクティブジョブ」ウィンドウのサーバ選択メニューで[サーバ]-[印刷の一時停止]を選択します。
  印刷を再開するには、[サーバ]-[印刷の再開]を選択します。

FreeFormバリアブルデータの印刷

MLPro9800PSのFreeForm機能を使用すると、バリアブルデータを含むジョブ（広告ダイレクトメールなど）の印刷を効率的に行うことができます。マスターデータファイルをRIP処理してMLPro9800PSに保存することにより、複数のバリアブルデータファイルと組み合せて印刷することができます。

RIP処理されMLPro9800PSに保存されたマスタージョブは、ジョブウィンドウの「FreeForm」タブパネルに表示されます。

MLPro9800PSは「100」番までのマスターファイルを保存できますが、プリンタドライバでは「1」〜「15」番までのマスター番号しか選択できません。したがって、「16」〜「100」までのマスター番号を利用するには、リモートユーザがプリントドライバにて指定したマスター番号をオペレータがCommand WorkStation LE上で書き換える必要があります。

FreeFormジョブのプリントオプションを書き換える場合、マスター、バリアブルファイル共に同じ設定でなければならないオプションがあることに注意してください。また、バリアブルデータファイルのプリントオプションの中には、マスターファイルのプリントオプションを上書きするものがあります。

FreeFormジョブに関する詳細は、『PS印刷ガイド』を参照してください。

FreeFormマスターファイルの作成/監視

ユーザはジョブ送信時に、プリンタドライバの「マスター作成」プリントオプションでFreeFormマスターファイルに「1」〜「15」の番号を指定します。 ただし、ユーザの指定マスター番号がすでに使用されている場合、既存のマスターファイルを上書きしてしまう危険性があります。

既存マスターファイルの上書きを防ぐには、オペレータがCommand WorkStation LEの「プロパティ」画面で「1」〜「15」のマスター番号を「16」〜「100」に書き換える必要があります。

「FreeForm」タブパネル内のジョブには、以下の「アクション」メニューコマンドを使用します(82ページ参照)。

- 削除
- プロパティ

FreeFormマスターファイルを作成するには：

❶ 「アクティブジョブ」ウィンドウで、マスターデータを所有する待機ジョブを選択します。
❷ ［アクション］-［プロパティ］を選択します。
❸ 「FreeForm」までスクロールして、［マスター作成］オプションをクリックします。
❹ FreeForm マスター番号を指定します。
❺ ［OK］をクリックします。
❻ ［アクション］-［処理と待機］を選択します。
マスター書類を印刷して内容を確認する場合は、［アクション］-［印刷と待機］を選択します。
RIP 処理が完了すると、マスター書類が「FreeForm」タブパネルに表示されます。

FreeFormマスターファイルの番号を書き換えるには：

❶ 「FreeForm」タブパネルで、マスターファイルを選択します。
❷ ［アクション］-［プロパティ］を選択します。
❸ 「FreeForm」までスクロールして、［マスター作成］オプションをクリックします。
❹ FreeForm マスター番号を指定します。
❺ ［OK］をクリックします。

FreeFormマスターファイルを削除するには：

❶ 「FreeForm」タブパネルで、マスターファイルを選択します。
❷ ［アクション］-［削除］を選択します。

FreeFormマスターファイルを使用したバリアブル印刷

FreeFormマスターファイルとバリアブルデータファイルを組み合わせて印刷するには、ユーザはバリアブルデータファイル送信時にプリンタドライバの「マスター使用」オプションでマスター番号を指定する必要があります。ただし、プリンタドライバでは「1」～「15」の番号までしか指定できないので、オペレータは必要に応じて「ジョブのプロパティ」画面で「16」～「100」のマスター番号に書き換える必要があります。

「マスター使用」プリントオプションを書き換えるには：

1. 「アクティブジョブ」ウィンドウで、バリアブルデータを所有する待機ジョブを選択します。
2. ［アクション］-［プロパティ］を選択します。
3. 「FreeForm」までスクロールして［マスター使用］オプションをクリックします。
4. FreeForm マスター番号を指定します。
5. ［OK］をクリックします。
6. 「アクション」メニューからジョブの移動先（印刷、処理と待機、または印刷と待機）を選択します。

バリアブルデータジョブは、「処理と待機」コマンドを指定して、印刷前にプレビューで内容を確認することをおすすめします。

FreeFormの活用

少数のユーザがFreeForm印刷を利用する環境では、特定のFreeFormマスター番号を各ユーザに割り当てることをおすすめします。この場合、ユーザが各々のマスター番号管理の責任を負うことになり、ユーザ自身がプリンタドライバの「マスター作成」プリントオプションを使用して新しいマスター番号を指定するか、または既存の番号を上書きするかを選択することができます。ユーザはまたオペレータにMLPro9800PSで使用可能な専用割当て番号（「16」以上の番号）への変更を依頼することもできます。

多数のユーザがFreeForm印刷を利用する環境では、オペレータがユーザに「マスター作成」プリントオプションを使用せずにジョブを待機キューに送るよう指示することをおすすめします。この場合、オペレータがジョブごとにどのFreeFormマスター番号を割り当てるかをコントロールすることができます。

ユーザからのオペレータへのマスター番号指定/書き換え依頼は、「ジョブ注釈メモ」欄を使用することをおすすめします。この場合、オペレータはユーザと「ジョブ注釈メモ」欄の書き込み方法について決めておく必要があります(20ページ参照)。

アーカイブジョブ

PostScriptおよびラスターデータジョブをMLPro9800PSのハードディスク、Command WorkStation LEが起動しているMacintoshのハードディスク、ネットワーク上のデバイスにアーカイブすることができます。アーカイブされたジョブは、ジョブウィンドウの「アーカイブ」タブパネルに表示されます。

「アーカイブ」タブパネルでは、次のコマンドを使用します(82ページ参照)。

- 印刷
- 削除
- 複製
- 名前の変更
- 待機
- 処理/待機
- 印刷と待機
- ラスターデータ除去
- プロパティ

ジョブをアーカイブするには：

❶ 「アクティブジョブ」ウィンドウで、待機ジョブを選択します。

❷ ［アクション］-［アーカイブ］を選択します。

「アーカイブ」ウィンドウが表示されます。

❸ 新しいアーカイブ先を追加するには、［追加］をクリックします。

「開く」ウィンドウが表示されます。

❹ 追加するフォルダを選択して、［OK］をクリックします。

新しいアーカイブ先が「アーカイブ」画面に追加されます。

❺ 「ディレクトリ」でアーカイブ先のドライブ/フォルダを選択して、［OK］をクリックします。

アーカイブされたジョブが「アーカイブ」タブパネルに表示されます。

ジョブログの使用方法

ジョブウィンドウの「ジョブログ」タブパネルには、印刷されたジョブがすべて表示されます(消去したジョブは表示されません)。

「ジョブログ」タブパネルでは、「アクティブジョブ」ウィンドウと同様にコラム幅の変更、ならびにコラムヘッダの移動、追加、削除をしてジョブチケット情報の表示をカスタマイズすることができます(94ページ参照)。また、最新の55件のジョブの印刷履歴を確認するためにジョブログを印刷したり、ジョブログをテキストファイルとして別途保存(エクスポート)することができます(次項参照)。

MLPro9800PS「設定」で、システム管理者は55件ごとのジョブログの自動印刷、自動印刷と消去を設定することができます。また、ジョブログの印刷用紙サイズも指定することができます。詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。

ジョブログを印刷するには：

❶ ［サーバ］メニューで［ページの印刷］を選択します。

「ページの印刷」画面が表示されます。

❷ ［ジョブログ］を選択して、［OK］をクリックします。

注 Command WorkStation LEでは、ジョブログは接続しているMLPro9800PSサーバにのみ印刷可能です。ローカルプリンタに印刷するには、Command WorkStationを使用してください。

ジョブログをエクスポートするには：

❶ ジョブウィンドウで［ジョブログ］タブをクリックして、「ジョブログ」タブパネルを表示します。

❷ パネル内をクリックして、「ジョブログ」タブパネルをアクティブにします。

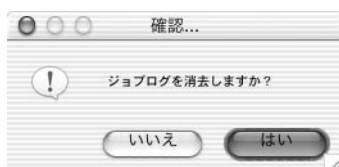
❸ ［ファイル］-［エクスポート］-［ジョブログ］を選択します。

❹ 「場所」で保存先を選択し、必要に応じてファイル名を変更して［保存］をクリックします。

ジョブログがタブ区切りのテキストファイルとしてエクスポートされます。このファイルは、ワードプロセッシング、表計算、データベースなどのアプリケーションで開くことができます。

ジョブログを消去するには：

❶ ［サーバ］-［ジョブログの消去］を選択します。

「確認」画面が表示されます。

❷ ［はい］をクリックしてジョブログを消去します。

このコマンドを使用するには、システム管理者レベルでログインする必要があります。

ジョブの検索

「検索」コマンドを使用すると、MLPro9800PS上のジョブを検索することができます。検索には、ジョブ名やユーザ名などの一般項目を指定します。ファイルサイズやプリントオプションといった詳細項目を指定して検索する場合は、Command WorkStationを使用してください。検索項目設定を保存すると、再度同じ条件で検索を行うこともできます。

ジョブの検索を行うには：

❶ ［編集］-［検索］を選択します。

「検索」画面が表示されます。

❷ 検索エリアを選択します。

「アクティビティジョブ」、「印刷済みジョブ」、「アーカイブ済みジョブ」、「ジョブログ」、「FreeFormジョブ」から選択します。

❸ ［一般］タブをクリックして、検索項目を指定します。

- ジョブ名 — ジョブのファイル名を入力します。
- ユーザ — ジョブの送信ユーザ名を入力します。
- ジョブ注釈メモ — ジョブ注釈メモに記載されているテキストを入力します。
- グループ名 —ジョブのグループ名を入力します。
- 指示 — 指示欄に記載されているテキストを入力します。

メモ　指定項目をクリアするには、「新規検索」をクリックします。

❹ ［検索］をクリックします。

検索が完了すると［一般］タブの下の欄に検索結果が表示されます。

この検索結果欄は、「アクティブジョブ」ウィンドウなどと同様に、ジョブチケット情報の表示をカスタマイズすることができます。

検索テンプレートを保存するには：

❶ 「検索」画面で、前項を参照して項目を指定します。

❷ 「クエリー」で［別名保存］をクリックします。

「警告」画面が表示されます。

警告

別名保存...

無題

キャンセル　OK

❸ 検索テンプレート名を入力して、［OK］をクリックします。

検索テンプレートを保存すると、「クエリー」メニューにテンプレート名が表示されます。メニューから削除するには、テンプレート名をメニューから選択し、［削除］をクリックします。

検索テンプレートを使用するには：

❶ 「検索」画面の「クエリー」メニューからテンプレートを選択します。

「検索」画面で自動的に項目が指定されます。

❷ ［検索］をクリックします。

5 ジョブのプレビューと編集

Command WorkStation/Command WorkStation LEの「プレビュー」ウィンドウは、ジョブのイメージプレビューを表示します。「プレビュー」ウィンドウでは、ページの編集/追加/削除/複製を行います。
注意：　DocBuilder Proが提供されている場合には、さらに高度なプレビュー/編集機能が使用できるようになります。

ジョブのプレビュー

「アクティブジョブ」ウィンドウの処理済み/待機ジョブのプレビューを表示します。

サムネイルプレビューの表示

「アクティブジョブ」ウィンドウで処理済み/待機ジョブを選択して、[アクション]-[プレビュー]コマンドを実行すると、「プレビュー」ウィンドウが開いて、ジョブのサムネイルが表示されます。

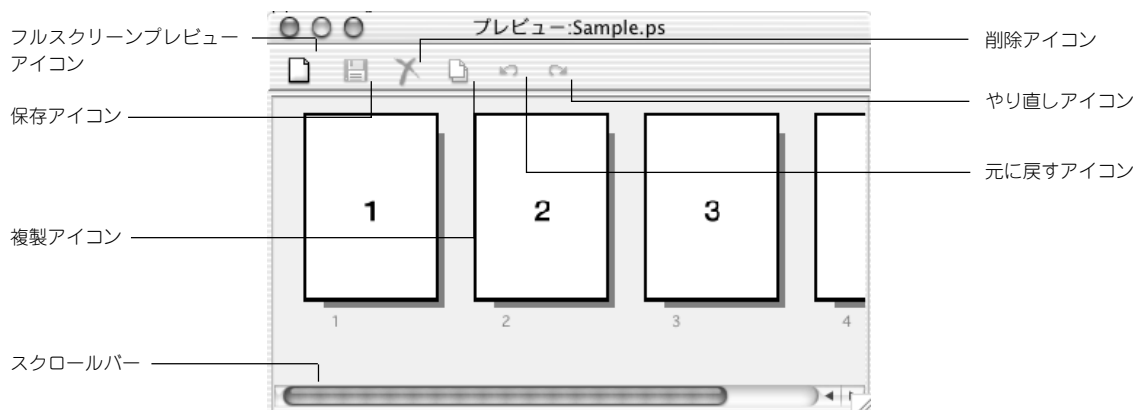
サムネイルプレビューを表示するには：

1. 「アクティブジョブ」ウィンドウで処理済み/待機ジョブを選択します。
2. Command WorkStation の場合、[アクション] - [プレビュー] を選択します。Command WorkStation LE の場合は、[アクション] - [プレビュー] を選択するか、[プレビュー] ボタンを押します。

   「プレビュー」ウィンドウが開いて、ジョブのサムネイルイメージが表示されます。

   Command WorkStation

5

ジョブのプレビューと編集

「プレビュー」ウィンドウ下部にあるスクロールバーを使用すると、表示ページをスクロールすることができます。

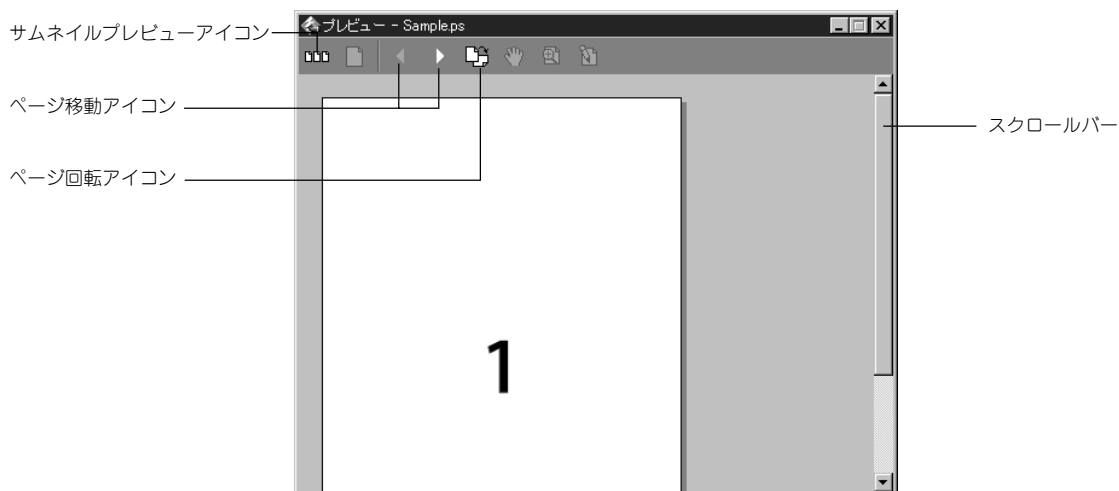
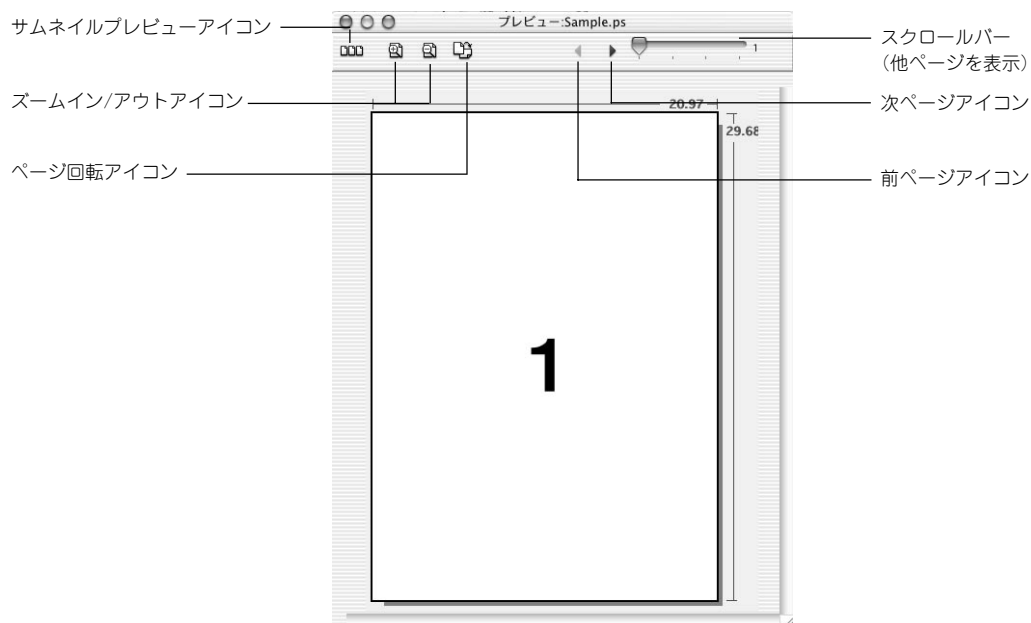
Command WorkStationでは、暗号化されたPDFファイルをプレビューすることができます。プレビュー画面でファイルを開くと、ファイル名の末尾に「上書き禁止/ロック」が表示され、画面の右上に鍵アイコンが表示されます。暗号化されたPDFファイルは閲覧のみ可能で、編集することはできません。

フルスクリーンプレビューの表示

「プレビュー」ウィンドウに表示されたページをフルスクリーンサイズに拡大することができます。

フルスクリーンプレビューを表示するには：

- 「プレビュー」ウィンドウでページを選択して、フルスクリーンプレビューアイコンをクリックします。
  フルスクリーンプレビューが表示されます。

Command WorkStation

ウィンドウ内のアイコンを使用すると、前後ページへ移動、ページを回転（90 度 / 180 度 / 270 度）することができます。サムネイルプレビューに戻るには、サムネイルプレビューアイコンをクリックします。

注 フルスクリーンプレビューの表示には時間がかかる場合があります。

ジョブの編集とマージ

「プレビュー」ウィンドウで、処理済み/待機ジョブの編集やマージを行います。

複数のユーザがCommand WorkStation/Command WorkStation LE /Fiery Spoolerを介してMLPro9800PSに接続し、「プレビュー」ウィンドウで同一ジョブを開いている場合、あるユーザがジョブに変更を加えても、他のユーザの「プレビュー」ウィンドウには変更が反映されないことがあります。また、その他の予期せぬエラーや不具合が発生することがあるので、複数のユーザが同じジョブを同時に編集 / マージすることは行わないでください。

ジョブの編集

「プレビュー」ウィンドウに処理済み/待機ジョブを表示して、ページの複製/削除/並べ替えなどの編集作業を行います。

ジョブを編集するには：

❶ 処理済み / 待機ジョブのプレビューを表示します（110 ページ参照）。

❷ ページをクリックして選択します。

隣接するページを選択するには、Shiftキーを押しながらクリックします。隣接しないページを選択するには、Ctrl キーを押しながらクリックします（Command WorkStation のみ）。

❸ 編集アイコンをクリックして編集します。

複製アイコン ― 選択したページを複製します。

削除アイコン ― 選択したページを削除します。

元に戻すアイコン ― 使用した編集コマンドを取り消します。取り消しを続けると最初の状態まで戻ることができます。取り消したコマンドのやり直しはできません。

Command WorkStation では、右クリックでも編集コマンドを実行することができます。

❹ 必要に応じてページ（複数可）を移動します。

選択したページを移動するには、マウスをクリックしたまま別の場所にドラッグします。

Command WorkStation では、次のページ差し替え / 挿入カーソルアイコンが表示されます。

アイコンに矢印がついていない場合には、選択したページが既存ページを上書きし、アイコンに矢印がついている場合は、選択したページが挿入されます。

❺ 保存アイコンをクリックします。

Command WorkStation では、「別名保存」画面が表示されます。

Command WorkStation LE では、「確認」画面が表示されます。

❻ 新しいジョブ名を入力してから［はい］または［保存］をクリックし、ジョブを保存します。

ジョブのマージ

「プレビュー」ウィンドウに処理済み/待機ジョブを表示して、複数のジョブのマージを行います。マージ機能を使用すると、複数の異なるソースファイルからターゲットファイルにページをマージすることができます(たとえば、ページレイアウトアプリケーションで作成した章扉ページとワードプロセシングアプリケーションで作成した白黒の本文ページをマージするなど)。

注 ジョブのマージを行う前に、ジョブが最終出力用に設定されたプリントオプションでRIP処理されていることを確認してください。

ジョブをマージするには：

❶ 「アクティブジョブ」ウィンドウで処理済み/待機ジョブを選択して、[アクション] - [プレビュー] を実行します。

「プレビュー」ウィンドウが開いて、ファイルが表示されます。ここでは、これをターゲットファイルとします。

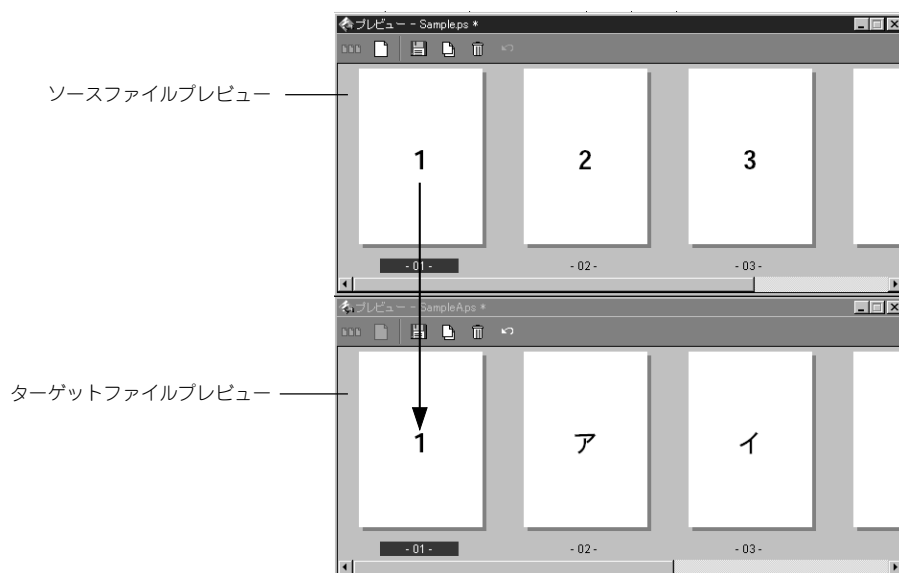
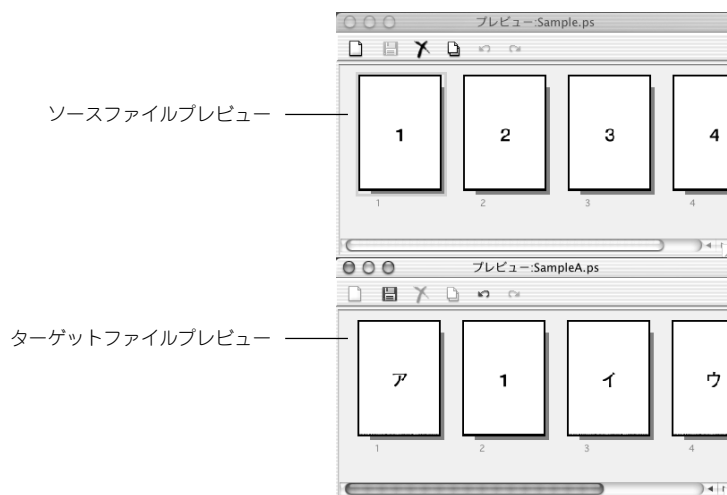
❷ 別の印刷処理済み/待機ジョブを選択して、[アクション] - [プレビュー] を実行します。

別の「プレビュー」ウィンドウが開いて、ファイルが表示されます。ここでは、これをソースファイルとします。

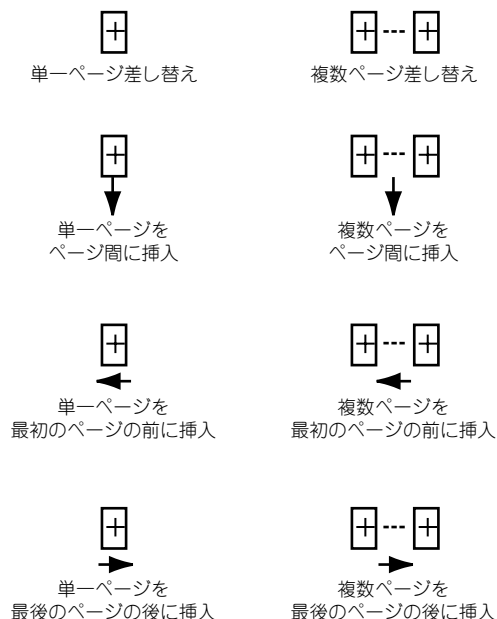
「プレビュー」ウィンドウは同時にいくつでも開くことができるので、必要に応じて複数のソースファイルを表示することもできます。

注 ソースファイルには、ターゲットファイルと同じMLPro9800PSに保存されているジョブを選択する必要があります。他のMLPro9800PSのジョブとマージすることはできません。

❸ ソースファイルのページを選択し、ターゲットファイルの希望位置にドラッグします。

Command WorkStation

Command WorkStation LE

隣接するページを選択するには、Shiftキーを押しながらクリックします。隣接しないページを選択するには、Ctrl キーを押しながらクリックします（Command WorkStation のみ）。

Command WorkStation では、次のページ差し替え / 挿入カーソルアイコンが表示されます。

アイコンに矢印がついていない場合には、選択したページが既存のページを上書きし、アイコンに矢印がついている場合は、選択したページが挿入されます。

マージを取り消すには、元に戻すアイコンをクリックします（111 ページ参照）。取り消しを続けると最初の状態まで戻ることができます。取り消したマージをやり直すことはできません。

❹ 保存アイコンをクリックします。

Command WorkStation の場合、「別名保存」画面が表示されます。Command WorkStation LE の場合は、「確認」画面が表示されます。

❺ 新しいジョブ名を入力してから［はい］をクリックし、ジョブを保存します。

6 DocBuilder Proの紹介

DocBuilder Proは、MLPro9800PSにスプールされたPostScriptデータファイルをPDFファイルに変換することにより、Command WorkStationのプレビュー/編集/マージ機能を強化します。

さらに、DocBuilder Proは面付け機能を提供します。この機能を使用すると、印刷/製本条件に合わせたジョブの面付けを行うことができます。面付けの設定方法に関しては、130ページを参照してください。面付けのカスタマイズに関しては、141ページを参照してください。

DocBuilder Proは、Command WorkStationのアップグレードオプションとして提供されます。詳細は、プリンタ本体をご購入された販売店にお問い合わせください。

- DocBuilder Proを使用するには、使用するIBM PC/AT互換機のパラレルポートにドングルを接続する必要があります。ドングルが接続されていないと、エラーメッセージが表示されます。
- DocBuilder Proを使用するには、Acrobat 4.05以降をインストールする必要があります。

プレビュー/編集/マージ機能

DocBuilder Proパッケージ付属のドングルを接続すると、Command WorkStationのプレビュー/編集/マージ機能をRIP処理されていないスプール済み/待機ジョブ（PostScript データファイル）にも使用できるようになります。

スプール済み/待機ジョブ（PostScript データファイル）に「プレビュー」コマンドを実行すると、Adobe Acrobatが自動的に起動してPostScriptファイルをPDFファイルに変換し、サムネイルイメージを「プレビュー」ウィンドウに表示します。「プレビュー」ウィンドウでは、処理済み/待機ジョブ（ラスターデータファイル）と同様にスプール済み/待機ジョブ（PostScriptデータファイル）の編集/マージを行います。

DocBuilder Pro（オプション）機能を以下に説明します。必要な個所では、別の章での参照ページ番号を記載します。

- ジョブのプレビュー ―「アクティブジョブ」ウィンドウでスプール済み/待機ジョブ（PostScriptデータファイル）を選択して、「プレビュー」ウィンドウにサムネイルイメージを表示します（110ページ参照）。
- ジョブの編集 ― スプール済み/待機ジョブ（PostScriptデータファイル）のフルスクリーンプレビューを表示して（112ページ参照）、Adobe AcrobatおよびEnfocus PitStop編集ツールを使用して編集します（144ページ参照）。
- ジョブのマージ ― 複数のスプール済み/待機ジョブ（PostScriptデータファイル）をマージします（114ページ参照）。

注　マージするジョブのデータ形式は同じにしておく必要があります。スプール済み/待機ジョブ（PostScriptデータファイル）と処理済み/待機ジョブ（ラスターデータジョブ）をマージすることはできません。

- ブランク紙挿入 ― スプール済み/待機ジョブ（PostScriptデータファイル）に空白のページを挿入します。「プレビュー」ウィンドウでジョブのサムネイルを右クリックすると、メニューが表示されます。そこで、「ブランク紙挿入」を選択します。

プレビュー/編集/マージ機能に関する詳細は、「第5章： ジョブのプレビューと編集」を参照してください。

面付け機能

DocBuilder Proパッケージに付属のドングルを接続すると、スプール済み/待機ジョブ(PostScript データファイル)に「面付け」コマンドが使用できるようになります。

スプール済み/待機ジョブ(PostScript データファイル)に「面付け」コマンドを実行すると、Adobe Acrobatが自動的に起動してPostScriptファイルをPDFファイルに変換し、ジョブを「面付け」ウィンドウに表示します。「面付け」ウィンドウでは、シートサイズや製本条件に合わせたジョブの面付け作業を行います。

面付けの設定方法に関しては、130ページを参照してください。面付けのカスタマイズに関しては、141ページを参照してください。

面付けジョブの表示

面付け作業を行うには、ジョブを「面付け」ウィンドウに表示する必要があります。

DocBuilder Pro(オプション)の「面付け」ウィンドウでは、ジョブのページを製本出力に適したレイアウトに面付けします。

「面付け」ウィンドウでジョブを開くには：

1. 面付け対象ジョブを待機キューに送ります。

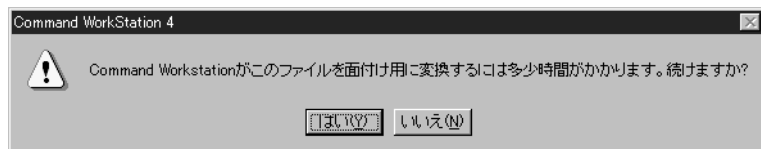
   ジョブを MLPro9800PS へ送る方法については、『PS 印刷ガイド』を参照してください。

2. Command WorkStation の「アクティブジョブ」ウィンドウでスプール済み / 待機ジョブ（PostScript データファイル）を選択して、「アクション：面付け」を実行します。

   Command WorkStation の使用方法については「第 2 章： Command WorkStation の紹介」および「第 3 章： 印刷ジョブの監視および管理」を参照してください。

面付けの対象となるのは、スプール済み/待機ジョブ(PostScriptデータファイル)で、処理済み/待機ジョブ(ラスターデータファイル)を面付けすることはできません。処理済み/待機ジョブを面付けするには、「アクション：ラスターデータ除去」を実行してスプール済み/待機ジョブに戻す必要があります。

「アクション：面付け」を選択すると、ジョブのPDFファイルへの変換が開始されます。DocBuilder Pro（オプション）の面付け機能は、このPDFファイルに適用されます。

ジョブのPDFファイルへの変換が開始し、警告ダイアログボックスが表示されます。

選択したジョブがPDFファイルの場合、このダイアログボックスは表示されず、「面付け」ウィンドウがすぐに表示されます。

3.

6

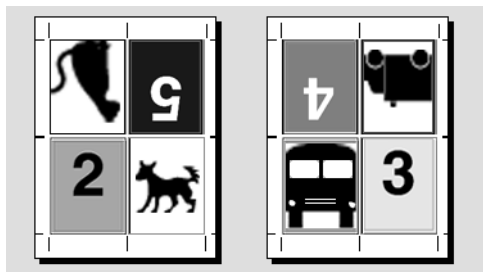
DocBuilder Proの紹介

「はい」を選択します。

PDF ファイルへの変換が終了すると、「面付け」ウィンドウが表示されます。

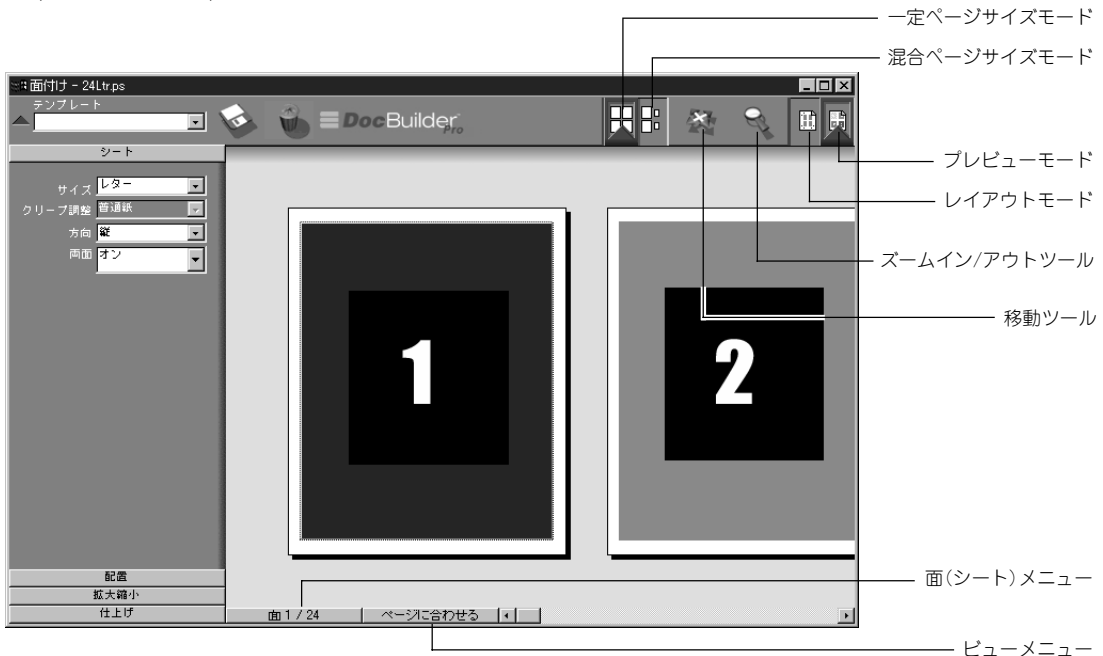
PDF ファイルへの変換が終わると、ジョブはデフォルトレイアウト、または(すでに面付け処理が行われている場合は)、前回使用したレイアウトが適用されて「面付け」ウィンドウに表示されます。DocBuilder Pro(オプション)が提供する面付け用のテンプレートの使用方法については、147 ページを参照してください。

面付けジョブのプレビュー

ジョブのページは、Command WorkStationの「プレビュー」ウィンドウでは読者用配置(ページ番号のページ配置)で表示されますが、「面付け」ウィンドウでは印刷用配置(面付け済みのページ配置)で表示されます。

読者用配置

「面付け」ウィンドウの使用

「面付け」ウィンドウの上部および下部には、ページ操作用のボタンが表示されます。

- 一定/混合ページサイズモード ― 面付けジョブのページサイズが一定になっている場合は一定ページサイズモード、ページサイズが異なる場合は混合ページサイズモードを選択する必要があります(124ページ参照)。

- レイアウト/プレビュー モード ― 番号付きのシート(レイアウト)またはシートのサムネイル(プレビュー)を表示します(125ページ参照)。
- ズームイン/アウトツール ― シートを拡大縮小表示します(126ページ参照)。
- 移動ツール ― シートをドラッグし表示部分を移動します(128ページ参照)。
- 面(シート)メニュー ―指定シートへ移動します(128ページ参照)。
- ビューメニュー ― 指定倍率にプレビュー表示を変更します(127ページ参照)。

移動/ズームイン/アウトツールが選択されると、それに応じてカーソルが変り、そのツールが使用できることが示されます。レイアウト/プレビューモード、一定/混合ページサイズモードを選択すると、その選択されたモードのまわりに青い境界線が現れ、メイン画面のジョブはそのモードに対応した表示に変ります。

シート/ビューメニューおよびスクロールバーはメイン画面下部に表示されます。これらを使用した制御結果は、その場でメイン画面に表示されます。

「面付け」ウィンドウの左側には、面付け設定バー(「シート」/「配置」/「拡大縮小」/「仕上げ」) が表示されます。バーをクリックすると各欄が開閉します。

ページサイズモード

DocBuilder Proでは、面付け用に2つのページサイズモードを提供します。

- 一定ページサイズモード — 全ページのページサイズが同じジョブの面付けを行います。
- 混合ページサイズモード — 異なるページサイズを含むジョブの面付けを行います。

異なるページサイズを含むジョブを「面付け」ウィンドウで開くと、自動的に混合ページサイズモードが選択されます。この場合、一定ページサイズモードへの切り替えはできません。ページサイズがすべて同じジョブを「面付け」ウィンドウで開いている場合は、モードを切り替えることができます。

ページサイズモードによって使用できる面付け設定は異なります。

設定パネル	設定	一定ページサイズモードでの使用	混合ページサイズモードでの使用
シート	サイズ	可	可
	クリープ調整	可	可
	方向	可	可
	両面	可	可
配置	行/列	可	可
配置	ページマーク	可	可
	ページの端に揃える	不可	可
	ブリード	可	不可
拡大縮小	適用先	変更できません。常に「全面上のすべてのスロット」に設定されています。	可
	拡大縮小モード	次の項目を選択することができます。 • 自動変倍 • カスタム	次の項目を選択することができます。 • 自動変倍 • カスタム • 幅に合わせる • 高さに合わせる
	調整/オフセット	不可	可（「拡大縮小モード」で「自動変倍」以外のオプションが選択されている場合）
仕上げ	製本	可	可
	ギャングアップ	可	可

面付け設定に関する詳細は、「第7章： 面付け機能の活用方法」を参照してください。

表示モード

レイアウト/プレビューモードボタンを使用して、ページの表示方法を切り替えます。

- **レイアウトモード**ー 内容表示はなく番号の付いたページが表示されます。これにより、ソース書類ページの面付け後の位置/方向を確認できます。レイアウトモードでは、各ページを回転できます。
- **プレビューモード**ー 最終出力結果とほぼ同じ状態でページ内容が表示されます。このモードでの表示は、WYSIWYG(What You See Is What You Get)とも呼ばれます。

プレビューモードを使用するとサムネイルを表示するため、ワークステーションのCPUにかかる負担が大きくなります。ワークステーションのCPUの処理速度が遅い場合、ページ内容の確認をプレビューモードで行い、その他の作業をすべてレイアウトモードで行うと作業効率が向上します。

下表は、レイアウト/プレビューモードの機能を示しています。

機能	レイアウトモード	プレビューモード
ページ内容表示	不可	可(WYSIWYG)
CPU速度が遅く、メモリ容量の少ないコンピュータでの表示	はやい	より遅い
ページマークの表示(133ページ参照)	可	可
各ページマークの印刷を無効に指定(134ページ参照)	可	可
ページの順序変え(141ページ参照)	可	不可
ページの回転(145ページ参照)	可	不可
みぞの定義(146ページ参照)	可	不可

表示サイズの変更

ズームイン/アウトツール、ビューメニューを使用すると、「面付け」ウィンドウの表示率を変更することができます。

ズームイン/アウトツール

ズームイン/アウトツールを使用すると、「面付け」ウィンドウの表示率を12%〜800%に設定します。

ズームイン/アウトツールを使用して画面表示サイズを変更するには：

❶ ズームイン / アウトツールをクリックし選択します。

カーソルが虫メガネアイコンに変わります。

❷ 表示を拡大するには、シートをクリックします。

虫メガネカーソル内の「+」記号は、シートをクリックするとシート表示が拡大することを示します。表示はクリックするごとに 2 倍になります（最大 800% まで）。

❸ 表示を縮小するには、Ctrl キーを押しながらシートをクリックします。

虫メガネカーソル内に「-」記号が表示されます。この記号は、シートをクリックするとシート表示が縮小することを示します。表示はクリックするごとに 1/2 倍になります（最小 12% まで）。

❹ ズームイン/アウトポップアップメニューを使用して表示サイズを変更するには、カーソルをプレビューエリアに移動し、右クリックします。

ズームイン / アウトポップアップメニューから「ズームイン」または「ズームアウト」を選択します。画面表示は「ズームイン」を選択すると 2 倍に、「ズームアウト」を選択すると 1/2 倍になります。

メモ　シートを右クリックして、メニューから「ズームイン」/「ズームアウト」コマンドを選択しても同じように操作することができます。

ビューメニュー

ビューメニューを使用すると、既定表示率50%〜800%および「ページに合わせる」を選択することができます。また、カスタム表示率を指定することもできます。

ビューメニューを使用しても、実際に出力されるページサイズは変わりません。出力ページサイズの拡大縮小は、「拡大縮小」設定で行ってください(124ページ参照)。

ビューメニューを使用するには：

❶ ビューメニューをクリックします。

「ズーム表示」ダイアログボックスが表示されます。

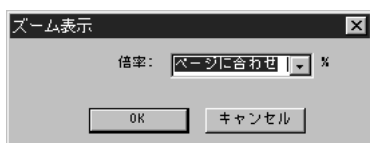
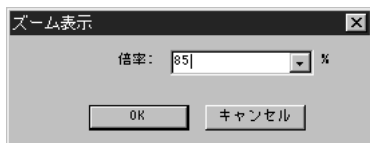
❷ 「倍率」ドロップダウンメニューから表示率を選択し、「OK」をクリックします。

表示率に応じてシートの表示サイズが変わります。

「ページに合わせる」を選択すると、シート全体が表示されます。

カスタム表示率を指定するには：

❶ ビューメニューをクリックします。

「ズーム表示」ダイアログボックスが表示されます。

❷ 「倍率」に表示率を入力します。

❸ 「OK」をクリックします。

表示率に応じてシートの表示サイズが変更します。

表示箇所/シートの変更

移動ツール、面(シート)メニューを使用して、「面付け」ウィンドウの表示箇所を変更します。

移動ツール

移動ツールを使用すると、プレビュー表示部分を変更することができます。プレビューエリアにシート全体が表示されていない場合、このツールでシートをドラッグするとシート上の表示箇所が移動します。

プレビュー表示箇所を移動するには：

❶ 移動ツールをクリックして選択します。

カーソルアイコンが手のアイコンに変わります。

❷ 手カーソルでシートを任意の方向へドラッグします。

この操作を繰り返し、表示対象部分を画面中央に移動します。

面(シート)メニュー

メイン画面下部の面(シート)メニューを使用すると、シート番号を指定して表示シートを変更することができます。

プレビュー表示シートを移動するには：

❶ 面（シート）メニューをクリックします。

「面の表示」ダイアログボックスが表示されます。

❷ 「面」に表示対象シート番号を入力します。

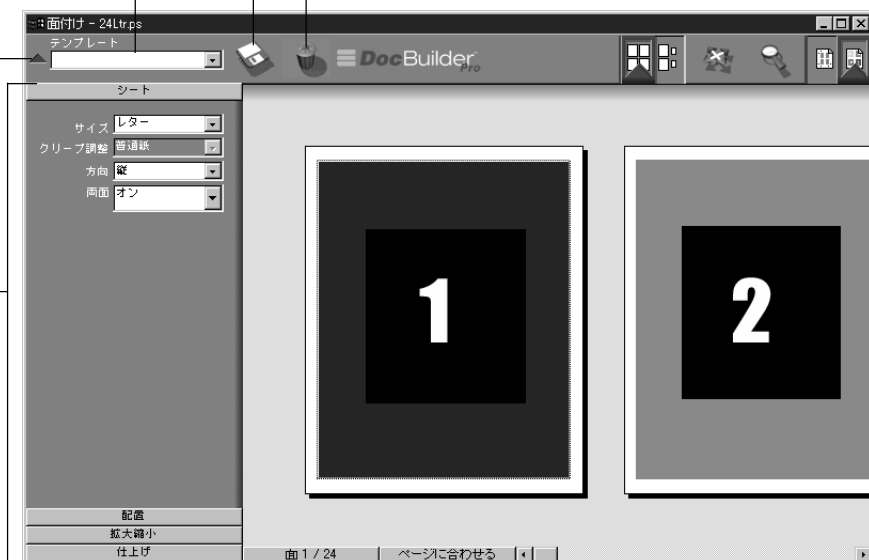
❸ 「OK」をクリックします。

指定したシートが表示されます。

7 面付け機能の活用方法

本章では、DocBuilder Proの面付け機能および編集機能の活用方法について説明します。DocBuilder Pro提供の高度な面付け機能を使用して、ジョブのレイアウトを変更したり、カスタムテンプレートを作成します。

面付け設定

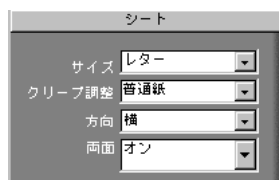
面付け設定を行い、ジョブの製本/印刷条件に適したレイアウトを作成します。

「面付け」ウィンドウ左側の「シート」/「配置」/「拡大縮小」/「仕上げ」設定エリアで、さまざまな面付け設定を行います。各設定エリアを表示するには、設定バーをクリックします。全設定エリアを非表示にするには、「テンプレート」メニュー左側の三角アイコンをクリックします。

ジョブを保存した時点で、面付け設定が「面付け」ウィンドウに表示されたジョブレイアウトに適用されます(149ページ参照)。

「面付け」ウィンドウの各欄で入力する数値の単位は、Command WorkStationの「環境設定」ダイアログボックスで指定した単位が使用されます。ここで指定した単位以外の単位を使用する場合は、各欄で次の省略形を数値の後に入力します。

- i、in、"ー インチを表します。例：8.5 i、8.5 in、8.5"
- mmー ミリメートルを表します。例：8.5 mm
- pt、ptsー ポイントを表します。例：8.5 pts

「シート」設定エリア

「シート」設定エリアでは、シートの属性を指定します。

「シート」設定は面付け作業の土台となるので、まず最初に設定することをおすすめします。

「サイズ」オプション

「サイズ」オプションでは、印刷に使用するシートサイズを指定 します。 このメニューでは、プリンタのPostScriptプリンタ記述(PPD)ファイルで定義されている用紙サイズを選択します。カスタム用紙サイズを使用する場合は、フィールドに用紙の幅 / 高さを手動で入力します。

シートサイズの設定は、シートの印刷可能領域と面付けジョブのページサイズを考慮して行う必要があります。DocBuilder Proはシートの印刷可能領域内にジョブページを面付けし、ジョブのページサイズが印刷可能領域よりも大きい場合、ページサイズを縮小します。縮小しないで面付けする場合は、ジョブページサイズよりも大きいシートサイズを選択する必要があります。

「クリープ調整」オプション

「クリープ調整」オプションでは、クリープ調整に適用するシートの厚さを指定します。このメニューでは、「普通紙」/「厚紙」を選択することができます。または、数値(0〜144ポイント)を手入力して厚さを指定することもできます。中とじ / 複合中とじ製本が選択されている場合、DocBuilder Proはここでの値を適用し、製本時のクリープを自動的に補正します(180ページの「シングリングおよびクリープ」参照)。

ここで「厚紙」を選択する場合は、Command WorkStation「プロパティ」画面の「用紙の種類」プリントオプションでも「厚紙」が指定されていることを確認してください。

「方向」オプション

「方向」オプションでは、「面付け」ウィンドウでのシートの表示方向を指定します。シートの表示方向を変更する代わりに、シート内の各ページを回転することもできます。詳細は、145ページの「ページの回転」を参照してください。

ここでの設定は、シート上の書類ページの方向、または複写機/プリンタのシートの給/排紙方法には影響しません(書類ページの方向は「配置」設定エリアでの指定により決まります)。

「両面」オプション

「両面」オプションでは、両面印刷を行うかどうかを指定します。両面印刷を行う場合は「オン」、片面印刷を行う場合は「オフ」を選択します。

「配置」設定エリア

「配置」設定エリアでは、シート上のページ配置を指定します。DocBuilder Proでは、1シートにつき最高5行 / 5列まで、ページ数で最高25ページまで（両面印刷では50ページまで）配置することができます。5行 / 5列以内のどの組み合せでも、ギャングアップ印刷（181ページ）をサポートしています。

ジョブのページが選択した行/列設定でシート上に均等に割りふれない場合、何枚かのシート上に空白のページが挿入されます。この場合、ジョブのページ数に合った配置を設定してください。

「行」オプション

「行」オプションで上下矢印ボタンをクリックするか、または数値を入力して、シートに配置する行数を指定します。

「行」オプションでの数値変更は、「列」および「拡大縮小」設定での数値に影響を及ぼします。また、ここでの数値によりページ内容がシートの端を超える場合、DocBuilder Proは警告メッセージを表示します。詳細は、136ページの「クリッピングインジケータ」を参照してください。

「列」オプション

「列」オプションで上下矢印ボタンをクリックするか、または数値を入力して、配置する列数を指定します。

「列」オプションでの数値変更は、「行」および「拡大縮小」設定での数値に影響を及ぼします。また、ここでの数値によりページ内容がシートの端を超える場合、DocBuilder Pro（オプション）は警告メッセージを表示します。詳細は、136ページの「クリッピングインジケータ」を参照してください。

「ページマーク」オプション

「ページマーク」オプションを選択してページマーク設定を行うと、トンボ/折り目などのページマークやジョブ名/シート情報/日時 などのページ情報をシート上に表示/印刷することができます。ページマークに関する詳細は、177ページを参照してください。

ページマーク設定 は、「ページマーク設定」ダイアログボックスで行います。「ページマーク」オプションの右側の「設定」をクリックすると、「ページマーク設定」ダイアログボックスが表示されます。

トンボ ― この項目を選択するとシート上にトンボが表示/印刷されます。「属性」をクリックすると「マーク属性」ダイアログボックスが表示され、そこでトンボの長さ(1〜216ポイント)/種類/幅(1〜3ポイント)/色を指定します。

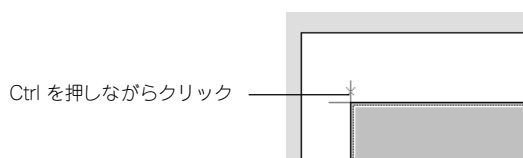
折り目 ― この項目を選択するとシート上に折り目が表示/印刷されます。「属性」をクリックすると「マーク属性」ダイアログボックスが表示され、そこで折り目の長さ(1〜216ポイント)/種類/幅(1〜3ポイント)/色を指定します。

注 「折り目」を選択していても、折り目が必要ないレイアウトでは折り目ページマークは表示/印刷されません。

横/縦オフセット ― これらの項目に数値(-72〜72ポイント)を入力すると、トンボの表示/印刷位置が移動します。数値を増やすとトンボはページの中心から外側に向かって移動し、数値を減らすとトンボはページの中心に向かって移動します。

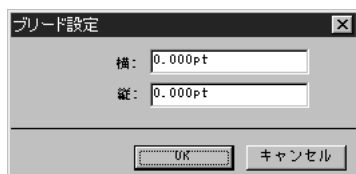
ジョブ名/シート情報/日時 ― これらの項目を選択すると対応するページ情報がシート上に表示/印刷されます。

ページの端に揃える ― 混合ページサイズモードで選択することができます。トンボを各ページのサイズに合った位置に表示/印刷します。

ページマーク設定は、ジョブの全ページマークに適用されます。特定ページマークの印刷を無効に指定するには、「面付け」ウィンドウでCtrlキーを押しながら、ページマークをクリックします。ページマークの上に赤い「X」印が表示され、そのページマークは印刷されません。

「ブリード」オプション

「ブリード」オプションを選択してブリード設定を行うと、トンボの位置が移動し、シート上のイメージがブリードします。

 「ブリード」オプションは、混合ページサイズモードでは使用できません。

ブリード設定 は、「ブリード設定」ダイアログボックスで行います。「ブリード」オプション右側の「設定」をクリックすると、「ブリード設定」ダイアログボックスが表示されます。

「横」/「縦」にそれぞれ数値（0～72ポイント）を入力し、ブリード幅を指定します。

注 「ブリード設定」で指定したブリード値は、上下/左右のトンボに作用します。たとえば、5ポイントの縦ブリードを指定した場合、上下合わせて10ポイント分トンボは内側に移動し、最終印刷ページサイズは小さくなります。ブリードを使用する場合は、あらかじめ最終印刷ページサイズより大きなページサイズを指定しておく必要があります。

「拡大縮小」設定エリア

「拡大縮小」設定エリアでは、ページサイズの拡大縮小を指定します。

「適用先」オプション

混合ページサイズモードで面付けする場合に、拡大縮小設定の適用先を指定します。

メモ　一定ページサイズモードでは、「全面上のすべてのスロット」がデフォルトで選択され、他の項目を選択することはできません。

- 現スロット — 選択されているスロットに拡大縮小設定を適用します。
- 全面上の現スロットを含む行 — 全シート上で選択しているスロットと同じ行にあるスロットすべてに拡大縮小設定を適用します。
- 全面上の現スロットを含む列 — 全シート上で選択しているスロットと同じ列にあるページすべてに拡大縮小設定を適用します。
- 全面上のすべてのスロット — 全シート上の全スロットに拡大縮小設定を適用します。

メモ　スロットとは、シートの印刷可能領域をシート上に面付けするページ数で割って定義したエリアです。

「拡大縮小モード」オプション

「拡大縮小モード」では、次の項目を選択します。

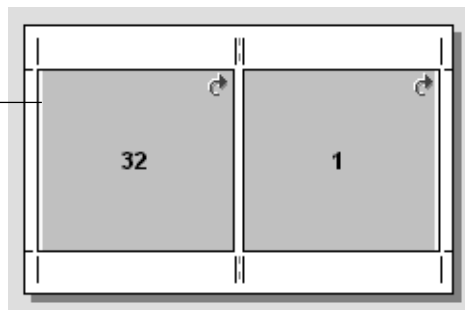
- 自動変倍 ―「自動変倍」を選択 すると、ページがシートにおさまるようにページサイズを自動的に変更します。

「自動変倍」を選択すると、「拡大縮小率」/「仕上がり」値は、「シート」設定エリアの「サイズ」/「方向」、および「配置」設定エリアの「行」/「列」での値をもとに自動的に計算/表示されます。

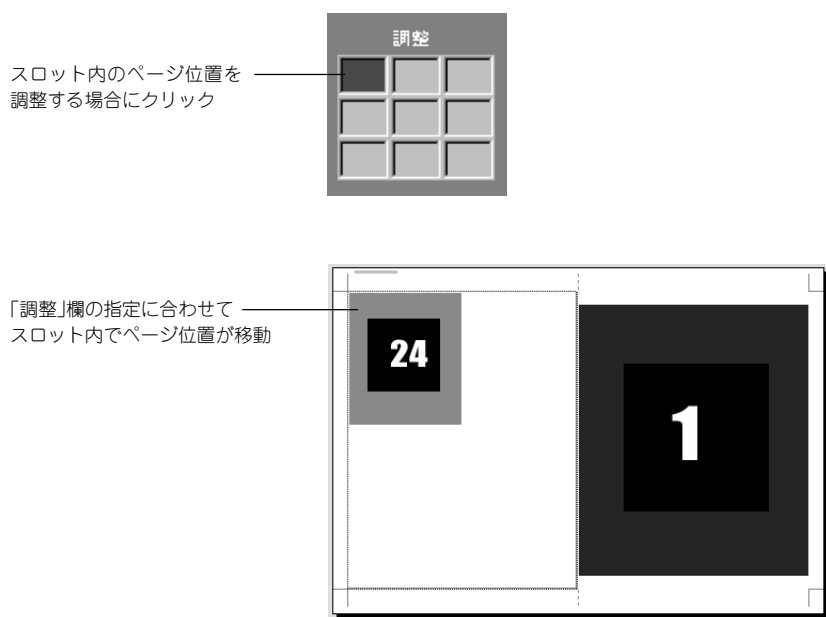
- カスタム ―「拡大縮小率」/「仕上がり」値を指定します。これらの値は連動しており、いずれかを変更すると他も自動的に変更します。
- 幅に合わせる ― スロットの幅に合わせてページサイズを変更します。この項目は、一定ページサイズモードでは選択することはできません。
- 高さに合わせる ―スロットの高さに合わせてページサイズを変更します。この項目は、一定ページサイズモードでは選択することはできません。

クリッピングインジケータ

ページ内容がシートの端を超える場合、「拡大縮小率」/「仕上がり」オプションでの指定値によっては、「拡大縮小率」オプションの左側にクリッピングインジケータが表示されることがあります。

「面付け」ウィンドウがレイアウトモードの場合、クリッピングが生じたページの端は黄色い線で表示されます。プレビューモードの場合、ページプレビュー内容は、クリッピングが生じたページの出力結果と同じように、端が切り取られた状態で表示されます。

「調整」/「オフセット」オプション

「調整」と「オフセット」は、モードをレイアウトに設定して、「拡大縮小率」で「カスタム」/「幅に合わせる」/「高さに合わせる」を選択した場合に使用します。

「調整」は、スロット内でのページの表示/印刷位置をコントロールします。たとえば、ページサイズがスロットよりも小さいサイズに縮小された場合、「調整」のマス目をクリックしてページ位置を変更します。

「オフセット」で数値(-5184 ～5184ポイント)を入力することにより、さらに、細かく位置を操作することができます。オフセット値は「調整」で指定した位置を0とします。「調整」で位置を変更した場合、オフセット値はリセットされます。

「仕上げ」設定エリア

「仕上げ」設定エリアでは、製本方法およびギャングアップ方法を指定します。

「製本」オプション

製本オプションを選択するには、「製本」を選択します。この場合「ギャングアップ」オプションは、選択できない状態になります。

「配置」で3行または3列以上を指定すると、レイアウト上シートの裁断が必要となります。そのため、「製本」オプションを使用して製本することはできません。

製本方法では、次の項目を選択します。

- 中とじー 複数ある折り丁の中央折り目部分を糸/ステイプルで綴じます。中とじは、広く用いられている製本方法の一つで、通常、小冊子の製本に使用されます。
- 無線とじー 複数ある折り丁を隣接して重ね、背を切断した後に接着剤で固めて綴じます。
- 複合中とじー 中とじと無線とじを組合せた製本方法を指します。まず、中とじと同様、複数の折り丁を中央線に沿って糸/ステイプルで綴じます。その後、各サドルを隣接して重ね、無線とじと同様に接着剤で固めて綴じます。
  「複合中とじ」を選択する場合は、各サドルに入れるページ数(この各サドル内に入れるページ数をグループという)を指定する必要があります。この指定は、製本方法用ポップアップメニュー下の「グループ」で行います。

DocBuilder Proは、ここで指定の製本方法/グループ内のページ数(複合中とじの場合)/配置方法/ジョブのサイズによって生じるクリープを自動的に補正します。

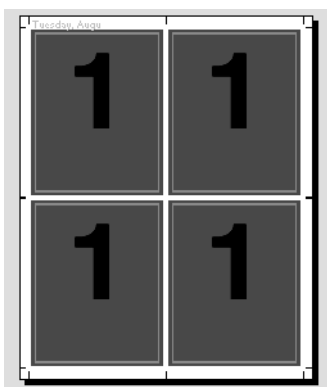
綴じ位置には、次の項目を選択します。

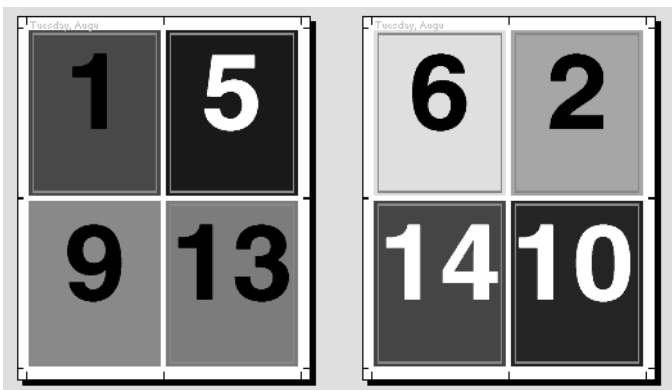
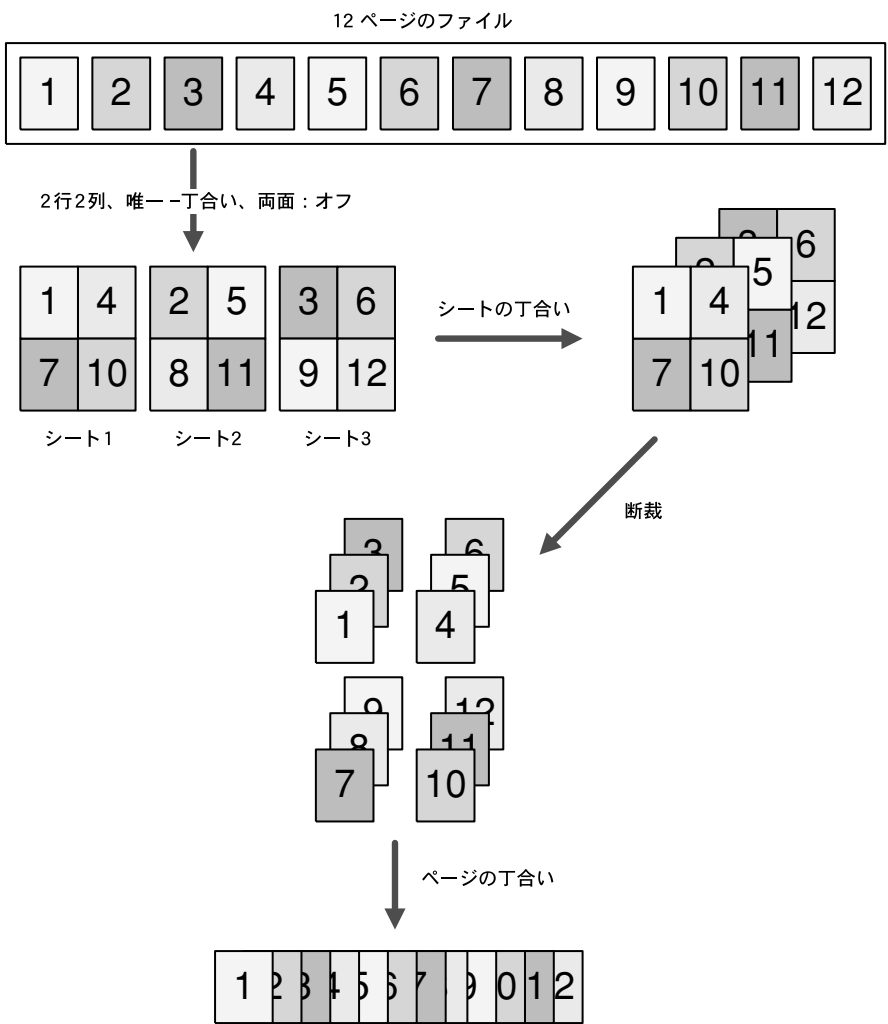
- 左とじ — ページの左側を綴じます。仕上がりは、左開きになります。
- 右とじ — ページの右側を綴じます。仕上がりは、右開きになります。

「ギャングアップ」オプション

ギャングアップ印刷をするには、まず「ギャングアップ」を選択します。この場合「製本」オプションは、選択できない状態になります。また、「製本」で製本方法を選択して面付けする場合と異なり、ページの配置順序を指定することはできません。

この仕上げ方法では、複数のサイズの小さいジョブを一枚のシートに配置します。そのため、ギャングアップ印刷は通常、大きいシート使用の出力デバイスで、小さいサイズのジョブを出力する場合に使用され、用紙を節約することができます。

- 反復 — ページは「配置：行/列」での値に応じて、シート上に反復してレイアウトされます。両面印刷をする場合、第1シートの表側には第1ページが反復してレイアウトされ、その裏側には第2ページが、第3シートの表側には第3ページが、その裏側には第4ページが反復してレイアウトされます。残りのページもすべて同じ要領でレイアウトされます。

印刷ジョブのタイプによっては、この方法でレイアウトされた方がより簡単に丁合いできる場合があります。「ギャングアップ：反復」印刷は通常、一つの書類を複数部出力する場合に使用します。たとえば、名刺印刷の場合には、同一ページ(名刺)のコピーを大きなシートが埋まるまで反復し出力します。

- 唯一 — 1つの書類を1部出力する場合に適したレイアウトです。このオプションではジョブは自動的に丁合いされないため、出力後に手動で丁合いし断裁する必要がありますが、シートサイズを最大限に使用し、出力枚数を節約します。

唯一-丁合い ― シートを断裁するときにページ順にページを揃えやすいようにシート上のページレイアウトを変更します。このオプションにより、手作業による丁合いを最小限にします。書類の一部を印刷する場合に最適です。

手動によるレイアウトの変更

定型レイアウトを使用するか、カスタム設定を指定するかにかかわらず、以下のレイアウト設定を手動で変更することができます。

- ページの順序変え
- シートの追加/複製/削除
- ページの編集
- ページの回転
- みぞサイズの設定

上記の設定を変更するには、ジョブをレイアウトモードで表示する必要があります(125ページ参照)。プレビューモードでは、シートの追加/複製/削除、ページの編集を行うことができます。

上記の設定を行う前に、方向/両面 /行/列/製本の設定を行う必要があります。

レイアウトモードでのページの順序変え

「面付け」ウィンドウでは、ジョブのページは面付け設定にしたがって、自動的に一定の順序で表示されています。レイアウトモードでの各ページの番号は、オリジナルジョブのページ番号を表しています。ただし、このページの順序は目的に応じて手動で変更します。

ページの順序を替えるには：

1. レイアウトモードが選択されていることを確認します。
2. 移動先に表示されているページのページ番号をクリックしてから、移動対象ページのページ番号を入力し、Enter キーを押します。
3. 希望するページ順になるまで、上記手順を繰り返します。

メモ　Tabキーを押すと、カーソルを次の移動先用ページに移動します。

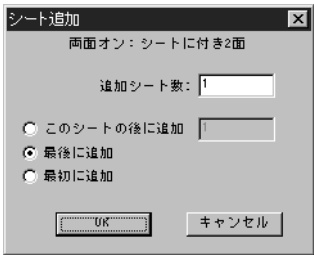
移動先ページの内容は、移動対象ページの内容で上書きされます。たとえば、オリジナルジョブ5ページ目のページ番号部分に「3」を入力すると、5ページ目の内容はオリジナルジョブ3ページ目の内容で上書きされます。また、この時点では、3ページ目の内容が2箇所に表示され、5ページ目の内容は削除されています。

シートの追加/複製/削除

プレビューモードまたはレイアウトモードで、シートを右クリックするとメニューが表示され、シートの追加/複製/削除を行うことができます。

シートを追加するには：

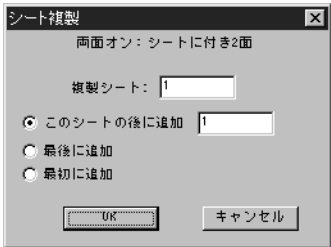
❶ 「面付け」ウィンドウでシートを右クリックし、表示されるメニューから「シート追加」を選択します

「シート追加」ダイアログボックスが表示されます。

❷ 追加シート数を入力し、追加位置を指定します。

❸ 「OK」をクリックします。

シートを複製するには：

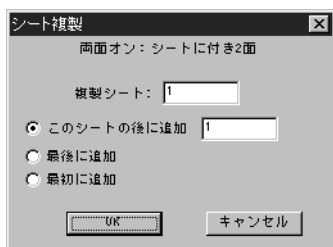
❶ 「面付け」ウィンドウでシートを右クリックし、表示されるメニューから「シート複製」を選択します。

❷ 「シート複製」ダイアログボックスが表示されます。

❸ 複製シート数を入力し、追加位置を指定します。

❹ 「OK」をクリックします。

シートを削除するには：

❶ 「面付け」ウィンドウでシートを右クリックし、表示されるメニューから「シート削除」を選択します。

❷ 「シート削除」ダイアログボックスが表示されます。

❸ 削除するシートを指定します。

一枚のシートを削除する場合は、「削除シート」を選択して、シート番号を入力します。

複数シートを削除する場合は、「このシートより後を削除」または「XからXまで削除」を選択してから、シート番号を入力します。

❹ 「OK」をクリックします。

7

面付け機能の活用方法

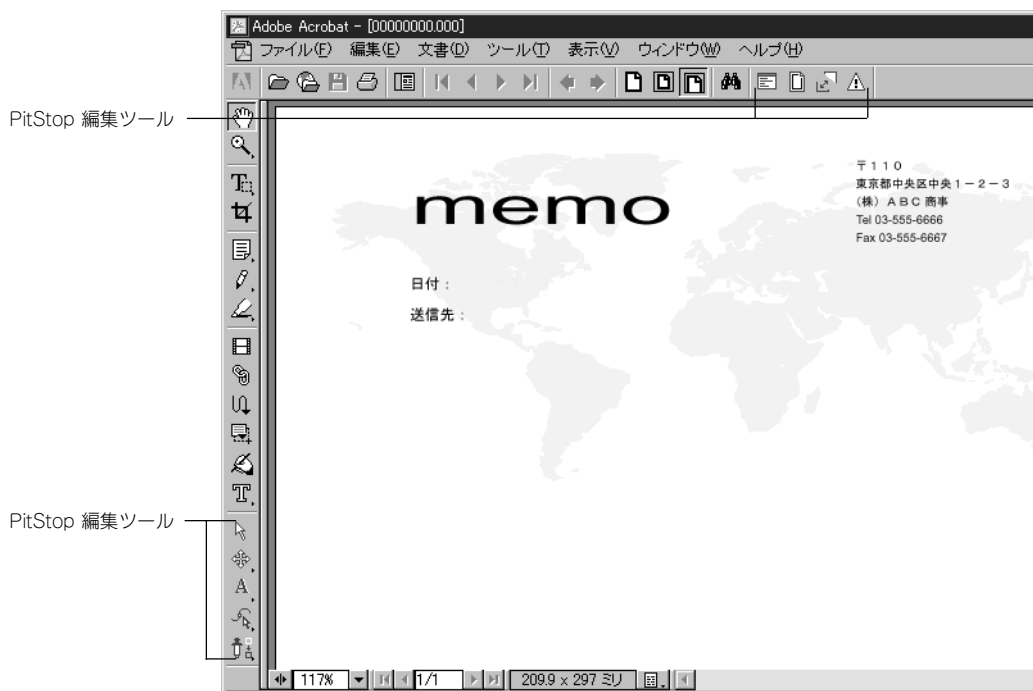
ページ編集

DocBuilder Proは、Adobe AcrobatプラグインソフトウェアPitStopを提供します。PitStopを使用すると、Adobe Acrobatの編集機能が強化されるので、より高度なPDFジョブの編集を行うことができます。PitStopを使用するには、プレビューまたはレイアウトモードでシートを右マウスクリックし、表示されるメニューから「ページ編集」を選択します。

「ページ編集」は、「シートの追加/複製/削除」作業の前に行う必要があります。「ページ編集」を行った後に、「シートの追加/複製/削除」作業を行うと、ページ編集はすべて取り消されます。

ページを編集するには：

❶ 「面付け」ウィンドウでシートを右クリックし、表示されるメニューから「ページ編集」を選択します。

Adobe Acrobatが起動し、編集するページがAcrobatのウィンドウ内に表示されます。ツールバーには、AcrobatのツールおよびPitStop編集ツール（紫色のアイコン）が表示されます（次図参照）。

❷ PitStop 編集ツールを使用して、編集作業を行います。

PitStop編集ツール使用法に関する詳細は、PitStopオンラインヘルプを参照してください。PitStopオンラインヘルプは「ヘルプ：プラグインのヘルプ：Enfocus PitStop」を選択すると表示されます。

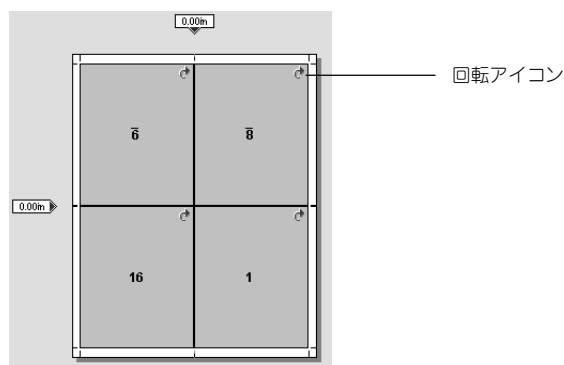
❸ 編集作業が終了したら、「ファイル：閉じる」を選択します。

変更の保存に関するダイアログボックスが表示されます。

❹ 「はい」をクリックして、変更を保存します。

ページの回転

書類内の各ページを手動で回転させることができます。ページを回転させるには、ジョブをレイアウトモードで表示する必要があります。ページ右上の回転アイコンをクリックすると、一定ページサイズモードではページは時計方向に180度ずつ、混合ページサイズモードでは90度ずつ回転します。

混合ページサイズモードで90度の回転を適用した後、一定ページモードに切り替えると、回転は取り消されます。

ページを回転するには：

- 単ページを回転させるには、そのページ上の回転アイコンをクリックします。
- 両面印刷用ジョブの片面の特定位置にあるすべてのページを回転させるには、Shiftキーを押しながら、シート上でその位置にあたる任意ページの回転アイコンをクリックします。

  下図の例では、Shiftキーを押しながら、8ページ目の回転アイコンをクリックすると、6ページも回転します。
- 両面印刷用ジョブの両面の特定位置にあるすべてのページを回転させるには、Ctrlキーを押しながら、シート上でその位置にあたる任意ページの回転アイコンをクリックします。

  次図の例では、Ctrlキーを押しながら、1ページ目の回転アイコンをクリックすると、2 / 3 / 4ページも回転します。
- ジョブのすべてのページを回転させるには、Shift キーまたはCtrlキーを押しながら、任意ページの回転アイコンをクリックします。

シート1：表

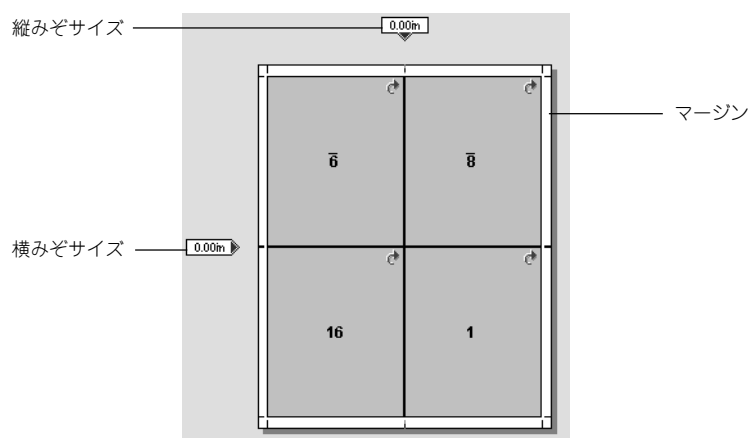
シート1：裏

シート2：表

シート2：裏

みぞサイズの設定

DocBuilder Proは、指定レイアウトおよびシートサイズにしたがって、みぞの位置を定義します。レイアウトモード表示で、縦/横みぞサイズに値を入力し、Enterキーを押すと、みぞサイズを指定することができます。通常、無線とじジョブは製本時に折り丁の背を切断して接着剤付けするため、中とじジョブと比較すると、みぞを大きくとっておく必要があります。

また、マイナスのみぞ値を入力することもできます。この場合、隣り合わせのスロットのページが合体します。ブリード量が多い場合は、ブリードをオフセットにします。

注 マージン（面付けされたページの外側とシートの端で挟まれたエリア）のサイズ/位置は、「配置」/「シート」設定の指定内容によって決まります。カスタムマージンを設定することはできません。

テンプレートの使用と管理

DocBuilder Proでは、一般的な製本方法に対応したテンプレートを提供しています。また、面付け設定(「シート」/「配置」/「拡大縮小」/「仕上げ」設定エリアでの指定)をカスタムテンプレートとして、名前を付けて保存することもできます。DocBuilder Pro提供テンプレートに関する詳細は、「第10章:テンプレート」を参照してください。

複数の面付けオプションを指定したファイルをテンプレートと呼びます。テンプレートには、各ページのカスタム回転指定を除く、すべての面付け用設定を保存することができます。DocBuilder Pro(オプション)では、どのジョブにもテンプレートファイルを適用できるため、面付け作業を簡単かつ能率的に行うことができます。

Command WorkStationの「ファイル:環境設定」から「環境設定」ダイアログボックスを表示し、DocBuilder Proの面付け用テンプレートの保存先フォルダ/ディレクトリを指定することができます(47ページ参照)。

次の設定は、テンプレートに保存することはできません。

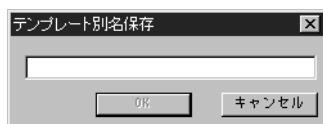
- シートサイズ
- ページマーク属性
- 「ページマーク設定:ページの端に揃える」
- 「拡大縮小:適用先」
- 「拡大縮小:拡大縮小率:カスタム」
- 「拡大縮小:オフセット」
- 一定ページサイズモード/混合ページサイズモード
- 追加/複製/削除シート

面付け設定をテンプレートとして保存するには:

❶ 「シート」/「配置」/「拡大縮小」/「仕上げ」を設定します。

「シート」設定エリアの「サイズ」の設定を保存することはできません。

❷ 「テンプレート」メニュー右側にあるテンプレート保存アイコンをクリックします。

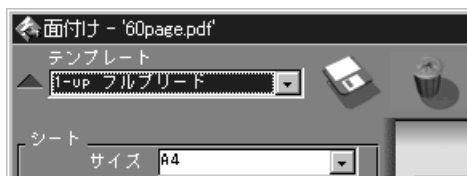
「テンプレート別名保存」ダイアログボックスが表示されます。

❸ 新しいテンプレート名を入力して「OK」をクリックします。

テンプレートを使用するには:

- 「テンプレート」メニューからテンプレート名を選択します。

  選択テンプレートの設定内容がジョブに適用されます。

「テンプレート」メニュー

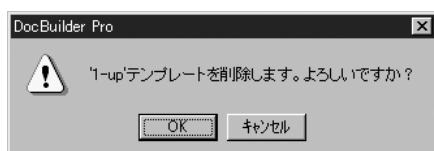
「テンプレート」メニューで、DocBuilder Pro提供またはカスタムテンプレートを選択します。

各テンプレートには、特定の「シート」/「配置」/「拡大縮小」/「仕上げ」設定が保存されています。「テンプレート」メニューでテンプレート名を選択するとテンプレートの設定内容がすぐにジョブに反映されます。

テンプレートを削除するには：

❶ 削除するテンプレート名を「テンプレート」に表示します。

注 規定テンプレートを削除することはできません。

❷ 「テンプレート」右側のテンプレート削除用ゴミ箱アイコンをクリックします。

ダイアログボックスが表示されます。

❸ 削除するテンプレート名を確認し、「OK」をクリックします。

7
面付け機能の活用方法

面付け機能使用上の注意

次に面付け機能の使用上の注意を記述します。

ページレベル作業

ジョブのページを編集する場合の注意点については以下を参照してください。

- オフセット印刷用のみぞ設定
  オフセットの製本用に、各ページに対して個別に通常より広いみぞの値を設定します。詳細は146ページの「みぞサイズの設定」を参照してください。
- ページ編集
  ページの編集は、面付けを行う前にCommand WorkStationの「プレビュー」ウィンドウで行うことをおすすめします。DocBuilder Proでページの追加/複製/削除を行った後で、ページレイアウトを変更する面付けを行うとこれらの編集内容は取り消されてしまいます。

面付け済みジョブの保存

DocBuilder Proで面付け済みジョブを保存するときには、次の作業が行われます。

- PDF形式の一時ファイルに新しいデータが追加された場合、別名保存用ダイアログボックスで指定する名前でMLPro9800PSに書き込まれます。
  オリジナルスプールファイルの上書きを避けるためには、新しい名前で保存する必要があります。
- 面付けデータが変更された場合、データはMLPro9800PSに書き込まれ、新しいPDFファイルに関連づけられます。
  ジョブのPDFデータと区別して、関連づけられた面付けデータを保存すると、PDFデータを修正することなく面付け作業を行うことができます。また、面付け作業中の修正を加えたPDFデータを再利用することもできます。

面付けジョブを保存するには：

❶ 「面付け」ウィンドウ右上端の「X」ボタンをクリックします。

「別名保存」ダイアログボックスが表示されます。

❷ 名前を入力し、「はい」をクリックします。

ジョブはPDFファイルとして保存されます。

メモ　デフォルトでは、PDFファイルの拡張子は「.dbp」になります。拡張子を「.pdf」に変更して保存することもできます。

8 Fiery Spooler(Macintosh)

本章ではMacintoshで動作するFiery Spoolerについて説明します。Mac OS用Fiery Spoolerは、Command WorkStationのジョブ管理機能と同様の機能を提供します。

- Fiery Spoolerは、プリンタユーティリティCD-ROMからインストールします。Fiery Spoolerを使用する場合は、MLPro9800PSとのネットワーク接続が必要です。

Fiery Spoolerを起動した状態では、プリンタへの印刷データの送信速度が低下する場合があります。

起動

Macintosh対応コンピュータでFiery Spoolerを起動します。

Fiery Spoolerを起動するには：

❶ Fiery Spooler のアイコンをダブルクリックします。
「セレクタ」画面が表示されます。

❷ プリンタが表示される場合、プリンタを選択し、［OK］をクリックし、❾に進みます。

❸ プリンタが表示されない場合、［オプション］をクリックします。

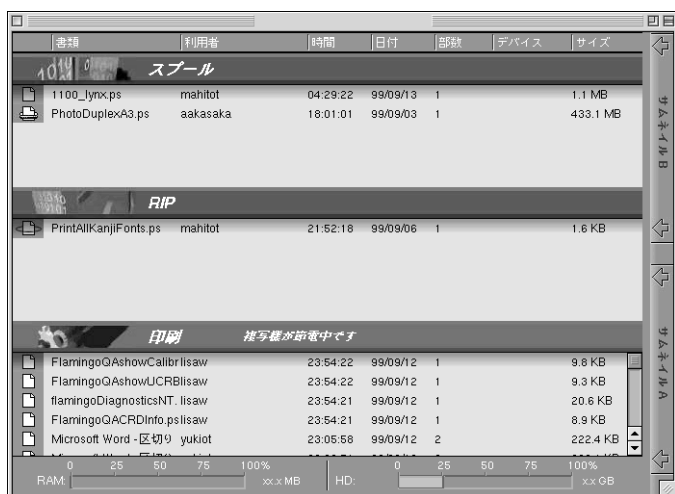
❹ 構成画面で［追加］をクリックします。

❺「設定」画面でプリンタの情報を入力し、［追加］をクリックします。
DNS 名前：プリンタの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。
新デバイス：デバイス名「3640A3」を入力します。

❻ リスト内で入力したデバイス名が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

❼「構成」画面で入力した DNS 名前（IP アドレスまたは DNS 名）が表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。

❽「セレクタ」画面で、プリンタを選択し、［OK］をクリックします。

❾ システム管理者 / オペレータとしてログインするには、システム管理者 / オペレータ用パスワードを入力して、［OK］をクリックします。
ゲストとしてログインするには、［OK］をクリックします。
Fiery Spooler のメインウィンドウが現れます。

RAM /ハードディスクの容量は、実装ではなくそれぞれの使用可能容量を表します。

8
Fiery Spooler(Macintosh)

ジョブ表示と管理

Fiery Spoolerでは、以下の機能を使用することができます。

- 印刷中のジョブ、およびMLPro9800PSにスプールされているジョブの表示
- ジョブの操作
  - ジョブのプリント設定の書き換え
  - ジョブ処理のキャンセルとジョブの削除
  - ジョブの複製と名前の変更
  - ジョブの RIP とラスターデータのホールド
  - スプール / RIP エリアでのジョブデータのホールド
  - RIP 済みファイルからのラスターデータの除去
  - ジョブ優先順位の変更
  - ラスターデータジョブの編集とマージ
- ジョブログの表示/印刷/削除/エクスポート

MLPro9800PS「設定」でパスワードがセットされると、使用可能な機能はログインレベルに応じて制限されます。ゲストとしてFiery Spoolerにログインすると、ジョブを表示することはできますが、それ以外の操作を実行することはできません。オペレータとしてログインすると、ジョブの表示/操作とジョブログの表示/印刷/エクスポートが可能です。システム管理者としてログインすると全機能が使用可能になります。MLPro9800PS「設定」やパスワードに関しては、『設定管理ガイド』を参照してください。

Fiery Spooler のコマンド機能はCommand WorkStationのものとほとんど同じです。各コマンドに関する詳細は、第2章と第3章を参照してください。

Fiery Spoolerの紹介

Fiery Spoolerのメインウィンドウでは、ジョブリストが表示されます。ここでCommand WorkStationと同様に、MLPro9800PSの機能を表示/制御します。

以後、Fiery Spoolerのメインウィンドウをメインウィンドウと略称します。

メインウィンドウは「スプール」、「RIP」、「印刷」の状況バーにより3つのエリアに分かれています。

MLPro9800PSが印刷ジョブを受信すると、ジョブリストにジョブ情報が表示されます。メインウィンドウの「スプール」、「RIP」、「印刷」の3つのエリアはそれぞれジョブ印刷の段階を表しています。ジョブはまず「スプール」に到着し、(ホールドされていない限り)「RIP」を経由して「印刷」に移動します。

メインウィンドウに表示されるジョブアイコンについては、159ページを参照してください。

ジョブリストには次のジョブが表示されます。

- **スプール済みジョブ** ー スプ ールエリアに表示されるスプール済みジョブは、MLPro9800PS のハードディスクに格納されています。ジョブを一時的にここにホールドしておくことができます。待機ジョブは PostScript 形式で保存され、アイコンが黄色で表示されます。
- **RIP 済みジョブ** ー RIPエリアに表示されるRIP済みジョブは、印刷準備が完了したものです。ラスター処理(RIP)が済み、順番にMLPro9800PSでの印刷を待っている状態です。RIP 済みジョブもホールドすることができます。待機ジョブはアイコンが黄色で表示されます。
- **印刷済みジョブ** ー 印刷エリアに表示される印刷済みジョブは、印刷が終了したものです。印刷済みジョブもMLPro9800PSのハードディスクに保存することができます。MLPro9800PS に保存される印刷済みジョブの数(1 から 99 の間の値)はMLPro9800PS「設定」で指定します。
- **エラー発生ジョブ** ー エラーが発生したジョブは 赤色で表示されます。エラーメッセージを表示するにはジョブの行をダブルクリックします。

エラーが発生したジョブは、そのプロパティを表示したり「待機」コマンドでRIPエリアにホールドすることはできません。

どのエリアにあるジョブでも、オペレータはそのジョブを選択して「編集」メニューからコマンドを選択するか、またはジョブをダブルクリックすると、ジョブのプリント設定を書き換えることができます(次項参照)。

ユーザのジョブがメインウィンドウのどこにも表示されない場合、ジョブがすでに印刷された可能性があります。この場合はジョブログに表示されます。ジョブログを表示するには、[ウィンドウ]-[ジョブログ表示]を選択します(170ページ参照)。

ジョブがジョブログにも表示されない場合は、「アーカイブ」ウィンドウに移された可能性があります。Fiery Spoolerから「アーカイブ」ウィンドウ表示はできません。オペレータに問い合わせるか、またはCommand WorkStationで表示を確認してください。

「編集」メニューとジョブフローの操作

「編集」メニューのコマンドを使用すると、メインウィンドウに表示されるジョブの行き先や優先順位などの属性を変更することができます。

それぞれのコマンドの機能を理解するには、MLPro9800PSがPostScriptやラスターデータを取り扱う方法、およびジョブが各処理段階でアクティブまたは待機状態になる過程を理解する必要があります。Fiery Spoolerでジョブ操作を始める前に、第1章を参照してください。

コマンド	選択結果	ラスターデータへの影響
ジョブの削除	リストからジョブを削除します（複数可）。	削除されます。
印刷の取消し	印刷中ジョブの印刷処理を取消します。	削除されます。
RIPの取消し	RIP中ジョブのRIP処理を取消します。	削除されます。
ジョブの複製	スプールまたは印刷エリア内で、選択したPostScriptジョブ（複数可）の複製を作成します（ジョブのオリジナルに同じジョブ名でリファレンスを作成します）。	無効（ラスタージョブにはこのコマンドは使用できません）。
名前変更	PostScript ファイルがラスターデータを含むかどうかにかかわらず、PostScriptファイルのジョブ名を変更します。	新しいジョブ名に関連付けられます。
待機	PostScriptデータジョブはスプールエリアに、ラスターデータジョブはRIPエリアにホールドされます。	ラスターデータがジョブに含まれている場合、RIPエリアにホールドされます。
RIPと待機	順番がきたらジョブをRIPし、RIPエリアにホールドします。	RIPエリアにホールドされます。
印刷	順番がきたらジョブを印刷します（ジョブにラスターデータがない場合は、まずRIPを行います）。 印刷済みジョブは、ジョブ数が制限数に達するまで印刷エリアにホールドされます。	他のジョブ用にメモリが必要になるまで、ラスターデータは一時的にRAMにホールドされます。

コマンド	選択結果	ラスターデータへの影響
印刷と待機（「高速再印刷用に保存」プリントオプションと同様）	順番がきたらジョブを印刷します（ジョブにラスターデータがない場合は、まずRIPを行います）。 印刷終了後PostScriptデータとラスターデータをRIPエリアにホールドします。	ラスターデータは RIP エリアにホールドされます（MLPro9800PSのハードディスクに保存）。
次に処理	選択したジョブに第一優先順位を与えます。プロセッサとプリンタが空き次第、他のRIP/印刷待ちジョブより先に印刷（またはRIP後印刷）されます。 他に待機ジョブがない場合は、このコマンドは選択できません。	影響しません。 このコマンドは、スプールエリア内にある待機中になっていないジョブに使用することができます。
ラスター除去	ラスターデータを含むジョブからラスターデータを削除します。PostScriptデータは削除されずそのまま残ります。	削除されます。 RIPエリアのジョブのラスターデータが除去された場合は、ジョブはスプールエリアに戻されます。
プリント設定の書き換え	ジョブのプリントオプションの設定を書き換えます（158ページ参照）。	新しい設定が再 RIPを必要とする場合、ラスターデータは削除後、再生成されます。 再 RIP が不要な場合は、ラスターデータは新しいプリント設定に基づいて再印刷されます。
サムネイルA	選択されたラスターデータジョブのサムネイルを「サムネイルA」に表示します 。ここではさらにラスターデータのフルスクリーンプレビュー表示/編集/他のジョブのラスターデータとのマージが可能です。 フルスクリーンプレビュー表示/編集/マージ対象のラスターデータは待機中のジョブに限ります。	ジョブを編集した場合は変更されますが、それ以外は変更されません。
サムネイルB	選択されたラスターデータジョブのサムネイルを「サムネイルB」に表示します。ラスターデータの表示、または「サムネイルA」ウィンドウのジョブとのマージに使用します。 マージソース用ラスターデータは待機中のジョブに限ります。	内容は変わりません。

プリント設定の書き換え

ジョブのプリント設定を書き換えるには、ジョブの行をダブルクリックするか、またはジョブを選択してから、[編集]-[プリント設定の書き換え]を選択します。すべての項目を表示する場合、オプションによってはスクロールを必要とするものもあります。

プリント設定の書き換え

ジョブ | 出力先 | 用紙トレイ | レイアウト | ColorWise | 画像品質 | 仕上げ | FreeForm | オーナー情報 | インストール可能オプション

用紙種類の混合　いいえ

Mixed Media Insertion Type　なし

用紙の種類　普通紙

用紙トレイ　自動用紙選択

Media Weight　Printer Setting

用紙サイズ　A4 LEF

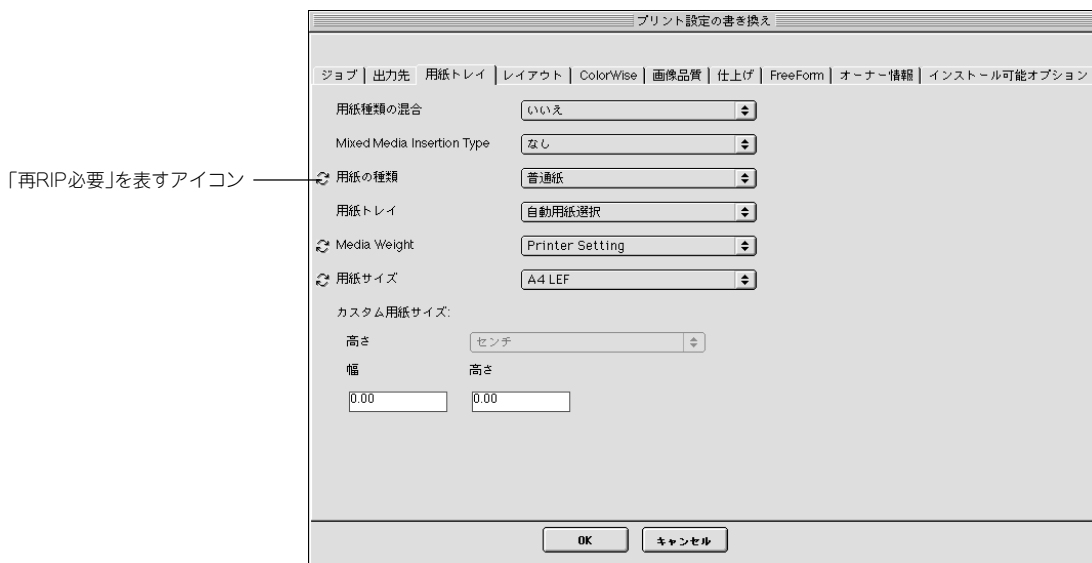
カスタム用紙サイズ:

高さ　センチ

幅　高さ

0.00　0.00

OK　キャンセル

「再RIP必要」を表すアイコン

「プリント設定の書き換え」画面には、PostScriptプリンタドライバによりエンコードされ、MLPro9800PSによりデコードされたジョブ設定が表示されます。オペレータが設定を書き換えない限り、ここにはユーザがジョブ送信時に設定した値が表示されます。

特定のプリントオプションおよび設定方法に関する詳細は、『PS印刷ガイド』を参照してください。

プリントオプションの中には、設定変更後に再 RIP の必要なものがあります。これらのオプションには、オプション名の左側に再RIP用アイコン「 」が表示されています。

ジョブの設定を変更する場合には、ジョブを複製して名前を変更してから、設定を変更してください。

ジョブアイコン

アクティブジョブと待機ジョブ用に3種類のアイコンがあります。

アイコン	アクティブジョブ(白アイコン)	待機ジョブ(黄アイコン)
PostScript アイコン	印刷済みPostScriptデータ、ラスターなし	ネットワークからのジョブ、または印刷済み待機ジョブ
プリンタアイコン	印刷済みのPostScriptとまたはラスターデータ	「印刷と待機」指定で待機中のPostScriptデータ
ラスターアイコン	印刷済みのPostScriptとまたはラスターデータ、高速再印刷可能	RIP済み待機中のPostScript およびラスターデータ

スプールエリア

スプールエリア内には次のジョブアイコンが表示されます。

アイコン	意味	滞在期間
1 黄PostScriptアイコン	ネットワークから到着したPostScriptデータ、行き先の指定なし	行き先を指定されるまで
2 白プリンタアイコン	印刷待ちのPostScriptデータ	RIPの順番がくるまで
3 黄ラスターアイコン	「RIPと待機」指定のPostScript データ	
4 黄プリンタアイコン	「印刷と待機」指定のPostScript データ	

スプールエリアはネットワーク経由でユーザから送られたジョブの格納場所、およびRIP 待ちジョブの待機場所です。

待機キュージョブ
オペレータの介入が必要なジョブは待機キューに送られ、スプールエリアに黄PostScriptアイコン(前表のアイコン 1)とともに表示されます。オペレータはすべてのジョブに対して行き先を指定する必要があります。行き先が指定されると、ジョブ は、順にスプールエリア内を下がっていきます。

印刷キュージョブ
印刷にオペレータの介入が不要な場合は、ジョブは印刷キューに送られ、スプールキュー内に白プリンタアイコン(前図アイコン2)とともに表示されます。このジョブはオペレータが介入しなくても、順番がくると RIP、印刷されます。

直接接続ジョブ
直接接続に送られたジョブは Fiery Spoolerジョブ一覧上には表示されません。このジョブはジョブ状況バー上に短時間表示されます(選択不可)。また、ジョブログには含まれます。

RIPエリア

RIPエリア内には次のジョブアイコンが表示されます。

アイコン	意味	滞在期間
1 黄ラスターアイコン	ラスターデータ、 行き先の指定なし、 印刷済みで待機中もあり	削除、「アーカイブ」ウィンドウへ移動、 またはラスターデータを除去されスプールエリアに戻されるまで
2 白プリンタアイコン	印刷待ちラスターデータ、待機指定なし	印刷処理の順番がくるまで

ジョブはRIPが終わると、RIPエリアに送られます。RIPエリアにはRIP済みデータが格納されます。このエリアには待機中のジョブ（アイコン1）または印刷待ちジョブ（アイコン2）があります。RIPエリアの待機ジョブはRIP済みジョブ（RIPと待機）または印刷後ラスターデータが RIPエリアに戻されたジョブ（印刷と待機）です。

RIPエリア内の待機ジョブは、削除されるまで、またはCommand WorkStationで「アーカイブ」ウィンドウに移されるまでここに留まります。このジョブに「印刷」コマンドを適用すると、ジョブのコピーが作成され印刷されます。オリジナルの待機ジョブは、そのままRIPエリアに留まります。

RIP済みジョブを再印刷する場合は、常にRIP時のプリント設定およびキャリブレーションが適用され印刷されます。別のプリント設定やキャリブレーションを適用する必要がある場合は、ラスターデータを 削除しジョブを再RIPする必要があります。

印刷エリア

印刷エリア内には次のジョブアイコンが表示されます。

アイコン	意味	滞在期間
1 白PostScriptアイコン	PostScriptデータのみ、ラスターデータは削除	保存ジョブの制限数に達するまで

印刷エリア（別名：印刷済みキュー）には印刷済みのジョブが表示されます。ここに表示されるアイコンは全部白です。

注 赤背景のジョブは、印刷中にPostScriptエラーが発生したことを示しています。エラー内容を表示するには、その行の任意の場所をダブルクリックしてください。

ジョブが印刷終了すると、そのジョブはこのエリアの先頭行に追加されます。保存されたジョブ数が制限数に達するまで、ジョブはこのエリアに留まります。制限数を越えてジョブが印刷されると、最も古いジョブが削除されます。デフォルトの制限数については、システム管理者がMLPro9800PS「設定」の「印刷済みキューに保存するジョブ数」で変更します。

プレビュー表示/編集/マージ

Fiery Spoolerはラスターデータのプレビュー表示/編集/マージ用にサムネイルツールを提供します。サムネイルツールで以下の作業を行います。

- RIP中のジョブのサムネイルプレビュー表示 ―「サムネイルA」ウィンドウで行います。
- ラスターデータジョブのサムネイルプレビュー表示 ―「サムネイルA」/「サムネイルB」ウィンドウで行います。
- ラスターデータジョブのフルスクリーンプレビュー表示 ―「サムネイルA」ウィンドウで行います。
- ラスターデータジョブの編集 ―「サムネイルA」ウィンドウで行います。
- ラスターデータジョブのマージ ―「サムネイルA」/「サムネイルB」ウィンドウで行います。

サムネイルツールのマージ機能を使用すると、異なるプラットフォーム/アプリケーションで作成されたジョブのマージを行うことができます。たとえば、グラフィックアプリケーションで作成したカラーページをワードプロセッシングアプリケーションで作成した白黒ページとマージすることができます。

ラスターデータジョブのプレビュー

RIP中ジョブのプレビューを「サムネイルA」ウィンドウで表示します。また待機ラスターデータジョブのサムネイルプレビューを「サムネイルA」/「サムネイルB」ウィンドウで表示することができます。

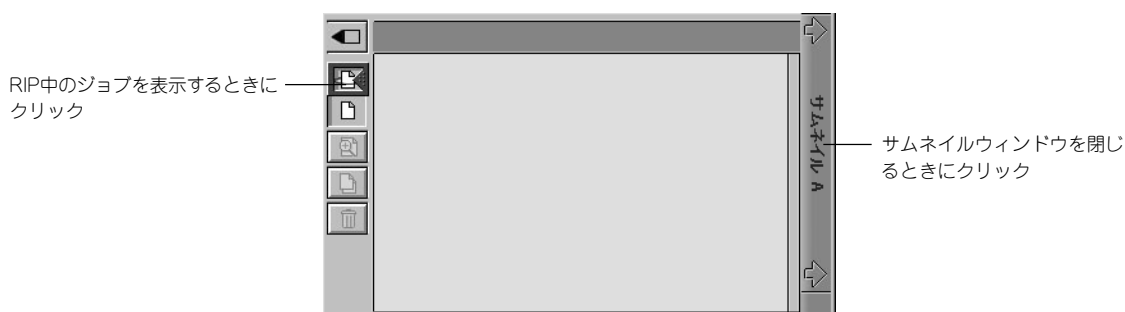
サムネイルウィンドウでは、待機中ラスターデータジョブをサムネイル表示した後、ページの並び替え/削除/複製などの編集作業およびマージ作業を行います。詳細は、167ページを参照してください。

RIP中ジョブのプレビュー

「サムネイルA」ウィンドウのRIPプレビューモードで、RIP中ジョブの進行状況を確認します。

RIP中のジョブのサムネイルを表示するには：

❶ メインウィンドウ右端の［サムネイル A］タブをクリックし、スライダーを開きます。

❷ サムネイルウィンドウ左側の RIP プレビューアイコン（次図参照）をクリックします。

RIPプレビューモードにしておくと、「サムネイルA」ウィンドウはRIP中ジョブのRIP済みページを順に表示します。

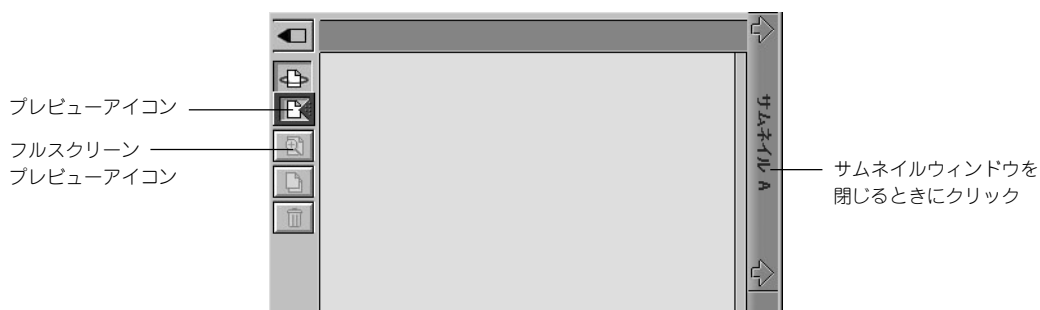
❸ スプールエリア内のジョブを選択し、「編集」メニューから、［RIP と待機］、［印刷］、または［印刷と待機］を選択します。

各ページは RIP が終了すると順に「サムネイル A」ウィンドウに表示されます。

❹ 表示を終了するには、［サムネイル A］タブをクリックしてサムネイルウィンドウを閉じます。

ジョブのサムネイルを表示するには：

❶ RIP エリア内の待機ラスターデータジョブを選択します。

❷ 「編集」メニューから、［サムネイル A］または［サムネイル B］を選択します。
サムネイルウィンドウが開いて、ジョブのサムネイルプレビューが表示されます。

「サムネイルA」では、ウィンドウ左側のプレビューアイコンが選択されていることを確認してください。

注 ジョブのページ数が多い場合、全ページの表示に時間がかかることがあります。次のジョブを表示する場合は、サムネイルウィンドウでジョブの表示が完了していることを確認してから行ってください。

❸ 表示を終了するには、［サムネイル A］または［サムネイル B］タブをクリックしてサムネイルウィンドウを閉じます。

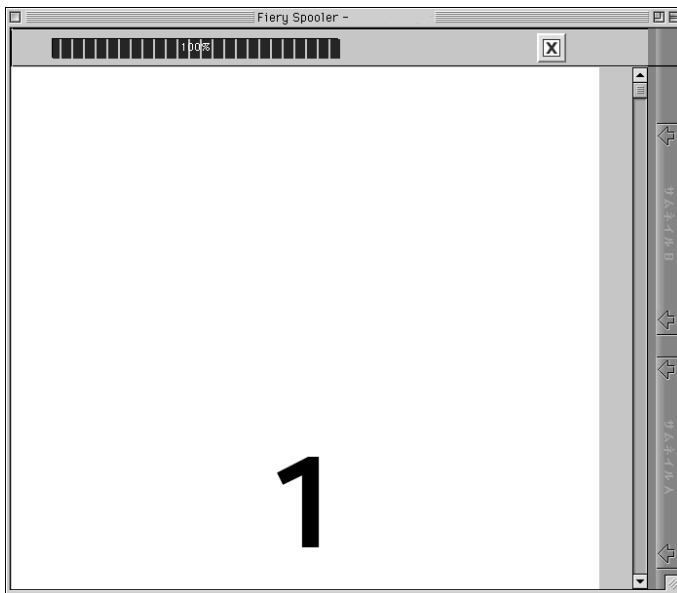
フルスクリーンプレビューの表示

「サムネイルA」ウィンドウに表示されたジョブのページをフルスクリーンプレビューで開くことができます。

サムネイルウィンドウでジョブの編集を行った場合、フルスクリーンプレビューを表示するには、必ずジョブを保存してから行ってください。

フルスクリーンプレビューを表示するには：

❶ 「サムネイルA」ウィンドウでページを選択して、ウィンドウ左側のフルスクリーンプレビューアイコンをクリックします。

メインウィンドウにフルスクリーンプレビューが表示されます。

ページをダブルクリックして、フルスクリーンプレビューを表示することもできます。

❷ フルスクリーンプレビュー表示を終了するには、[X] ボタンをクリックします。

メインウィンドウはジョブリスト画面に戻ります。

ラスターデータジョブの編集とマージ

「サムネイルA」ウィンドウで、ジョブのページの並べ替え/削除/複製などの編集作業を行います。また、「サムネイルA」/「サムネイルB」ウィンドウを使用して、ジョブのマージを行います。

マージ機能を使用すると、異なる複数のジョブから一つの印刷ジョブを作成することができます。たとえば、ページレイアウトアプリケーションで作成したフルカラーの表紙や各章のカバーページをドキュメント処理アプリケーションで作成した2色刷りのテキストページと組み合せることができます。また、スライド形式のプレゼンテーションファイルを作成する場合も、別のプレゼンテーションファイルからスライドを追加、挿入することができます。

- ファイルのマージによって、新規のPostScriptファイルを作成することはできません。マージ後のラスターファイルを印刷する場合は、各ソースページに対応したPostScriptファイルが存在し参照可能になっている必要があります。
- ラスターファイルを編集/マージする場合、作業前にターゲットファイルとソースファイルの属性を最終出力用に設定しRIPしておく必要があります。
- 複数のユーザがCommand WorkStation / Fiery Spoolerを介してMLPro9800PSに接続して「サムネイルA」で同一ジョブを開いている場合、あるユーザがジョブに変更を加えても、他のユーザの「サムネイルA」ウィンドウには変更が反映されないことがあります。また、その他の予期せぬエラーや不具合が発生することがあるので、複数ユーザによる同一ジョブの同時編集 / マージは行わないでください。

ジョブを編集するには：

❶ 待機ラスターデータジョブを選択してから、［編集］-［サムネイル A］を選択します。

ジョブが「サムネイル A」ウィンドウに表示されます。

❷ ページをクリックして選択します。

連続するページを選択するには、Shiftキーまたは Ctrlキーを押しながらクリックします。連続しないページを選択するには、Ctrl キーを押しながらクリックします。

❸ 編集アイコンをクリックして編集します。

複製 — 選択したページを複製します。

削除 — 選択したページを削除します。

プレビュー — 選択したページのフルスクリーンプレビューを表示します（166 ページ参照）。他のサムネイルウィンドウコマンドを使用してジョブを編集した場合、「元に戻す」コマンドで元の状態に戻すか、またはジョブを保存すると、使用できるコマンドとして表示されます。

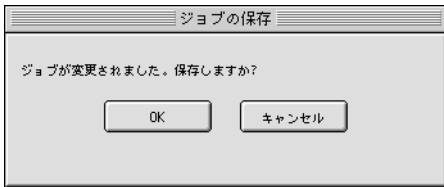
元に戻す — 使用した編集コマンドを取り消します。取り消しを続けると最初の状態まで戻ることができます。取り消したコマンドのやり直しはできません。

❹ 必要に応じてページ（複数可）を移動します。

選択ページを移動するには、マウスをクリックしたまま別の場所にドラッグします。

ページを差し替えるには、選択ページを既存ページの上にドラッグします。ターゲットページの周りに青い輪郭線が表示されます。

ページを挿入するには、選択ページを希望位置にドラッグします。ページ間に青いバーが表示されます。

❺ ジョブの編集終了後、［サムネイル A］タブをクリックします。

「ジョブの保存」画面が表示されます。

❻ ［OK］をクリックします。

「別名で保存」画面が表示されます。

❼ 新しいジョブ名を入力してから［OK］をクリックし、ジョブを保存します。

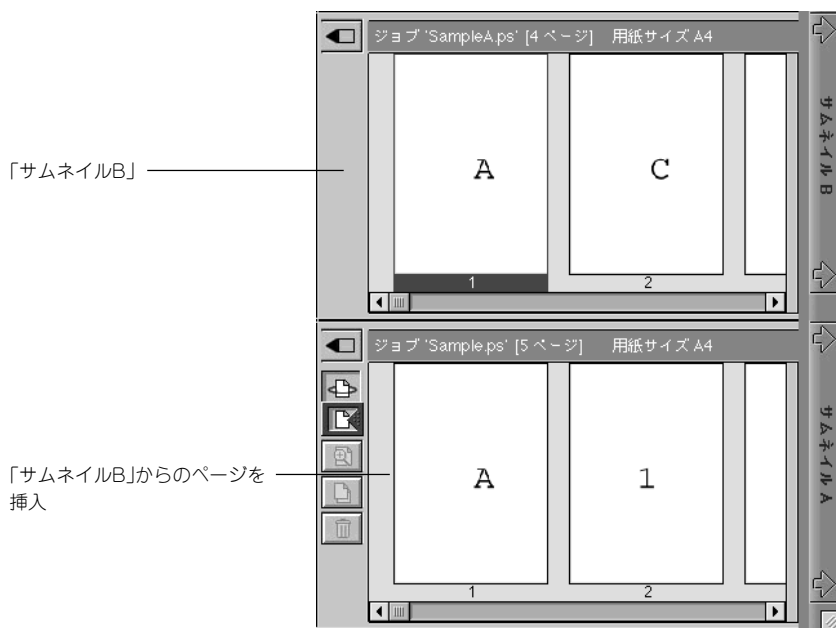
ジョブをマージするには：

❶ 待機ラスターデータジョブを選択して、［編集］-［サムネイル A］を実行します。

「サムネイルA」ウィンドウが開いて、ファイルが表示されます。これがターゲットファイルとなります。

❷ 別の待機ラスターデータジョブを選択して、［編集］-［サムネイル B］を実行します。

「サムネイルB」ウィンドウが開いて、ファイルが表示されます。これがソースファイルとなります。

❸ ソースファイルのページを選択し、ターゲットファイルの希望位置にドラッグします。

連続するページを選択するには、Shiftキーまたは Controlキーを押しながらクリックします。連続しないページを選択するには、Control キーを押しながらクリックします。

ページを差し替えるには、ソースページをターゲットページの上にドラッグします。ターゲットページの周りに青い輪郭線が表示されます。

ページを挿入するには、ソースページを希望位置にドラッグします。ページ間に青いバーが表示されます。

差し替えや挿入を取り消すには、［ページ］-［元に戻す］を選択します。取り消しを続けると最初の状態まで戻ることができます。「元に戻す」を取り消すことはできません。

注 マージを行う前に、ソース/ターゲットジョブが最終出力用プリント設定およびキャリブレーション設定で設定されているかどうかを確認してください。

❹ ジョブのマージ終了後、［サムネイル A］タブをクリックします。

「ジョブの保存」画面が表示されます。

❺ ［OK］をクリックします。

「別名で保存」画面が表示されます。

❻ 新しいジョブ名を入力してから［OK］をクリックし、ジョブを保存します。

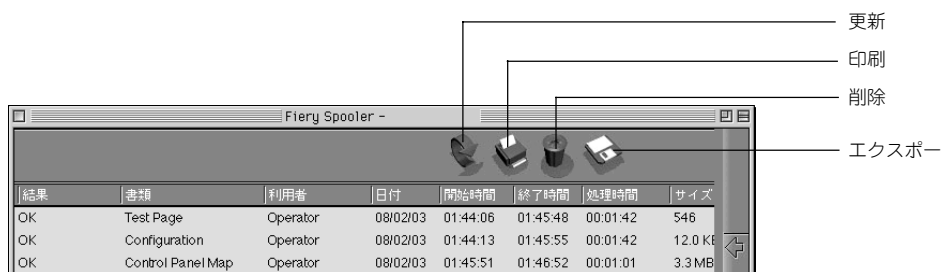
「ジョブログ」の使用方法

Fiery Spoolerでは、MLPro9800PSで処理/印刷されたすべての印刷ジョブの情報を表示します。Fiery Downloaderでダウンロードされたジョブも、ジョブログに含まれます。

ジョブログを表示/更新/印刷/削除/エクスポートするには：

❶ ［ウィンドウ］-［ジョブログの表示］を選択します。

❷ 「ジョブログの範囲設定」画面で「全部」を選択するか、またはジョブログ表示期間の日付を入力します。

❸ ［OK］をクリックします。

ジョブログウィンドウは、ジョブごとに以下の情報を表示します。

処理結果、書類名、利用者名、ジョブ注釈メモ、日付、開始時刻、終了時刻、処理時間、ファイルサイズ、プリントデバイス名、用紙サイズ、メディア、原本枚数、カラー印刷枚数、白黒印刷枚数、印刷合計枚数

「結果」はジョブに関する次の情報を提供します。

OK	ジョブは正常に印刷されました。
エラー	ジョブの印刷中にPostScript エラーが起こりました。
キャンセル	ジョブは印刷完了前にキャンセルされました。

❹ ジョブログを更新するには、［更新］アイコンをクリックします。

❺ ジョブログを印刷するには、［ファイル］-［ジョブログの印刷］を選択するか、または［印刷］アイコンをクリックします。

「ジョブログ」ウィンドウに表示されている情報が、選択されているMLPro9800PSに印刷されます。ジョブログを印刷する場合、ジョブ総数が最終行に印刷されます。

❻ ジョブログをエクスポートするには、［ファイル］-［ジョブログのエクスポート］を選択するか、または［エクスポート］アイコンをクリックし、「ファイル名」でジョブログファイルの名前を入力し、［保存］をクリックします。

ジョブログがタブ区切りのテキストファイルとして保存されます。テキストファイルを取り扱えるアプリケーションでこのファイルを表示します。

❼ メイン画面に戻るには、［ウインドウ］-［ジョブリストの表示］を選択します。

9 面付け機能の基礎知識

本付録では、面付けの基礎概念を説明します。製本用書類を面付けする場合に参照する入門チュートリアルとしてご使用ください。DocBuilder Proの面付け画面、面付け機能の詳細は、「第6章： DocBuilder Proの紹介」および「第7章： 面付け機能の活用方法」を参照してください。

面付け機能使用の製本出力

ここでは、通常のアプリケーションで作成されたファイルを面付けする過程を説明します。また、その概念および用語についても説明します。

面付けの基礎知識

オフセットおよびウェブ印刷用出力デバイスでは、1枚のシートに複数の書類ページを配置するために、幅の広いロール紙および大型の版を使用します。それらの出力デバイスでは、通常1枚のプレスシートに32ページまで配置できるため、1枚ずつの出力に比べてより高速な印刷が可能です。

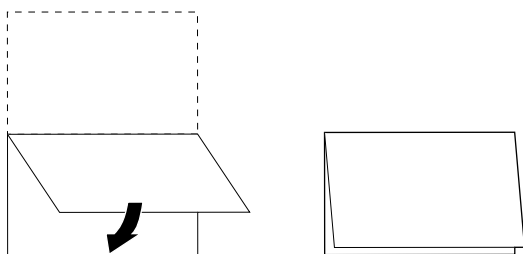
DocBuilder Proでも1枚のシートに複数の書類ページを配置することができますが、そのサポートする出力デバイスは、従来からの印刷プレスではなく、デジタルカラー出力エンジンです。本書では、書類ページが配置される用紙をシートと称します。

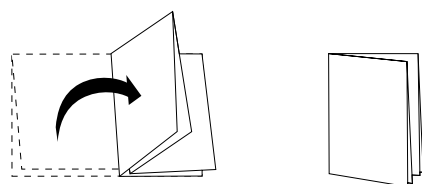
印刷済みシートは折りたたまれて、繋がったページで構成された小冊子のような形になります。折りたたまれたシートは折り丁と呼ばれます。折り丁は端を切り落とされ、仕上がりサイズになります。

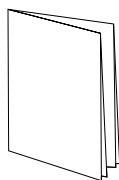
最終的な小冊子で、ページを普通に読むレイアウトにするには、シート上でのレイアウトは異なったものになります。このことは、手近にある用紙を折りたたみ、そのページ順を調べることにより確認することができます。

8ページ小冊子でレイアウトを確認するには：

❶ 用紙を横に半分に折ります。

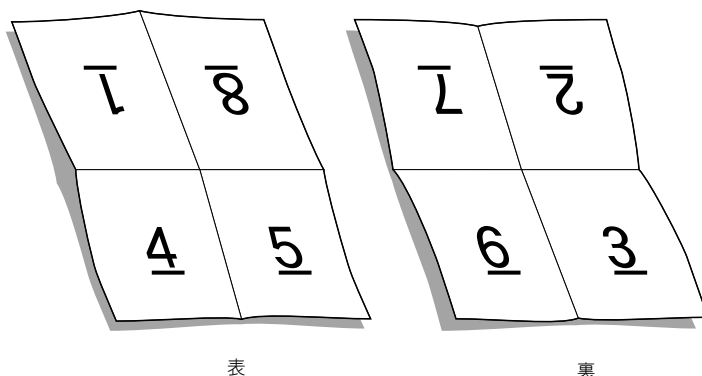
シートの上端を下端に合うように折ります。

❷ 用紙をさらに縦に折ります。

シートの左端を右端に合うように折ります。これで、折り丁のミニ版ができました。

❸ このミニ版を縦折り目を左に、横折り目を上にして置きます。

これで、（上部はつながっていますが）８ページ仕立ての小冊子ができました。

❹ 実際に小冊子を読む順番に、各ページに番号を付けます。

番号はページの両面に付けてください。小冊子のおもて表紙に「1」、裏表紙に「8」を付け、「6」と「8」には下線を付けてページの向きを分りやすくします。

シートの両面に印刷することを両面印刷、シートの片面に印刷することを片面印刷と呼びます。すべてのプリントエンジンが、両面印刷をサポートしているわけではありません。また、両面印刷の方法は、プリントエンジンにより異なります。DocBuilder Proは、出力デバイスのプリントオプションに対応した両面印刷をサポートしています。

ミニ版の折り目を元に戻すと、ページ番号は下図のようになります。

次の点を確認してください。

- シートは、折り目により小冊子用のページごとに区切られます。
- ページ順は通常の読む順序とは異なります。
- ページには上下が逆のものがあります。

仕上がり小冊子でページを適切な方向で表示するには、シートでいくつかのページの上下を逆にする必要があります。また同様に、仕上がり小冊子で正しいページ順で表示するには、通常の読み順とは異なる順番でシートに配置する必要があります。

最終的な仕上り印刷物の体裁を見るために、用紙を折ってページ番号を付けたものを折り丁面付け見本と呼びます。折り丁面付け見本の作成は、製本準備の第一歩です。折り丁面付け見本を使用することにより、シート上のページ配置を実際に確認しながら、書類ページのレイアウトを決定することができます。この製本用に配置したページの位置/方向をレイアウトと呼びます。

DocBuilder Proの面付け機能を使用すると、通常は間違いやすく手間のかかる折り丁面付け見本を作成する必要がなくなります。DocBuilder Proでは、面付け対象のソースファイルを開いて、シート上に配置する書類ページの行/列数を指定します。DocBuilder Proではさらに、使用頻度の高い小冊子やパンフレット用の面付けを既定テンプレートとして提供しています。また、ユーザが指定するカスタムレイアウトをテンプレートとして保存し、再利用することもできます。

ページマーク

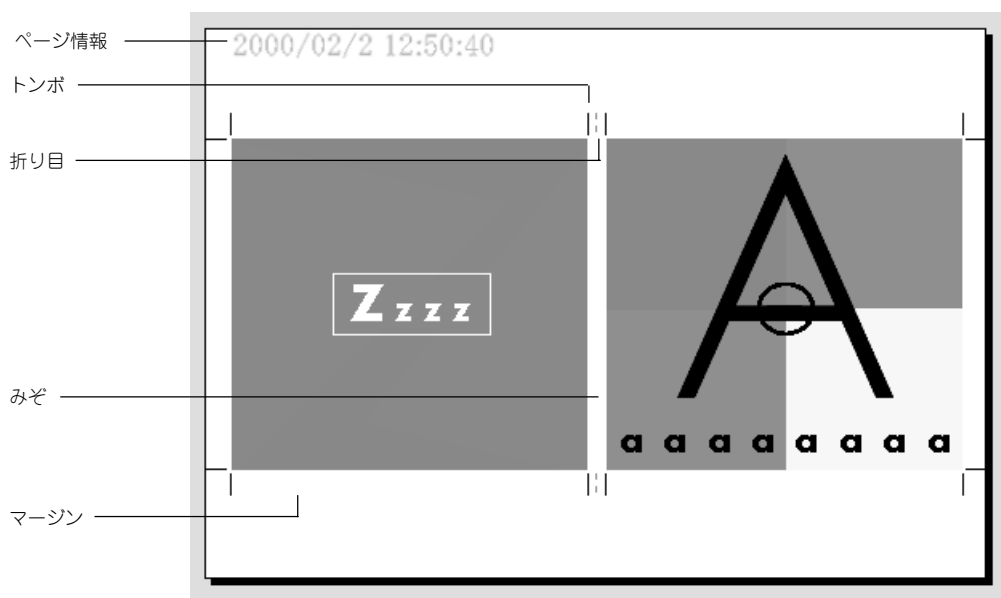
レイアウト作業では、シート上の書類ページの配置に加えて、仕上がり段階でのシートの折りや切断方法も指定します。たとえば、大きなシートを折りたたみ切断して小冊子にするか、または地図のように折りたたむかを指定します。

DocBuilder Proでは、ページマークと呼ばれるマークを設定することにより、トンボ/折り目の位置、および印刷ジョブに関するページ情報などを確認することができます。ページマークはシート上の書類ページ内容の外側に表示/印刷されます。

- 折り線はその延長線上の点線で、裁ち落し線はその延長線上の実線で位置が示されます。DocBuilder Proでは、それぞれ折り目、トンボと呼ばれます。
- ジョブ名/シート情報/シート印刷日時などの情報は、DocBuilder Proの「ページ情報」欄で確認します。
- マージン(書類ページの内容部分とページの端で挟まれたエリア)のサイズ/位置、みぞ(書類ページと書類ページに挟まれたエリア)、ブリード(書類ページ内容で裁ち落し線を超えた部分 — 書類の内容部分が設定通りに、仕上がりページの端まで印刷されることを確実にするためのもの)なども確認することができます。

DocBuilder Proでは、みぞやマージンの幅、およびシート上で表示するページマークを簡単に指定することができます。これらのマークの表示例を下図で示します。

9

面付け機能の基礎知識

追加シート

製本用レイアウトでは、仕上がり印刷物の総ページ数によってもページ配置を調整する必要があります。本は通常、1枚のシート上に配置できるページ数よりも多いページ数で構成されています。本のページ数が1シート上に配置できるページ数の倍数の場合は、1枚目のシートと同一のレイアウトが、すべてのシートで繰り返されます。

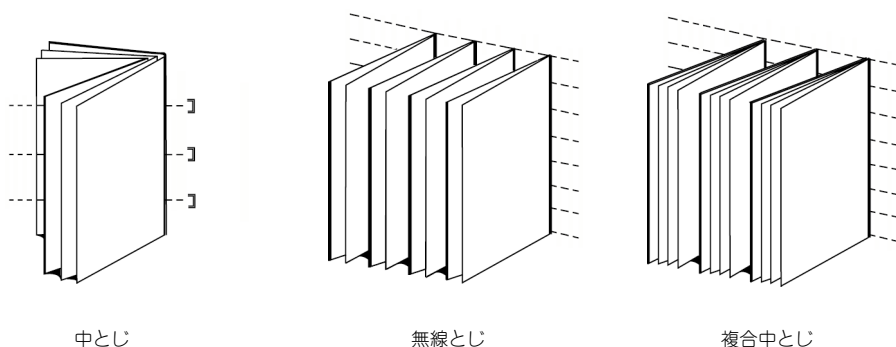
一方、本のページ数がシート上で配置可能なページ数の倍数でない場合は、最後のシートに端数ページを配置することもあります。たとえば、12ページの本をレイアウトする場合、1枚目のシートに8ページ分を配置すると、2枚目のシートには残りの4ページ分を配置することになります。この場合、2枚目のシートの残り半分は空白になります。シートを折りたたんで切断する場合に、本来なら空白にはならない箇所に空白のページが配置されてしまうことがあります。

これを避けるためには、表紙の後、目次の後、章の後などに空白のページを挿入する必要があります。空白のページを挿入するには、Command WorkStation /Fiery Spoolerの「サムネイルA」ウィンドウで印刷ジョブを開いて、挿入した空白のページの前のページを右クリックし、「ブランク紙挿入」を選択します。

Command WorkStationでは空白ページの挿入、複数のソース書類からのページの追加、およびページの削除/順序変えを簡単に行うことができます。また、その操作結果をプレビューですぐに確認することができます。

仕上げ方法

DocBuilder Proで使用できる仕上げ方法には、次の3つの方法があります。

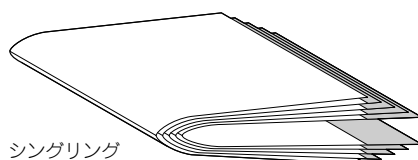
- 複数あるシートの共通の中央折り目部分（折り丁の背（仕上がりの背に対する））を糸/ステイプルで綴じる方法を中とじと呼びます。糸/ステイプルで綴じられた複数のシートをサドルと呼びます。複数の折り丁を1つのサドルに綴じることもできます。
- 複数の折り丁を隣接して重ね合わせ、背を切断した後、接着剤で固めて綴じる方法を無線とじと呼びます。
- 中とじされたサドルを隣接して重ね合わせ、無線とじと同様に接着剤で固めて綴じることもできます。この製本方法を複合中とじと呼びます。

製本レイアウトでは、使用する仕上げ方法によっても、シート上のページ配置が異なります。

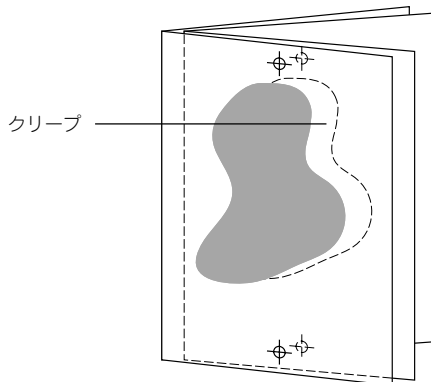
同一の印刷ジョブでも、無線とじにした場合のページ順は、中とじにした場合と異なります。そのため、レイアウトを設定する場合には、印刷ジョブの仕上げ方法も指定する必要があります。

仕上げ方法の選択は、印刷ジョブのサイズ/複雑さ/予算によって異なります。中とじのコストはあまりかかりませんが、ページ数の少ない小冊子に適していて、ページ数の多いジョブには向きません（通常中とじは、最高88ページまでの小冊子/パンフレットに適していると言われています）。一方無線とじは、コストがかかりますが、ページ数の多いジョブに適しています。

DocBuilder Proはユーザが選択した仕上げ方法にしたがって、自動的にページを並べ替えます。このため、手作業に比べてかなりの時間/労力を節約します。たとえば、ページ数が増えて、中とじ用の最大許容数を超えたために、無線とじ用に面付けし直さなければならない場合を想定してください。従来の方法で面付けし直すには、かなりの労力を要する作業になりますが、DocBuilder Proを使用することにより、この面付け作業を自動的に行うことができます。

シングリングおよびクリープ

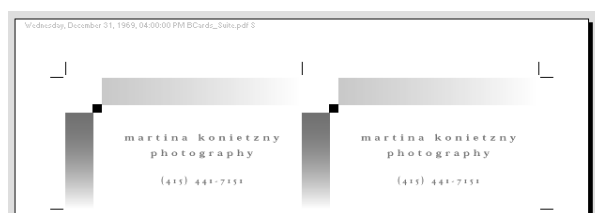
ほとんどの本/パンフレットの製本では、大きなシートが折られて書類ページになります。この場合、シート自体に厚みがあるため、それを折るたびに各ページの端の位置に小さいずれが生じます。サドルの内側中央から離れたページほど、そのページの端は、サドル中央ページの端から離れてしまいます。サドルに含めるページ数が多いほど、このずれも大きくなります。このずれ(下に強調して図示)をシングリング(shingling)と呼びます。シングリングを補正するために、製本過程では、サドル外側の端に合わせて余分な部分を切断します。

ただし、余分な部分の切断は、問題解決の半分にしかなりません。各ページの端がずれた場合、それと同時にページ内容もずれています。シートを複数回折ることにより生じるこの内容のずれをクリープ(creep)と呼びます。サドル内側中央に近いページほど、そのページの内容はページの外側にずれてしまいます。

また複合中とじの場合は、サドルに含めるグループ内のページ数が多いほど、この内容のずれも大きくなります。そのため製本レイアウトのクリープ補正では、複合中とじ用グループ内のページ数を考慮する必要があります。

クリープ補正はかなり労力を要する作業ですが、DocBuilder Proを使用すると、ジョブが変更されても自動的にクリープ補正を行うことができます。

ギャングアップ印刷

本/パンフレットなど、複雑な印刷ジョブ用の製本レイアウトの重要性は明らかですが、小さいジョブに関してもレイアウトは重要です。時間/用紙/インキ(トナー)を効率的に使用するため、同じページイメージを反復して配置、または異なる印刷物のページイメージを集めて1枚のシートに配置する方法を総称してギャングアップ印刷と呼びます。

ギャングアップ印刷の1項目で、名刺の印刷などイメージをシートが埋まるまで反復して配置し印刷する方法はを反復印刷と呼びます。

メモ　反復印刷は「殖版」または「多面付け」とも呼ばれます。

名刺を印刷する場合、各ページイメージ間のみぞを排除することにより、仕上げをする場合に必要な切断数を大幅に減らすことができます。この例に見られる、イメージ間のみぞを「0」に設定した切断線は、共通切断線と呼ばれます。

複数の顧客用に名刺を印刷する場合、名刺を反復してレイアウトして、反復印刷することもできますが、印刷ジョブ数がシート数に合わない場合は、用紙/時間を無駄に費やしてしまいます。ここではより有効な方法として、1枚のシート上に異なるページをできるだけ配置し、そのシートを必要な数だけ印刷する方法があります。1枚のシート上に複数の異なるジョブを配置/印刷する方法は、ギャングアップ印刷の1項目で唯一印刷と呼ばれます。

メモ　唯一印刷は「ギャンギング」とも呼ばれます。

DocBuilder Proには、ギャングアップ印刷の反復/唯一印刷の両方の面付け機能があります。

10 テンプレート

本付録では、DocBuilder Pro提供の内蔵テンプレートについて説明します。

1-upフルブリード

このテンプレートは、シート1枚につき書類を1ページ印刷する場合に使用します。ページマークは、用紙の切断位置を示します。書類内容は、用紙の裁ち落し線を超えて印刷されます。このテンプレートには次の設定が適用されています。

- ブリード
- ページマーク（トンボ/ページ情報）
- 自動変倍
- ギャングアップ：唯一

「1-upフルブリード」レイアウトにはページ数の制限はありません。

2-up中とじ

このテンプレートは、「中とじ」製本用の折り丁を作成する場合に使用します。全シートが中央線で一緒に二つ折されます。詳細は、179ページの「仕上げ方法」を参照してください。このテンプレートには次の設定が適用されています。

- 両面
- ブリード
- ページマーク（折り目/トンボ/ページ情報）
- 自動変倍
- 中とじ製本

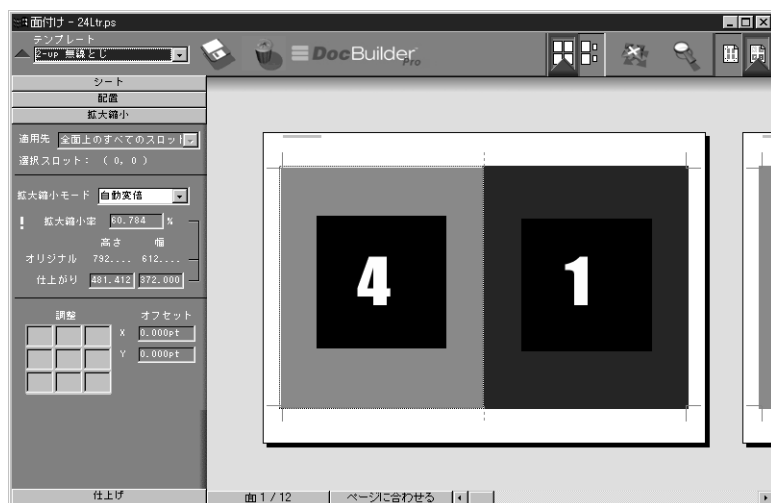
「2-up中とじ」レイアウトは、仕上がりページ数が4の倍数の印刷ジョブ用に準備されていますが、その他のジョブ用にも使用します。この場合、必要に応じて空白ページが追加されます。シートを二つ折にして綴じた場合に、全シートを通した連続ページが配置されます。

- 例：4ページ

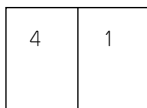
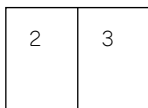
- 例：8ページ

2-up無線とじ

このテンプレートは、「無線とじ」製本用の折り丁を作成する場合に使用します。各シートは二つ折され、折られた形で重ねられます。詳細は、179ページの「仕上げ方法」を参照してください。このテンプレートには次の設定が適用されています。

- 両面
- ブリード
- ページマーク(折り目/トンボ/ページ情報)
- 自動変倍
- 無線とじ製本

「2-up無線 とじ」レイアウトは、仕上がりページ数が4の倍数の印刷ジョブ用に準備されていますが、その他のジョブにも使用します。この場合、必要に応じて空白ページが追加されます。4ページごとに分けて、シートを二つ折にすると、各シートには4つの連続ページが配置されます。

このテンプレートでは、「クリープ調整」欄での設定は適用されません。

- 例：4ページ

シート1：表

シート1：裏

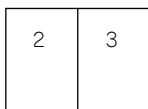
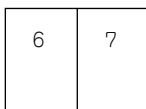
- 例：8ページ

シート1：表

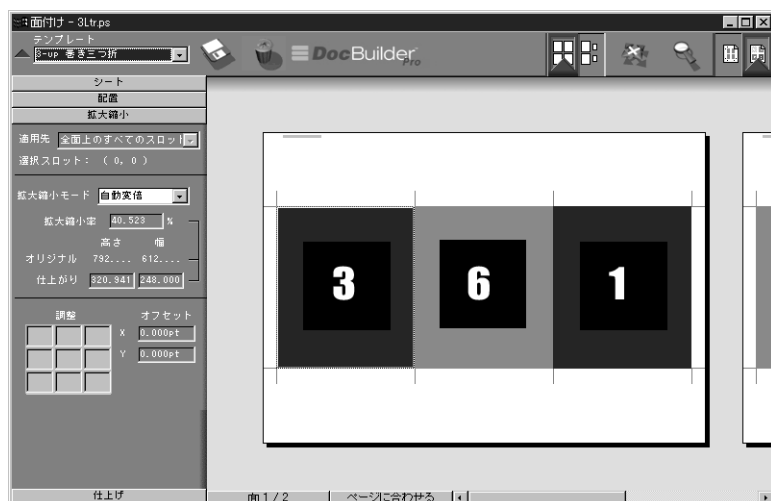
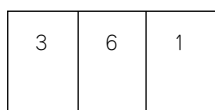
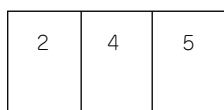
シート1：裏

シート2：表

シート2：裏

10
テンプレート

3-up巻き三つ折

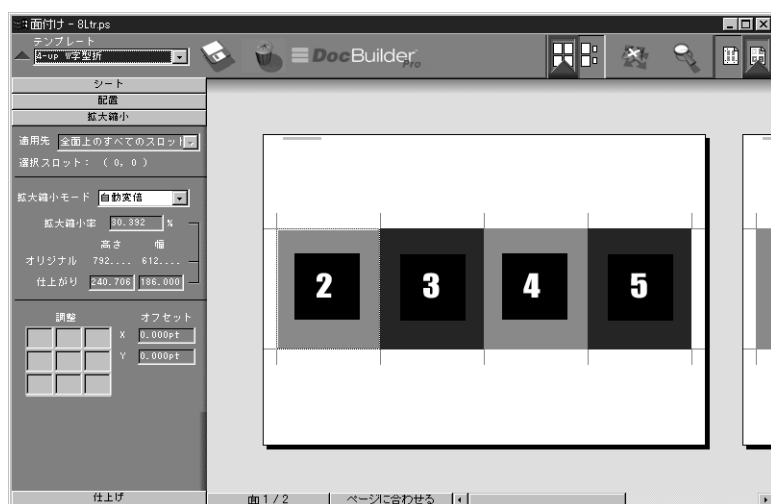
このテンプレートは、1枚のシートを三つ折したものです。各セクションは同じ幅に設定されていますが、セクション間のみぞを任意に設定できるので、左側のパネルが他の2つのパネルの上に重なるように折ることもできます。このテンプレートには次の設定が適用されています。

- 両面
- ページマーク(トンボ/ページ情報)
- 自動変倍
- ギャングアップ：唯一

「3-up巻き三つ折」レイアウトは、仕上がりページ数が6ページの印刷ジョブに使用します。印刷ジョブが6ページ以外の場合、エラーメッセージが表示されます。ページは以下のように配置されます。

シート1：表

シート1：裏

「3-up巻き三つ折」は通常、下図のように折られます。

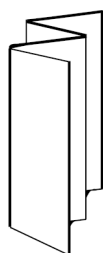
4-up W字型折

このテンプレートは、1枚のシートを4つのセクションに折ったものです。1つの折り線(背)に負担をかけず、シート上で隣接するパネルが、仕上がりでも隣接するように折られます。このレイアウトは通常、道路地図を作成する場合に使用されます。このテンプレートには次の設定が適用されています。

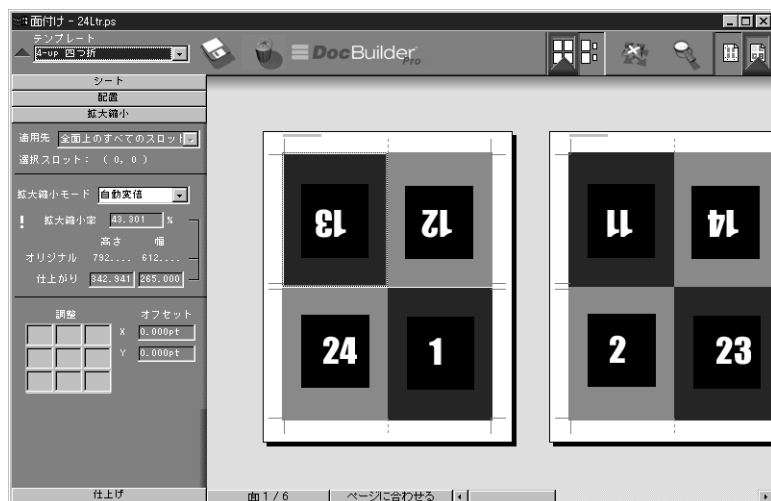
- 両面
- ページマーク(トンボ/ページ情報)
- 自動変倍
- ギャングアップ：唯一

「4-up W字型折」レイアウトは、仕上がりページ数が8ページの印刷ジョブに使用します。印刷ジョブが8ページ以外の場合、エラーメッセージが表示されます。ページは以下のように配置されます。

シート1：表

シート1：裏

「4-up W字型折」は通常、下図のように折られます。

4-up四つ折

このテンプレートは、両面印刷の各面に4ページずつ配置した小冊子を作成する場合に使用します。各シート上部の2ページを90゜回転して、シートを折って裁ち落し線で切断すると、仕上がり小冊子で各ページが正しく表示されるように配置されています。このテンプレートには次の設定が適用されています。

- 両面
- ブリード
- ページマーク(折り目/トンボ/ジョブ情報)
- 自動変倍
- 中とじ製本

「4-up四つ折」レイアウトは、仕上がりページ数が8の倍数の印刷ジョブ用に準備されていますが、その他のジョブ用にも使用します。この場合、必要に応じて空白ページが追加されます。ページは、各シートを四つ折にして、裁ち落し線で切断し、中とじにした場合に、全シートを通して連続した順になるように配置されます。このレイアウトでは、仕上がりの背に当たる部分に折り目が付いています。ページは以下のように配置されます。

- **例：8ページ**

シート1：表

シート1：裏

10 テンプレート

- **例：16ページ**

9	8
16	1

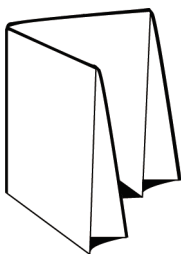
シート1：表

7	10
2	15

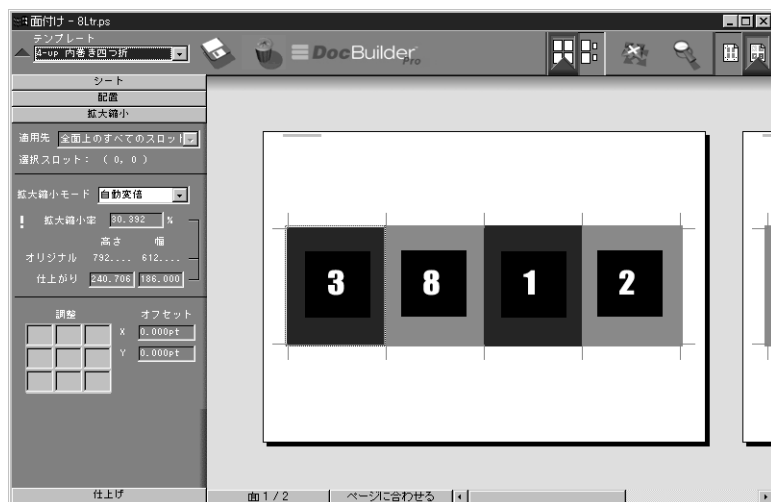
シート1：裏

シート2：表

シート2：裏

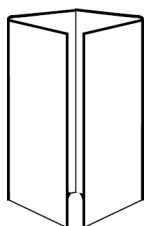
「4-up四つ折」は通常、下図のように折られます。

4-up内巻四つ折

このテンプレートは、通常4つのセクションで構成されるパンフレットを作成する場合に使用されます。シートは、まず両端のパネル部分が内側に折られ、さらにもう一度内側に折られます。このテンプレートには次の設定が適用されています。

- 両面
- ページマーク（トンボ/ジョブ情報）
- 自動変倍
- ギャングアップ：唯一

「4-up内巻四つ折」レイアウトは、仕上がりページ数が8ページの印刷ジョブに使用します。印刷ジョブが8ページ以外の場合、エラーメッセージが表示されます。ページは以下のように配置されます。

シート1：表

シート1：裏

「4-up内巻四つ折」は通常、下図のように折られます。

11 トラブルシューティング

ここではMLPro9800PSのパフォーマンスを最適に維持する方法やMLPro9800PSまたはCommand WorkStationに問題が発生したときの対処方法を説明します。

最適システムパフォーマンスの維持

MLPro9800PSでは、消耗部品の交換などが必要ですが、プリントシステムの最適なパフォーマンスを維持するために、その他に次の事項を実行することをおすすめします。

- 不必要な双方向通信を削減する
  MLPro9800PSとの通信に時間がかかる場合、原因として多数のユーザがユーティリティや Fiery WebTools を稼働していて、それを頻繁に更新していることが考えられます。複数ユーザのユーティリティや Fiery WebToolsの使用は、MLPro9800PSの処理速度に大きく影響することがあります。
- ジョブ情報を確認してから、ジョブの印刷時期を決める
  プリント設定や用紙の指定が同じジョブをまとめて印刷するようにし、用紙変更を最小限にとどめてください。また、特別な指示のあるジョブや、特殊用紙を必要とするジョブの印刷準備をしている間に、通常のジョブを印刷してください。
- 不要な Command WorkStationとMLPro9800PSの接続を減らす
  複数のMLPro9800PSがCommand WorkStationに接続されている場合、使用していないMLPro9800PSの接続を解除した方が通信効率が上がります。
- 「ディスクが一杯です」メッセージ表示中は印刷を避ける
  このメッセージが表示されたら、Command WorkStationの「キュー」ウィンドウや「アーカイブ」ウィンドウで長期間待機しているジョブや不要と思われるジョブを削除してください。ディスクスペースが不足しないよう、古いジョブを定期的に削除してください。ジョブの日付は、そのジョブが送信された時のものです。

  また、最後の手段として操作パネルでの「サーバの初期化」、またはCommand WorkStationでの「初期化」コマンドを選択することもできます。

トラブルシューティング

異常が発生した場合、お客様相談センターに連絡する前に、まず以下の対策情報を参照してください。それでもなお問題が解消しない場合は、状況をメモした上でお客様相談センターに連絡してください。

Command WorkStationがハングアップする

Command WorkStation画面が更新されない場合は、ログイン / ログアウト用スライダーで「ログアウト」をクリックしてから、Command WorkStationを終了します。Command WorkStationを再起動するか、またはコンピュータを再起動してください。

Command WorkStationの画面が更新されない、ジョブが表示されない、マウス操作が効かない（ジョブ、画面、メニューなどが選択できない、右クリックできない）という現象が発生した場合は、MLPro9800PSがダウンしているか、またはネットワークが通信不可能な状態になっています。

Command WorkStationを強制終了するには、まずCtrl + Alt + Delete / Delキーを押し、「タスクマネージャ」をクリックして「Command WorkStation」を選択後、「タスクの終了」をクリックしてください。MLPro9800PSからネットワークケーブルをはずし、再度取り付けてからテストページや設定情報を印刷し直してください。（90ページ）　印刷できない場合は、MLPro9800PSを再起動してください。

MLPro9800PSのメニューボタンを押しても操作パネルが作動しない場合は、MLPro9800PSの電源を入れ直してください。MLPro9800PSが使用可能になったら、Command WorkStationを再起動してください。

Command WorkStationからMLPro9800PSに接続できない

以前は接続可能だったMLPro9800PSに接続できない場合は、Command WorkStationで接続を設定し直す必要があります。

1. Command WorkStationで[ファイル]-[終了]を選択します(可能な場合のみ)。
2. 「C:¥Windows」フォルダで「Efinl.ini」ファイルを検索し、そのファイルを他のフォルダに移します。
   「Efinl.ini」ファイルの情報量が多くなく再作成が簡単な場合(つまり1〜2台のサーバ情報のみ)は、このファイルを削除してください。接続を設定し直すと新しい「Efinl.ini」ファイルが「C:¥Windows」フォルダ内に作成されます。
   「Efinl.ini」ファイルに多くのサーバの情報、または容易に再生できない情報が含まれている場合は、別のフォルダに移した「Efinl.ini」ファイルをバックアップとしてとっておいてください。
3. 設定情報を印刷します。
   MLPro9800PSへの接続構成を行うとき(40ページ)に、この情報を使用します。
4. Command WorkStationを起動します。
5. サーバとの接続を設定するメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。
   接続設定方法に関しては「起動とログイン/ログアウト」(40ページ)を参照してください。
6. MLPro9800PSに接続できない場合は、システム管理者がCommand WorkStationを再インストールしてください。

Command WorkStation LEからMLPro9800PSに接続できない

以前は接続可能だったMLPro9800PSに接続できない場合は、プリンタのIPアドレスが変更されていないかどうか、ご確認ください。

新規接続できない場合は以下の手順で確認してください。

1. 「Appleメニュー:システム環境設定:ネットワーク」で[プロキシ]をクリックします。
2. 「SOCKSプロキシ」(OS X 10.2では「SOCKS ファイアフォール」)のチェックが付いている場合にはチェックを外し、[今すぐ適用]をクリックします。

予期しない印刷結果

障害	原因
ジョブが設定通りに印刷されない	Mac OSから印刷する場合、プリント設定をうまく組み合わせることができない場合があります。この場合は、ジョブをダブルクリックして[プロパティ]で設定を確認してください。ジョブ情報およびプリント設定に関しては、『PS印刷ガイド』を参照してください。ユーザにもこの情報を伝えておいてください。「プロパティ」画面内の「部数」にユーザによる設定が正しく反映されない場合があります。また、ジョブ送信後に設定が変えられていない限り、「拡大、縮小」には「100%」が表示されます。
ジョブが印刷されない	「印刷」状況バーに印刷エラーが表示されることがあります。ジョブが印刷済みキュー(印刷エリア)にある場合は、PostScript エラーのジョブは 背景が赤色で表示されます。このジョブをダブルクリックすると、エラーメッセージが表示されます。
フォントエラー発生	MLPro9800PS内蔵フォント以外のフォントを使用している PostScriptファイルをダウンロードしたときに、このフォントが正しく印刷されない場合は、ユーザにPostScriptファイルにそのフォントを埋め込むよう、またはアプリケーションから直接印刷するように指示してください。アプリケーションから直接印刷しても、ユーザ指定フォントが自動的にダウンロードされない場合は、フォント(欧文フォントの場合のみ)をFiery Downloaderで直接MLPro9800PSにダウンロードしてください。この作業は、直接接続が使用可能になっていれば、ユーザでもオペレータでも実行することができます。Fiery Downloaderに関する詳細は、『PS印刷ガイド』を参照してください。

プリンタの初期化

キャンセルや削除を行ったにもかかわらず、ジョブがキュー内に存続し印刷を妨害する場合、最後の手段としてプリンタの初期化を行います。プリンタの初期化を行うと、MLPro9800PSの全キュー内のジョブ、MLPro9800PS内の全アーカイブジョブ、全FreeFormマスタージョブが削除されます。また、アーカイブジョブのインデックスおよびFreeFormマスターのインデックスも消去されます。

MLPro9800PSの操作パネルまたはCommand WorkStationの「サーバ」メニュー(37ページ参照)からプリンタの初期化を行うことができます。

操作パネルまたはCommand WorkStationで初期化を実行しても、ジョブログは消去されません。ジョブログを消去するには、「ジョブログの消去」を選択してください。

ユーザがプリンタに接続できない

ユーザがプリンタに接続できない、またはワークステーションからプリンタが見えない場合、システム管理者は、ネットワーク接続を点検しプリント設定を確認する必要があります。設定が変更されている場合は、MLPro9800PSを再設定する必要があるかもしれません。

たとえば、プリントサーバや Novellサーバのプリントキューの名前が変更されたり削除された場合、またはユーザアカウントや使用条件が変更された場合、MLPro9800PSのシステム管理者は、「IPX (Novell)設定」でも設定を変更しなければならない場合があります。

Windows対応コンピュータで、Fiery Downloaderを使用してプリントデバイスに接続できない場合は、MLPro9800PSへの接続を設定し直してください。

MacOS対応コンピュータからプリントデバイスが見えない原因としては、システム管理者がそのプリンタを他のゾーンに移した、ゾーンがない状態からある状態になったなどが考えられます。

MLPro9800PSの設定を行いクライアントコンピュータとサーバの設定を行った後、Command WorkStation で[ファイル]-[ページの印刷]を選択し、テストページを印刷してください。

テストページの印刷ができるにもかかわらず、ネットワーク上のコンピュータからファイルが印刷できない場合は、システム管理者にネットワーク接続の点検を行うよう依頼してください。

プリントデバイスへの接続もテストページの印刷もできない場合は、MLPro9800PSの操作パネル表示を確認してください。

現象	処置
操作パネルに診断メッセージまたはエラーメッセージが表示されている	プリンタ機能編を参照してください。

MLPro9800PS「設定」エラーメッセージ

MLPro9800PS「設定」エラーメッセージに関する詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。

索引

[シ]

[フ]

[ヘ]

[ホ]

[マ]

[ミ]

[ム]

[メ]

[モ]

[ユ]

[ヨ]

[ラ]

[リ]

[レ]

[ロ]

オキカラーページプリンタ
MICROLINE Pro 9800PS-X
MICROLINE Pro 9800PS-S
MICROLINE Pro 9800PS-E

ユーザーズマニュアル
ジョブ管理ガイド

発行日　2007年 3月　第4版
発行者　株式会社 沖データ

43106901EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは03-5833-5710)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し 祝日を除く）